

FOR MATSUDA I-SEI

2015-2016

# 海外留学 ガイドブック

STUDY ABROAD GUIDE BOOK



Find your dream!

松大生25人の  
留学体験記

- ✧ イギリス
- ✧ ドイツ
- ✧ フランス
- ✧ スペイン
- ✧ アメリカ
- ✧ カナダ
- ✧ オーストラリア
- ✧ ニュージーランド
- ✧ フィリピン
- ✧ 中国
- ✧ 台湾
- ✧ 韓国

A

B

C

可能性は全方位!!

Go abroad!!





新しい自分に会いに行こう。  
今じかできないことをやろう。

2015-2016  
海外留学ガイドブック





## 巻 頭 言

約 150 年前、明治政府は、近代化を推し進める一環として、多くの留学生を欧米諸国に派遣しました。留学生たちは、様々な分野で当時の最先端の知識を身に付け、帰国後は、それぞれの分野で国家や社会の近代化に貢献しました。その一例として、法律学を学んだ留学生は、明治政府の中核で近代的な法制度を整備し、欧米諸国に匹敵する国家体制を作り上げました。新しい知識は、社会全体を発展させる原動力となるものです。

又現在、貿易は世界規模に拡大し、商品や人、情報が国境を越えて移動することがごく日常的なこととなりました。しかし交流の拡大は、時として衝突を生み出し、場合によっては国家間の武力紛争にまでつながることがあります。現在の世界も、決して平穏でないことは、毎日のニュースが報道するところです。しかし過去、多くの戦争を経験した人類が、お互いを知り、違いを認め合い、その上で共通のルールを作り、共存する方法を見つけ出そうとしているのも事実です。国連は、その代表的なものといえるのではないのでしょうか。遠回りのようですが、人と人との交流が相互の信頼を生み、その個人的な信頼関係を国家間の信頼関係につなげていくことが、求められていると言えます。

さて、この冊子を手にした皆さんは、人一倍、外国や留学に対する関心を持ってきていることと思います。関心を持ったきっかけは、人それぞれかもしれませんが、しかし動機はどうであれ、海外での生活は、これまでなかった経験を皆さんにもたらすことでしょう。実際に触れなければ知ることのできない、その国の人たちの考え方、文化、歴史等に接することは貴重な経験であり、その経験は、その後の人生に大いに役立つことでしょう。又留学は、複数の視点、客観的なものの見方を教えてくれます。現代社会においては、マスメディアやインターネットに多くの情報が溢れていますが、それらの中には誤ったものや偏見に満ちたものも少なくありません。外国の現実を自分の目で見ること、外国から日本を見ることは、現代社会で求められている、多くの情報の中から本質を見抜き、冷静かつ客観的な判断を下す力を養ってくれることでしょう。

外国から得られた新しい知識が社会を活性化させることは、今も昔も変わりありません。そして冷静かつ客観的な視点は、誤解や一方的な見方が原因となる紛争を予防し、相互理解を深めることにつながります。松山大学の海外研修プログラムをステップとして、これからの社会、そして世界を作っていく皆さんが大きく成長されることを、期待しています。

松山大学 国際センター  
センター長 穴田 浩一

CONTENTS

概要

- 3 就職内定者インタビュー
- 4 松山大学の協定校
- 5 イギリス/アメリカ/カナダ/オーストラリア  
フランス/ドイツ/中国/台湾/韓国
- 12 目的にあった留学プログラムを選ぼう
- 14 応募～許可者発表まで  
各プログラムの年間募集スケジュール(参考)
- 16 短期語学研修講座の概要
- 19 長期英語研修講座の概要
- 20 学生海外語学研修助成制度の概要
- 21 派遣留学制度の概要

申込み

- 24 各留学プログラムの違い  
プログラムの重複受講について
- 26 留学準備と計画

受講許可後(事前準備)

- 28 事前ガイダンスの実施
- 32 履修登録と単位認定について  
(長期(半期以上)プログラム参加者)

留学中及び  
研修後の手続き

- 33 留学中の手続き
- 34 海外での安全対策(危機管理と健康管理)
- 38 帰国及び帰国後の手続き
- 39 研修終了後の提出物について

留学に興味のあるあなた!  
一緒に留学の準備を  
始めましょう!



研修報告書 短期語学研修講座

- 42 イギリス(カンタベリー)
- 44 カナダ(ビクトリア)
- 46 フランス(ディジョン)
- 48 ドイツ(フライブルク)
- 50 中国(上海)
- 52 韓国(ソウル)

研修報告書 学生海外語学研修  
助成制度(春季・夏季)

- 56 アメリカ
- 60 イギリス
- 62 オーストラリア
- 64 カナダ
- 70 ニューージーランド
- 72 フィリピン
- 74 スペイン
- 76 ドイツ
- 80 フランス
- 82 韓国

研修報告書 派遣留学制度

- 84 ドイツ(フライブルク大学)
- 86 中国(上海師範大学)
- 88 台湾(国立高雄大学)
- 90 韓国(平澤大学校)

巻末付録

- 92 松大留学生インタビュー
- 94 国際センター課について
- 96 各語学検定公式サイト

研修報告書

巻末付録

留学について

# 就職内定者インタビュー!!



松山大学在学中に留学し、その体験を活かして就職活動を行った先輩に  
留学中の体験、帰国後の就職活動から内定に至るまでのお話を伺いました。

三度の留学経験が  
就活での自信になりました!



三菱UFJ信託銀行 内定

経営学部 経営学科 脇坂 友登さん (2015年3月卒)

- 留学当時の学年次  
(1回目) 2年次生  
(2回目) 3年次生  
(3回目) 4年次生
- 当時の留学先  
青島大学(中国)
- 研修期間  
(1回目) 2013年2月  
～2013年3月  
(2回目) 2013年8月  
～2013年9月  
(3回目) 2014年9月  
～2015年1月



脇坂さんの就職活動について教えてください。  
私は体育会のサッカー部に所属しながら、就活前に  
2度中国に短期留学をしました。就活中、留学と部  
活動の2つの経験をしている学生ははかり少ないよ  
うに感じました。そこで私はこの2つの経験を自分  
の強みとして、就活を行いました。なぜ留学をしよ  
うと思ったのか、またなぜ中国に留学したのか、留  
学の経験を通してどう感じたか、また帰国してどう  
意識が変わったか、行動したか(チューター活動、  
語学検定)など自分がやってきたことを振り返り、  
自己PRと絡めて面接でしっかり自分の言葉で言える  
ようにしました。

留学当時のお話をおきかせください。

私は在学中、3度、大学のプログラムを使って中  
国に留学しました。最初中国に留学する前は反日  
デモや空気の問題など不安でいっぱいでした。し  
かし、実際行ってみると自分が中国に対して勝手  
に作り上げたイメージとは全く異なった世界が広  
がっていました。中国人1人1人と接するとみな  
とても優しく親切に対応してくれ、空気の問題も  
そこまで悪くは感じませんでした。日本にいて  
、ニュースや報道に捕われるのではなく実際に  
自分の目で見て感じることの大切さを学びまし  
た。また、中国に留学に来ている外国人の方から

も多くを学びました。将来、中国でビジネスをす  
るために来ている人、実際中国で働きながら中国  
語を学んでいる人、また自国の文化やサービスを  
中国に伝えるために留学している人など、とても  
意識の高い外国人や日本人に出会うことができ  
、新たな価値観や考え方を知ることができました。  
それと同時に、自分も彼らに負けてはいられない  
という思いを持つことができました。日本人1人  
のクラスで授業を受けたり、外国人と同じ部屋で  
暮らしたり、日本には経験できないことばかり  
でした。

留学経験を  
どう就職活動でPRしたか

留学を経験した学生が就活をする上  
で、最も重要な事は語学力ではなく、  
「行って何を感じたか、どういう価値  
観を手に入れたか、どんな行動に移  
したか、または今はどういう価値観  
を持っているか」ということを、自  
信を持って面接官に伝えることだ  
と思います。留学はあらゆることが刺  
激的で、今まで自分になかった価値  
観、考え方を発見できる良い機会に  
なります。私は自己分析を中心に就  
活を進め、なるべく多くの会社に足  
を運び、多くの面接を受け、自信を  
持って自分のやってきたことを伝え  
るようにしました。それ以外は特に  
特別な事はやってないです。

留学を考えている  
松大生に  
アドバイスを!

留学は語学だけではなく、その国の文化や習  
慣などを学べ、また海  
外から日本をみることで  
できる貴重な機会です。  
海外に出ることによって  
自分の考え方や価値観な  
どに刺激を与えることが  
でき、人間としての幅を  
広げられると思うので、  
興味がある人は勇気を持  
ってチャレンジしてみ  
てください。



松大で学ぶ留学生のインタビューも要チェック!! → P.92 へ

概要

申込み

受講許可後  
(事前準備)

研修後の手続き  
留学中及び

研修報告書  
短期語学研修講座

研修報告書  
学生海外語学研修  
助成制度(春季・夏季)

研修報告書  
派遣留学制度

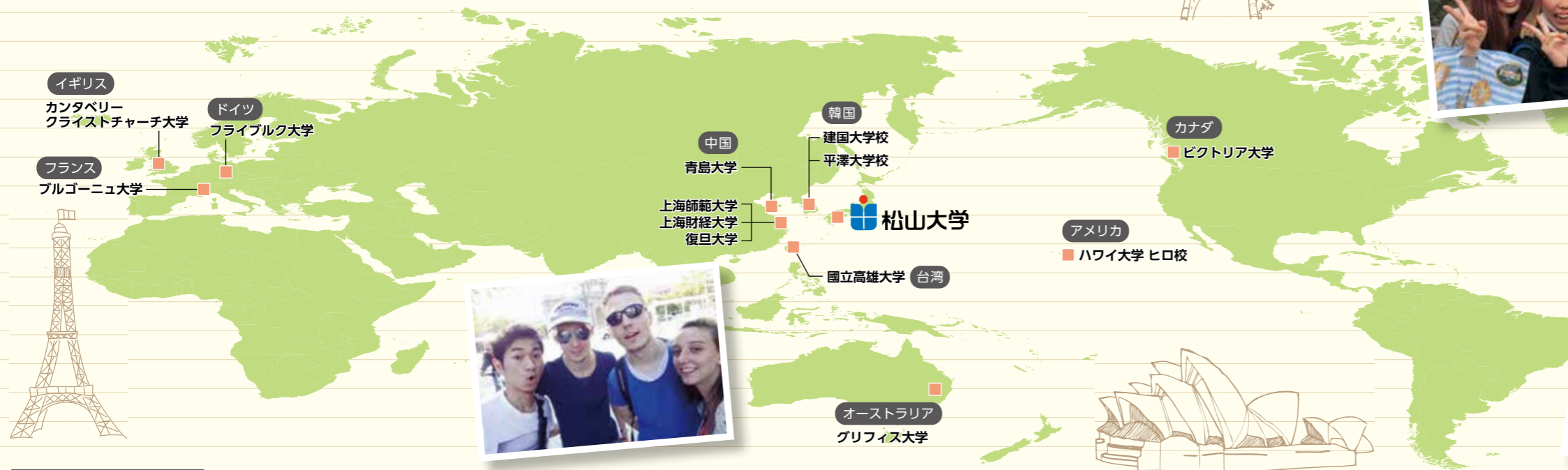
巻末付録



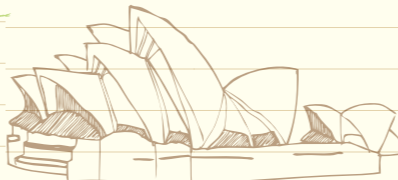
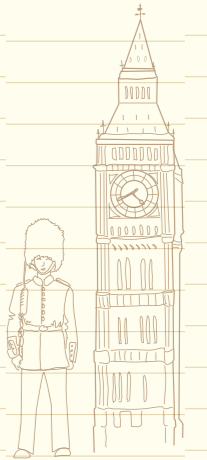
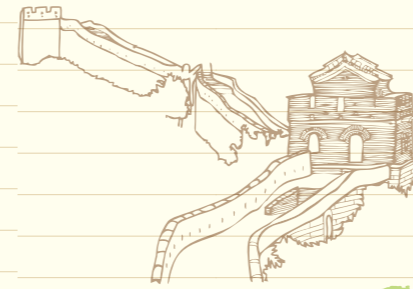
# 松山大学の協定校



松山大学には、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語を学ぶために協定を結んだ学校が13校あります。これまでに多くの先輩方が学び、広い視野をもって帰国してきました。興味がある、学びたい言語から、行ってみたい大学を探してみましょう。



英語		
イギリス	カンタベリー クライスト チャーチ大学 Canterbury Christ Church University	→ P. 5
アメリカ	ハワイ大学 ヒロ校 University of Hawai'i at Hilo	→ P. 6
カナダ	ビクトリア大学 University of Victoria	→ P. 6
オーストラリア	グリフィス大学 Griffith University	→ P. 7
フランス語		
フランス	ブルゴーニュ大学 University of Burgundy	→ P. 7
ドイツ語		
ドイツ	フライブルク大学 University of Freiburg	→ P. 8
中国語		
中国	復旦大学 Fudan University	→ P. 8
	上海師範大学 Shanghai Normal University	→ P. 9
	上海財経大学 Shanghai University of Finance and Economics	→ P. 9
	青島大学 Qingdao University	→ P.10
台湾	国立高雄大学 National University of Kaohsiung	→ P.10
韓国語		
韓国	建国大学校 Konkuk University	→ P.11
	平澤大学校 Pyeongtaek University	→ P.11



## 英語 イギリス(カンタベリー)



## カンタベリー クライスト チャーチ大学 Canterbury Christ Church University

カンタベリークライストチャーチ大学は歴史ある都市カンタベリーの中心地に位置する大学です。ショッピングや川下りなどが楽しめるシティセンターから徒歩数分のところで、大聖堂からほど近い城壁の外にメインキャンパスがあります。英語研修講座もこのキャンパス内で運営されており、図書館やカフェテリア、コンピュータールーム等の大学設備も利用できます。

### ■一般英語コース (General English Course)

高い資格と豊かな経験を持つ専門の講師陣から、英語を教わります。クラスは10名程度の少人数で構成されていますので、一人ひとりにまできめ細かい指導が行き届きます。イギリス文学、IELTS 準備、会話練習、芸術等多様な科目が用意されていることが魅力です。



▲カンタベリー クライスト チャーチ大学内



▲カンタベリー大聖堂

カンタベリークライストチャーチ大学 URL >> <http://www.canterbury.ac.uk/>



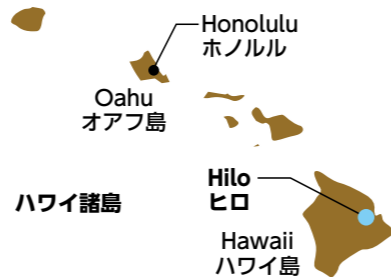
英語 アメリカ(ハワイ)



UNIVERSITY of HAWAII HILO  
University of Hawai'i at Hilo

# ハワイ大学 ヒロ校

ハワイ大学は、アメリカ合衆国ハワイ州の州立大学です。1907年に創立され、3つの四年制大学、7つの二年制短期大学を抱えています。10ヶ所あるキャンパスは、ハワイ諸島、カウアイ島、オアフ島、モロカイ島、ラナイ島、マウイ島、ハワイ島に所在し、2012年8月に、本学はハワイ島にあるヒロ校と全学交流協定を締結しました。ホノルルより45分の飛行時間で着くハワイ島は、海と山との豊かな自然が広がっており、アウトドアアクティビティがさかんに行われています。ヒロの人口は約4万人、ヒロ校の学生数は約3,800人、うち1割程度が各国から来る留学生です。



▲ヒロの沿岸



▲ヒロ校校舎

ハワイ大学 ヒロ校 URL >> <http://hilo.hawaii.edu/>

英語 オーストラリア(ブリスベン)



# グリフィス大学

Griffith University

グリフィス大学は、クイーンズランド州の州都でありオーストラリア第三の都市でもあるブリスベンとゴールドコーストにキャンパスを持つ大学です。その大学の附属英語学校であるグリフィスイングリッシュランゲージインスティテュート (GELI) では世界各国から来た留学生が学習しています。松山大学の長期海外研修講座の参加者はブリスベンのキャンパスで学習します。大学の附属英語学校であるため、図書館やコンピュータ室等大学の施設を利用することが可能です。



## ■一般英語コース (General English Course)

レベル別に分かれたクラスで学習します。読解、文章表現、聞き取り、会話、文法、語彙、発音等あらゆる英語の技能について学ぶことができます。又、参加者の希望と英語力によっては「English for Academic Purposes(EAP)」という大学進学準備クラスを受講することも可能です。



▲グリフィス大学



▲リバーサイド

グリフィス大学 URL >> <http://www.griffith.edu.au/>

英語 カナダ(ビクトリア)



University of Victoria  
University of Victoria

# ビクトリア大学

ビクトリア大学のイングリッシュランゲージセンター (ELC) は、国際学生向けの充実した授業内容とエキサイティングなプログラムで、世界中に知られています。1970年に設立されたセンターは、日本をはじめ、様々な国から生徒を迎え、多くの卒業生を世に送り出しています。異国で学ぶ国際学生のニーズをよく理解した、熱心でプロフェッショナルな講師陣は、すべて ESL 教授の特別訓練を受けた学位取得者です。フレンドリーで協力的な学習環境が用意されています。



## ■イングリッシュランゲージプログラム

日本の複数の大学が集まり合同で行うプログラムです。レベル別に分かれたクラスで、生徒の理解を深め、実社会で効果的にコミュニケーションが図れるよう、最新の教授法と教材が使われます。読解、文章表現、聞き取り、会話の他、文法、語彙、慣用熟語等を学習します。大学生証明書が与えられることにより、多くの学習施設やレクリエーション施設も利用できます。



▲大学の看板の前



▲州議事堂

ビクトリア大学 URL >> <http://www.uvic.ca/>

フランス語 フランス(ディジョン)



# ブルゴーニュ大学

University of Burgundy

ブルゴーニュ大学は、パリから電車で1時間40分程度のコート=ドール県ディジョンにあります。ブルゴーニュ公国のかつての首都であったディジョンは、歴史的な建造物を含む豊かな文化遺産に恵まれ、美食とワインの街として世界的にも知られています。1722年に創立されたブルゴーニュ大学は、ブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ中規模の国立総合大学です。学生数は25,000人ほど、留学生は約60国籍から1,500人あまりに在籍しています。本学では、2014年の夏に初めての研修団を送りました。



## ■短期フランス語研修講座 【CIEF】フランス語研究国際センター

経験豊かな講師陣が、フランス語およびフランス文化に関する授業を展開しており、フランス語教育については定評があります。クラスはプレシメントテストによって1クラス15人ほどのレベル別に分かれ、各国から来る留学生と共にフランス語を学びます。また、ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も充実しています。



▲ブルゴーニュ大学学生寮



▲ブルゴーニュ市内

ブルゴーニュ大学 URL >> <http://www.u-bourgogne.fr/>



ドイツ語 ドイツ(フライブルク)



# フライブルク大学

University of Freiburg

フライブルク大学は、ドイツ南西部バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク市にあります。フライブルクの周辺には「黒い森」と呼ばれる有名な森林地帯があり、自然豊かな環境で過ごします。1457年創立のフライブルク大学はドイツで三番目に古い大学で、校舎の多くはフライブルク旧市街にあり、市内中心部にも容易にアクセスすることができます。現在は学生数21,000人以上、教員数5,000人以上の総合大学として多くの国から留学生を受け入れています。2002年12月に本学はフライブルク大学と全学交流協定を締結しました。



### ■短期ドイツ語研修講座

【SLI】言語教育インスティテュート

フライブルク大学の附属語学学校であるSLIによって行われるこのプログラムでは、参加者のレベルに応じて、日本人のみのクラスと各国から来た学生と共に学ぶ国際クラスとが用意されています。ドイツの文化や生活が理解できるよう、教室での授業と関連させた実地見学等を織り混ぜ、地域社会と学生との接触の場が提供されます。また、ドイツ文化に接することができる多彩なレクリエーションも用意されています。



▲フライブルク大学の校舎



▲フライブルクの街並み

フライブルク大学 URL >> <http://www.uni-freiburg.de/>

中国語 中国(上海)



# 復旦大学

Fudan University

復旦大学は「北の北京、南の復旦」と称され、北京大学と双璧をなす中国の名門大学です。上海市に所在する全国重点大学で、創立以来百余年の歴史があります。復旦大学は、近代中国の著名な教育家・馬相伯によって、1905年私立の復旦公学として創立されました。校名は尚書の「虞夏伝」に見える「日月光華、旦復旦兮」の句に由来します。2000年には上海医科大学と合併して、医学部も有する国の総合研究型大学となりました。また、建国後一番早く留学生の受入を始めた大学の一つで、現在その規模は中国国内総合大学の中で一位を誇っています。毎年数千人の留学生が在籍しており、長期留学・交換留学・短期語学研修に世界各国より訪れています。広大でアカデミックなキャンパスは上海市の東北郊外にあり、喧騒を離れ落ち着いた環境は学習には最適です。2005年本学は復旦大学と全学交流協定を締結しました。



▲復旦大学正門



▲復旦大学キャンパス



▲毛沢東主席像

復旦大学 URL >> <http://www.fudan.edu.cn/>

中国語 中国(上海)



# 上海師範大学

Shanghai Normal University

上海師範大学は1954年に創立以来、上海の教育界に多くの人材を送り出し、教員養成において伝統ある大学として発展した歴史ある総合大学です。特に言語教育に関しては中国有数の大学のひとつで、早い時期から留学生に対する中国語教育を始めており、経験が豊富です。現在中国政府奨学金が設けられており、成績が優秀な留学生に各等級の奨学金が支給されます。大学のキャンパスは、ポプラ並木の間に煉瓦造りの校舎が並ぶ静かで落ち着いた環境です。派遣留学生が学ぶ対外漢語学院は、留学生に中国語教育を専門に教授する学院です。レベル別にクラス編成がなされ、発音矯正やビジネス中国語、HSK対策授業等中国語に関する選択科目も充実しています。2004年に本学は上海師範大学と全学交流協定を締結しました。



▲上海師範大学キャンパス



▲対外漢語学院



▲上海師範大学の正門

上海師範大学 URL >> <http://www.shnu.edu.cn/>

中国語 中国(上海)



# 上海財經大学

Shanghai University of Finance and Economics

上海財經大学は1917年に創立され、やがて中国教育史上一番早い商科大学となり、現在は財政学や会計学、金融学のほか、国際ビジネス、マネジメント、法学などの学部を擁する総合大学に発展を遂げています。上海財經大学に特設されている国際文化交流学院は、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国経済とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。国際センター課主催の「短期中国語研修講座」は、併設の国際文化交流学院で実施しています。2011年9月に上海財經大学と本学との全学交流協定が締結され、協定に基づいた長期留学が可能になりました。



▲上海財經大学 中山北一路キャンパス



▲上海財經大学 国定路キャンパス



▲留学生寮

上海財經大学 URL >> <http://www.shufe.edu.cn/>



中国語 中国<青島>



# 青島大学

Qingdao University

青島大学は、山々を背景とした海沿いの町に白い建物が浮かび上がる美しいキャンパスを有しており、1924年に設立され、1993年に4大学が合併してできた学校で、現在は山東地方で最も大きな総合大学です。

夏は涼しく冬は温暖な気候で、落ち着いた環境は学習には最適です。経済学、管理学、理学、工学、医学、教育学、芸術学など多岐にわたる学部があり、約4万人の学生が学んでいます。周囲を海で囲まれているため温暖湿潤で、交通の便が良く自然豊かなキャンパスです。2004年に本学は青島大学と全学交流協定を締結しました。



▲青島大学正門付近



▲青島大学キャンパス

青島大学 URL >> <http://www.qdu.edu.cn/>

韓国語 韓国<ソウル>



# 建国大学校

Konkuk University

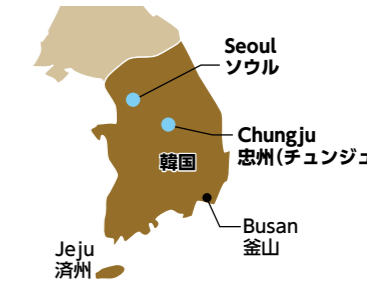
建国大学校は半世紀の歴史と伝統を誇っています。母体は1931年に政財界の代表者45人の支援を得て設立した民衆病院。そして、1946年に設立された朝鮮政治学館から1959年に今の総合大学に発展して以後、誠・信・義の教育理念のもと、国際化を目指す大学として成長してきました。ソウルと忠清北道忠州市に2つのキャンパスを持ち、充実した教育環境で有名な韓国有数の総合私立大学です。ソウルキャンパスには学校の中に湖がある等自然と調和したキャンパスが広がっています。現在、「ルネッサンス建国2031」という新しいビジョンを樹立。2031年までに世界100大大学への跳躍を目指し、経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。1993年6月に本学は建国大学校と学部間交流協定を締結し、その後、1998年2月に全学交流協定を締結しました。



▲建国大学校入口



▲キャンパス内の広大な湖



▲学生会館

建国大学校 URL >> <http://www.konkuk.ac.kr/>

中国語 台湾<高雄>



# 國立高雄大学

National University of Kaohsiung

國立高雄大学は台湾南部に位置し、南部の高等教育・研究機関の充実を図るため国家政策により、2000年に設立された新しい国立大学です。人文社会科学部、法学部、経営学部、理学部、工学部などの学部で構成され、全国から優秀な学生が集まる名門総合大学です。日台間では産学官連携によるグローバルな国際協力関係の構築が進む中、2010年5月に國立高雄大学と本学との全学交流協定が締結されました。高雄市は台北に次ぐ台湾第2の大都市で、商業が盛んな港町です。年間を通して温暖な気候で、交通の便と住環境が良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。



▲國立高雄大学正門前



▲國立高雄大学キャンパス



▲國立高雄大学留学生寮

國立高雄大学 URL >> <http://www.nuk.edu.tw/>

韓国語 韓国<平澤>



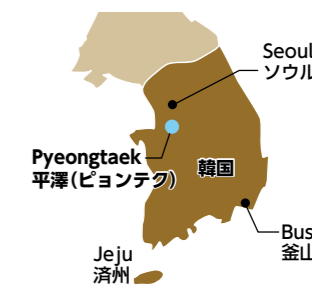
# 平澤大学校

Pyeongtaek University

平澤大学校は、韓国の京畿道平澤市に位置する、古い伝統と力強い若さを共に持つ大学です。1912年にピアソン博士のキリスト教精神を基に、母体となるピアソン記念聖經学院をソウルで創立。1980年に4年制大学の設立認可を受け、翌年1981年にソウルから平澤へ校舎を移設。初の新入生を受け入れ、大学として本格始動しました。1992年に総合大学・平澤大学に昇格し、1996年に学校名が現名称である平澤大学校に改称されました。こうして、長い歴史を持ちながら若い大学として現在に至るまで発展を続けています。地域で唯一の総合大学である平澤大学校は、「キリスト教精神で大きな意味を成す大学」という発展ビジョンを掲げ、真理・正義・奉仕の教訓のもと、地域社会と連携しながら、人物性と専門能力を兼ね備えた人材を育成するための先端教育に取り組んでいます。韓国大学教育協議会において優秀大学として認定され、地域の発展は勿論、韓国の大学教育の発展にも大きく寄与しています。2006年4月に本学は平澤大学校と全学交流協定を締結しました。



▲平澤大学校正門



▲キャンパス風景



▲運動場

平澤大学校 URL >> <http://www.ptuniv.ac.kr/>

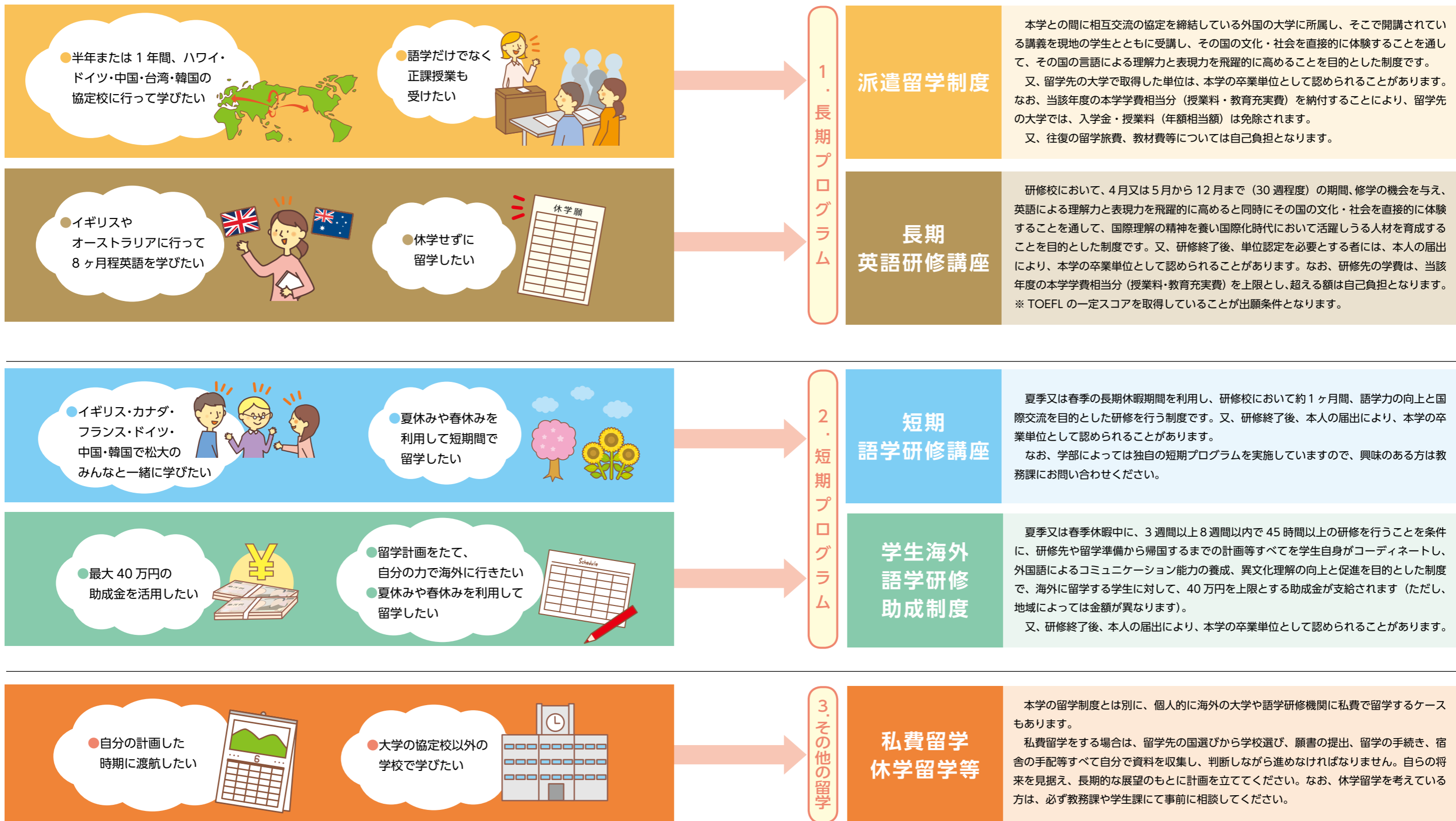


# 目的にあった留学プログラムを選ぼう



海外留学にはみなさんの様々なニーズに対応できるように、各種プログラムが用意されています。目的や学びたい期間に合わせて、自分にあった留学プログラムを選ぶことが大切です。

## ●自分にあった留学スタイルを見つけてみよう！









## 短期語学研修講座の概要

講座名	短期英語研修講座		短期フランス語研修講座
	①イギリス	②カナダ	③フランス
国名	P. 5 参照	P. 6 参照	P. 7 参照
研修地	ケント州 カンタベリー カンタベリークライストチャーチ大学	ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア ビクトリア大学 イングリッシュランゲージセンター	コート＝ドール県 デジジョン ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター
研修期間	8月下旬～9月中旬(約3週間) 60時間以上の研修を行います。	8月上旬～9月上旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。	8月下旬～9月中旬(約3週間) 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	ホームステイ(空室があれば寮も可です)	ホームステイ	寮
対象	全学部生/留学時2年次生以上 ※当該年度に以下の科目の履修が必要です。 「事前研修 B イギリス」	全学部生/全学年 短期大学生/留学時2年次生以上 ※当該年度に以下の科目の履修が必要です。 「事前研修 A カナダ」	全学部生/留学時2年次生以上 「フランス語1」の修得者 ※当該年度にフランス語応用科目の履修が必要です。
定員	約20名	約20名	約20名
選考	面接試験によります。	面接試験によります。	面接試験によります。
費用	約410,000円(2014年度実績) 全額自己負担 旅費:約200,000円 研修費:約210,000円 ※研修費に1日2食(朝食・夕食)が含まれます。	約560,000円(2014年度実績) 全額自己負担 旅費:約240,000円 研修費:約320,000円 ※研修費に1日3食が含まれます。	約430,000円(2014年度実績) 全額自己負担 旅費:約210,000円 研修費:約220,000円 ※研修費に食費は含まれません。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンタベリーは、ロンドンから電車で1時間30分程度の場所にあり、カンタベリー大聖堂をはじめとする歴史的建造物や古い町並みが見事に保存されています。</li> <li>・各国から来た学生で構成するクラス(インターナショナルクラス)。クラス分けによってはクラスメイトが日本人のみになる場合もあります。</li> <li>・午前中に2コマ、午後1コマの英語クラスを受講します。</li> <li>・希望すれば、アクティビティ(市内ツアー・大聖堂見学・ロンドン日帰りツアー等)に参加することができます(別途料金が必要なものあり)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビクトリアは、バンクーバー島にあるブリティッシュコロンビア州の州都であり、美しい入り江が多く、野鳥や野生の動物が息づく自然に恵まれた環境です。また、いろいろなアウトドアスポーツが楽しめます。</li> <li>・他の日本の大学の学生と共に構成されるクラス。能力別にクラス分けがあります。(クラスメイトは日本人のみです)</li> <li>・午前中は英語クラスを受講し、午後は博物館・美術館の訪問・ハイキング等の各種文化活動を通して英語を楽しみながら学んでいきます。</li> <li>・ホームステイを通じて実生活から生きた英語を習得します。ビクトリアは、比較的生活水準の高い地域で、イギリス系の伝統を残した家庭的な雰囲気を持っています。その中で、楽しいホームステイが体験できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジジョンは、フランス中部に位置し、パリから電車で1時間40分程度の場所にあり、プチパリとよばれるほど歴史的建造物が残る美しい町です。</li> <li>・各国から来た学生で構成するクラス(インターナショナルクラス)。プレースメントテストによるレベル別クラス分けがあります。</li> <li>・経験豊富な講師陣による、フランス語やフランス文化の授業を受けることができます。フランス語教育においては定評があります。</li> <li>・ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も豊富で、デジジョン近郊へのツアーもあります。</li> </ul>
認定科目	「海外語学研修 B イギリス」(4単位)	「海外語学研修 A カナダ」(4単位)	「海外語学研修 B フランス」(4単位)
単位認定申請	研修校において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書(本学所定のもの)を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当分の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。		
募集時期	募集ガイダンス及び募集開始:12月中旬	募集ガイダンス及び募集開始:12月中旬 (新入生のみ4月上旬)	募集ガイダンス及び募集開始:12月中旬
URL	<a href="http://www.canterbury.ac.uk/arts-humanities/english-language-studies/programmes/EnglishasaForeignLanguage/GeneralEnglish.aspx">http://www.canterbury.ac.uk/arts-humanities/english-language-studies/programmes/EnglishasaForeignLanguage/GeneralEnglish.aspx</a>	<a href="http://www.uvcs.uvic.ca/etc/translate/japanese/">http://www.uvcs.uvic.ca/etc/translate/japanese/</a>	<a href="http://cief.u-bourgogne.fr/">http://cief.u-bourgogne.fr/</a>

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

講座名	短期ドイツ語研修講座	
	④ドイツ	⑤ドイツ
国名	P. 8 参照	P. 8 参照
研修地	バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク フライブルク大学/言語教育インスティテュート(SLI) 日本人クラス	バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク フライブルク大学/言語教育インスティテュート(SLI) インターナショナルクラス
研修期間	8月上旬～8月下旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。	
滞在方法	寮(市内にあります)	
対象	全学部生/留学時に1年次生 「ドイツ語1」の履修者	全学部生/留学時に2年次生以上 「ドイツ語1」の修得者 ※当該年度にドイツ語応用科目の履修が必要です。
定員	あわせて約20名	
選考	筆記試験・面接試験によります。	
費用	約320,000円(2014年度実績) 全額自己負担 旅費:約190,000円 研修費:約130,000円 ※研修費に食費は含まれません。	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の都市で、面積の約40%は森に覆われており、自然に恵まれた中で研修が受けられます。</li> <li>・ドイツ語初心者の日本人学生を対象。</li> <li>・週末日帰り旅行や日本人/ドイツ人スタッフによる多彩なレクリエーションが用意される等、日本人チューター及び日本人/ドイツ人スタッフによるサポート体制が充実しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の都市で、面積の約40%は森に覆われており、自然に恵まれた中で研修が受けられます。</li> <li>・各国から来た学生の参加するインターナショナルクラスでドイツ語コミュニケーション能力養成をはかります。能力別にクラス分けがあります。</li> <li>・オプションで週末旅行や課外プログラムが受けられます。</li> </ul>
認定科目	「海外語学研修 A ドイツ」(4単位)	「海外語学研修 B ドイツ」(4単位)
単位認定申請	研修校において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書(本学所定のもの)を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当分の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。	
募集時期	募集ガイダンス及び募集開始:5月上旬	募集ガイダンス及び募集開始:12月上旬
URL	<a href="http://www.sli.uni-freiburg.de/">http://www.sli.uni-freiburg.de/</a>	



## 短期語学研修講座の概要

講座名	短期中国語研修講座	短期韓国語研修講座
国名	⑥中国 P. 9 参照	⑦韓国 P.11 参照
研修地	上海 上海財経大学国際文化交流学院	ソウル 建国大学校言語教育院
研修期間	2月下旬～3月下旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。	8月上旬～8月下旬(約3週間) 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	ホテルまたは寮	寮(構内にあります)
対象	全学部生/全学年 ※当該年度に卒業予定の者を除きます。	全学部生/全学年
定員	20名	20名
選考	書類審査及び面接試験によります。	面接試験によります。
費用	約180,000円(2014年度予定) 全額自己負担 旅費:約86,000円 研修費:約94,000円 ※研修費に食費は含まれません。 ※宿泊先により、研修費が変動します。	約236,000円(2014年度実績) 全額自己負担 旅費:約84,000円 研修費:約152,000円(宿泊費を含む) ※研修費に食費・テキスト代、文化授業にかかる交通費は含まれません。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>上海財経大学国際文化交流学院を基地に大都会「上海」の探索が思う存分できます。</li> <li>大学の学生に特化した授業で、実地に役立つ会話中心のカリキュラム。授業は月～金の午前中のみです。午後は予習・復習と自由行動です。</li> <li>大学内の留学生寮または、近くのビジネスホテルに滞在します。</li> <li>研修中に上海財経大学日本語専攻科の学生との交流会を実施します。</li> <li>週末には市内見学と上海近郊(蘇州・杭州等)に1～2泊の小旅行を実施します。</li> <li>寮には共同の調理設備はありませんが、大学周辺で安価で美味しいものが食べられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建国大学校言語教育院を基地に大都会「ソウル」の探索が思う存分できます。</li> <li>研修日初日に、スクリーニングテストを行い、その結果を元にクラス分けを行います。</li> <li>月～金の午前中は韓国語のクラスで研修し、午後は予習・復習・自由行動ができます。</li> <li>毎週1～2回程度、午後に研修校主催の文化授業を行います。(韓国の伝統文化体験、伝統楽器体験、料理体験、ダンス体験、公演観覧)また、日帰りでソウル近郊へ研修旅行に行く見学授業を1回実施します。</li> <li>滞在予定の大学構内の寮は、2名1部屋でエアコン、シャワー、トイレ、学習机、イス、ふとん、まくら、内線電話、インターネットは、各部屋に完備。冷蔵庫、ミネラルウォーター(冷・温)は、各フロアに完備。洗濯室、テレビ、電子レンジは、各棟に完備され、寮の入退はICカードにて管理されています。</li> <li>寮では自炊はできませんが、大学周辺で安価で美味しいものが食べられます。</li> </ul>
認定科目	「海外語学研修A中国」(4単位)	「海外語学研修A韓国」(4単位)
単位認定申請	研修校において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書(本学所定のもの)を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。	
募集時期	募集ガイダンス及び募集開始:10月上旬	募集ガイダンス及び募集開始:4月下旬
URL	http://www.ices.shufe.edu.cn/	http://kfli.konkuk.ac.kr/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

## 長期英語研修講座の概要

講座名	長期英語研修講座	
国名	⑧イギリス P. 5 参照	⑨オーストラリア P. 7 参照
研修地	ケント州 カンタベリー カンタベリー クライスト チャーチ大学	クイーンズランド州 ブリスベン グリフィス大学 イングリッシュ ランゲージ インスティテュート
研修期間(予定)	① General English Term 4～6月 ② Summer Course 7～9月 ③ General English Term 9～12月 (実研修期間:29週間/①～③を合わせます。)	ELICOS(英語集中講座)4月上旬～12月下旬 (実研修期間:30週間)
滞在方法	ホームステイ(空室があれば寮も可です)	ホームステイ
対象	全学部生/留学期に2年次生以上 規定の語学検定試験成績(下表1参照)を修めた者です。	
定員	若干名	
選考	面接試験によります。	
費用	(主な自己負担金) ・入学金・授業料 ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費を含む) ・教材費 ・実地見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等	
助成金	当該年度学費相当分(授業料・教育充実費)	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>この研修はカンタベリー クライスト チャーチ大学のインターナショナルオフィスが提供する English Language Courses にて行います。</li> <li>所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より修了証書が交付されます。</li> <li>研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出してください。</li> <li>受講者には、研修終了後に受験した TOEFL 又は TOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この研修はグリフィス大学のグリフィス イングリッシュ ランゲージ インスティテュート(GELI)が提供する English Language Intensive Courses for Overseas Students (ELICOS) において行います。</li> <li>所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より修了証書が交付されます。</li> <li>研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出してください。</li> <li>受講者には、研修終了後に受験した TOEFL 又は TOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。</li> </ul>
認定科目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	研修校において、所定の成績を修めた証明書類に単位認定申請書(本学所定のもの)を添えて提出することにより、学部教授会が適当と認めたものについては、年間履修単位数に算入され卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。	
募集時期	募集ガイダンス及び募集開始:10月中旬	募集ガイダンス及び募集開始:10月中旬
URL	http://www.canterbury.ac.uk/StudyHere/International/HowToApply/EnglishLanguageProgrammes.aspx	http://www.griffith.edu.au/

■表1 [出願資格]

	本学指定語学検定試験	必要な成績
英語	TOEFL-iBT	57点以上(120点満点)
	TOEFL-PBT	490点以上(677点満点)

※ TOEFL-PBT は 2007 年 11 月以降、日本国内では実施されていません。



## 学生海外語学研修助成制度の概要

学生海外語学研修助成制度		
区 分	⑩夏季休暇中	⑪春季休暇中
研 修 地	本学で開講されている言語を公用語とする国	
研修期間 (予定)	夏季又は春季休暇中の3週間以上8週間以内、45時間以上の研修を行います。 ただし、実研修日数が15日以上であることです。(各自の計画によります)	
滞在方法	本人の計画によります。	
対 象	全学部生 / 全学年 在学中に一度だけ利用可 規定の語学検定試験成績 (下表1参照) を修めた者です。	全学部生 / 全学年 ※留学期間に卒業予定者を除く 在学中に一度だけ利用可 規定の語学検定試験成績 (下表1参照) を修めた者です。
定 員	22名	11名
選 考	書類審査・面接試験によります。 ※出願者は、「語学検定試験結果の証明書」「申込書」「志望理由書(本学所定のもの:1,500字)」を提出しなければなりません。	
助 成 金	400,000円を上限とする (2015年度予定) 出発前に「実行計画書(留学費用、研修費用の請求・領収書等)」を国際センター課に提出してください。 ただし地域によって金額が異なる場合もあります。	
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生は、個人の責任で留学準備から帰国までの計画を自由に組む事ができます。(ただし、研修前後の旅行は1週間で限度に申請書を提出し、承認された場合のみ可能です。)</li> <li>研修先、研修機関、滞在方法についても、自由に選択することができます。(ただし、本学で開講されている言語を公用語とする国に限ります。)</li> <li>外国人は母語の言語圏を選択できません。</li> <li>上記研修機関については、学生本人が選択し、国際センター運営委員会の許可を得なければなりません。</li> <li>研修終了後、研修報告書の提出を義務づけます。</li> </ul>	
認定科目	語学助成研修	
単位認定申請	語学研修先において、所定の成績を修め、研修内容と時間数等の証明書類に単位認定申請書(本学所定のもの)を添えて提出することにより、学部教授会が語学研修時間相当分の単位として認めたものについては、年間履修単位数の枠外に算入され、卒業所要単位として認定されることがあります。	
募集時期	募集ガイダンス及び募集開始: 4月下旬	募集ガイダンス及び募集開始: 10月上旬
U R L	<a href="http://www.matsuyama-u.ac.jp/kokusai/josei/youkou.htm">http://www.matsuyama-u.ac.jp/kokusai/josei/youkou.htm</a>	<a href="http://www.matsuyama-u.ac.jp/kokusai/josei_shunki/youkou.htm">http://www.matsuyama-u.ac.jp/kokusai/josei_shunki/youkou.htm</a>

■表1 [出願資格]

	本学指定語学検定試験 (いずれか1つでよい)	必要な成績
英 語	TOEIC Bridge (IPを含む)	150点以上 (英語英米文学科の学生は154点以上) 180点満点
	TOEIC (IPを含む)	470点以上 (英語英米文学科の学生は505点以上) 990点満点
	TOEFL-PBT	460点以上 (英語英米文学科の学生は480点以上) 677点満点
	TOEFL-iBT	48点以上 (英語英米文学科の学生は54点以上) 120点満点
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	4級以上 (易) 5級→1級 (難)
フランス語	実用フランス語技能検定試験	4級以上 (易) 5級→1級 (難)
スペイン語	スペイン語技能検定試験	6級以上 (易) 6級→1級 (難)
中 国 語	中国語検定試験	4級以上 (易) 準4級→1級 (難)
	中国語コミュニケーション能力検定 (TECC)	250点以上 1,000点満点
韓 国 語	[ハングル] 能力検定試験	4級以上 (易) 5級→1級 (難)
	韓国語能力試験	1級以上 (易) 1級→6級 (難)

\* TOEIC Bridge のスコアと TOEIC スコアとの公式な換算表の上限が TOEIC Bridge スコアの 160 点であることから、TOEIC Bridge を以って本制度に申請する場合、160 点以上の取り扱いは一括となります。(詳細は TOEIC 公式サイトを参照 <http://www.toeic.or.jp/>)

\*希望研修先該当言語の試験を受験してください。

## 派遣留学制度の概要

派遣留学制度			
国 名	⑫アメリカ	⑬ドイツ	⑭中国
	P. 6 参照	P. 8 参照	P. 8 参照
研 修 地	ハワイ州 ハワイ大学ヒロ校	バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク市 フライブルク大学	上海市 復旦大学
研修期間	8月中旬～翌年5月中旬(約10ヶ月間) 8月中旬～12月下旬(約5ヶ月間)	原則として8月上旬～翌年7月下旬(約1年間)	9月上旬～翌年7月下旬(約1年間) 8月下旬～翌年1月下旬(約半年間)
滞在方法	寮(構内または市内にあります)	寮(市内にあります)	寮(構内にあります)
対 象	派遣時に学部で1年以上在学している者とします。	学部生に関しては派遣時に1年以上在学している者とします。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	派遣時に学部又は大学院研究科に1年以上在学している者とします。
	成績については、通算半期平均15単位以上を修得している者とします。	成績については、通算半期平均15単位以上を修得している者とします。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	成績については、通算半期平均15単位以上(大学院生は8単位以上)を修得している者とします。
	*TOEFLiBT スコア 61 以上の取得が必要です。	*ドイツ語技能検定試験3級以上の合格者が望ましい。	*中国語検定試験3級以上、又は新 HSK 4 級以上の合格者が望ましい。
定 員	若干名	1名	1名
選 考	書類審査・面接試験(日本語及び英語)によります。	筆記試験(ドイツ語)・書類審査・面接試験(日本語及びドイツ語)によります。	書類審査・面接試験(日本語及び中国語)によります。
費 用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料	(免除される費用) ・入学金 ・授業料	(免除される費用) ・入学金 ・授業料
	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費を含む) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費を含む) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・保証金・光熱費・食費を含む) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等
	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。 ・免除される費用については、相互派遣が成立した年度に限りです。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。 同大学言語センターが提供するドイツ語講座については、留学生向けに特別に設けられた授業のみ授業料が免除されます。それ以外にかかる費用は自己負担です。  宿舍費(10月～7月)は自己負担:約3,300ユーロ(2015年度予定)。 留学生には、フライブルク大学から10ヶ月間(10月～7月)奨学金(月額:450ユーロ(2014年度実績))が支給されます。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。 ・相互派遣が成立した場合は、宿舍費が免除される場合があります。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>1941年に設立されたハワイ島ヒロにある州立大学です。</li> <li>多国籍の学生が集まる割合が全米の中でもトップクラスであるほど、国際色豊かな雰囲気の中で学ぶことができます。少人数クラス編成で、教授と学生間のコミュニケーションがとりやすいのが特徴です。</li> <li>附属の英語教育機関にて、正課授業の受講に必要な語学力の向上を図ることができます。</li> <li>ヒロは、透き通る海・世界的に有名な活火山などの大自然が豊かに広がり、日本では体験できないアウトドアアクティビティがたくさんあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1457年に設立された、ドイツで最も古い大学のひとつです。</li> <li>100以上の研究所、学科を含む11学部を擁しています。</li> <li>学生数は約21,000人。100ヶ国以上の留学生在が在籍しています。</li> <li>フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の都市で、面積の約40%は森に覆われており、自然に恵まれた中で学習できます。</li> <li>派遣留学生には8月及び9月にSLI(大学附属の語学学校)で開講されるドイツ語研修講座の受講を義務付けます。(受講料と8～9月分の宿舍費は松山大学負担。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1905年に設立された重点大学。「北の北京、南の復旦」と称される中国の名門大学です。</li> <li>上海の東北郊外にある広大なキャンパスは、喧騒を離れ落ち着いた学習するのに最適です。</li> <li>併設の国際文化交流学院(ICES)で中国語を学びます。(本科生が受講する学部専門科目は履修できません。)</li> </ul>
	認定科目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書(本学所定のもの)に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認めたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。		
募集時期	2015年11月下旬～2016年1月上旬	2016年1月上旬～2016年3月中旬	2016年1月上旬～2016年3月中旬
U R L	<a href="http://hilo.hawaii.edu/">http://hilo.hawaii.edu/</a>	<a href="http://www.uni-freiburg.de/">http://www.uni-freiburg.de/</a> <a href="http://www.sli.uni-freiburg.de/">http://www.sli.uni-freiburg.de/</a>	<a href="http://www.fudan.edu.cn/">http://www.fudan.edu.cn/</a>

\*派遣留学希望者は、募集要項掲示時期と出願期間に注意してください。



## 派遣留学制度の概要

派遣留学制度			
国名	⑮⑯⑰中国		
	P.9参照	P.9参照	P.10参照
研修地	上海市 上海師範大学	上海市 上海財経大学	青島市 青島大学
研修期間	9月上旬～翌年7月上旬(約1年間) 9月上旬～翌年1月中旬(約半年間)	8月下旬～翌年7月下旬(約1年間) 8月下旬～翌年1月下旬(約半年間)	8月下旬～翌年7月下旬(約1年間) 8月下旬～翌年1月下旬(約半年間)
滞在方法	寮(構内にあります)	寮(中山北一路キャンパスの構内にあります)	寮(構内にあります)
対象	派遣時に学部で1年以上在学している者とします。	派遣時に学部又は大学院研究科に1年以上在学している者とします。	派遣時に学部又は大学院研究科に1年以上在学している者とします。
	成績については、通算半期平均15単位以上を修得している者とします。	成績については、通算半期平均15単位以上(大学院生は8単位以上)を修得している者とします。	成績については、通算半期平均15単位以上(大学院生は8単位以上)を修得している者とします。
※中国語検定試験3級以上、又は新HSK4級以上の合格者が望ましい。			
定員	1名	1名	1名
選考	書類審査・面接試験(日本語及び中国語)によります。		
費用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費  (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・光熱費・食費を含む) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 ・長期休暇中の宿舍費  (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要はありません。	(免除される費用) ・入学金 ・授業料  (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費を含む) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等  (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要はありません。	(免除される費用) ・入学金 ・授業料  (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・宿舍費・光熱費・食費を含む) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等  (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要はありません。 ・相互派遣が成立した場合は、宿泊費が免除される場合があります。
	特徴	・1954年に設立された総合大学です。言語教育に関しては中国有数の大学のひとつです。 ・留学生に対する中国語教育の長い経験を有し、毎年多くの留学生が集い学びます。 ・交通の便利がよく、自然豊かなキャンパスです。 ・教育設備も完備され、住環境もよく、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・併設の対外漢語学院で中国語を学びます。(本科生が受講する科目は履修できません。)	・上海財経大学は1917年に創立され、経済や会計、金融の他、国際ビジネス、マネジメント、法学等7学部を擁する総合大学です。 ・留学生を育成するために上海財経大学に特設されている国際文化交流学院は、ここを窓口に、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国経済とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。 ・教育設備も完備され、住環境も良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・併設の国際文化交流学院で中国語を学びます。(本科生が受講する科目は履修できません。)
認定科目	所属学部開講の科目		
単位認定申請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書(本学所定のもの)に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認められたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。		
募集時期	2016年1月上旬～2016年3月中旬	2016年1月上旬～2016年3月中旬	2016年1月上旬～2016年3月中旬
URL	http://www.shnu.edu.cn/	http://www.shufe.edu.cn/	http://www.qdu.edu.cn/

\* 派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

派遣留学制度			
国名	⑱台湾	⑲⑳韓国	
	P.10参照	P.11参照	P.11参照
研修地	高雄市 国立高雄大学	ソウル市 建国大学校	平澤市 平澤大学校
研修期間	9月中旬～翌年7月下旬(約1年間) 9月中旬～翌年1月下旬(約半年間)	2月下旬～翌年2月中旬(約1年間)	2月下旬～翌年12月下旬(約10ヶ月間)
滞在方法	寮	寮(構内にあります)	寮(構内にあります)
対象	派遣時に学部又は大学院研究科に1年以上在学している者とします。	派遣時に学部又は大学院研究科に6ヶ月以上在学している者とします。	派遣時に学部又は大学院研究科に6ヶ月以上在学している者とします。
	成績については、通算半期平均15単位以上(大学院生は8単位以上)を修得している者とします。	成績については、通算半期平均15単位以上(大学院生は8単位以上)を修得している者とします。	成績については、通算半期平均15単位以上(大学院生は8単位以上)を修得している者とします。
※中国語検定試験3級以上、又は新HSK4級以上の合格者が望ましい。		※「ハングル」能力検定試験4級又は(一般)韓国語能力試験1級以上の合格者が望ましい。	
定員	1～2名	若干名	2名
選考	書類審査・面接試験(日本語及び中国語)によります。	書類審査・面接試験(日本語及び韓国語)によります。	
費用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料  (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等  (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要はありません。	(免除される費用) ・入学金 ・授業料  (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等  (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要はありません。	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費(光熱費を含む)  (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・食費を含む) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 ・長期休暇中の宿舍費  (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要はありません。
	特徴	・台湾南部での高等教育・研究機関の充実を図るため、国家政策により、2000年に設立されました。 ・本科生と同じ授業を履修します。(使用言語は中国語) ・外国人留学生向けの中国語補習クラスが開講されます。 ・留学生1人1人に台湾人学生チューターが付き、生活及び学習サポートをしてくれます。	・1931年に設立された民族病院、そして1946年に設立された朝鮮政治学館から発展し、1959年に総合大学へと発展。韓国有数の総合私立大学です。 ・キャンパスはソウルと忠州市の2ヶ所にあります。 ・経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。
認定科目	所属学部開講の科目		
単位認定申請	協定校において、所定の成績を修めた証明書類を単位認定申請書(本学所定のもの)に添えて提出することにより、学部教授会が適当と認められたものについては、年間履修単位を限度として卒業所要単位に認定されることがあります。 ※認定の対象科目は所属学部によって異なります。		
募集時期	2016年1月上旬～2016年3月中旬	2015年7月下旬～2015年10月中旬	2015年7月下旬～2015年10月中旬
URL	http://www.nuk.edu.tw/	http://www.konkuk.ac.kr/	http://www.ptuniv.ac.kr/

\* 派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。



## 各留学プログラムの違い

	期 間	本学への 学費納付	留学先大学への 授業料納付	単位認定 申請 ※1	取扱窓口
短期語学研修講座	3週間～4週間	必要 (全額)	全額私費	可	国際センター課
長期英語研修講座	8～9ヶ月間		当該年度本学学費相当分を 超える額を自己負担		
学生海外語学研修助成制度	3週間～8週間		全額私費 (ただし、助成金支給あり)		
派遣留学制度	約1年間 (約半年間) ※2		免除 ※4		
休学留学	最大2年間 (薬学部のみ3年間)	在籍料 ※3	全額私費	不可	教務課 ※5

※1 単位の認定については、P.32の「履修登録と単位認定」を参照してください。  
 ※2 半期留学が認められる大学もあります。詳細は募集要項で確認してください。  
 ※3 詳細は学生便覧「学籍異動」を参照してください。  
 ※4 自己負担が必要となる大学もあります。詳細は募集要項で確認してください。  
 ※5 休学願の取り扱いは教務課です。

## 2015年度の併願について

### I. 申し込み時に併願可能なもの

2言語の範囲内での併願は認めますが、同時期に実施される語学研修優先順位については、本人の希望を確認します。  
 ただし、原則として、許可者となった後では、同一時期に実施される他講座に出願することができません。

### II. 同一年度に併願可能なもの

夏季プログラムと春季プログラム

## 出願資格について

各留学プログラムの出願には、学業成績や TOEFL 等の語学能力試験のスコアが必要となる場合があります。語学検定スケジュールを参考に出席締切までに出願資格を満たせるよう準備をしてください。なお、各プログラムの出願資格は該当ページ (P.16～P.23) を参照してください。

## プログラムの重複受講について

種 別	言 語	プログラム	略 称	C	V	B	F/SLI (日本人クラス) ※3	F/SLI (インター ナショナルクラス)	S	K	L	G	J	派
短期 語学研修講座	英 語	カンタベリー	C	○ ※1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		ビクトリア	V	○	○ ※1	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語	ブルゴーニュ	B	○	○	○ ※1	×	○	○	○	○	○	○	○
	ド イ ツ 語	フライブルク (SLI・日本人クラス)	F/SLI (1年次生)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		フライブルク (SLI・インターナショナルクラス)	F/SLI (2年次生以上)	○	○	○	×	○ ※1	○	○	○	○	○	○
	中 国 語	上海	S	○	○	○	○	○	○ ※1	○	○	○	○	○
韓 国 語	ソウル	K	○	○	○	×	○	○	○ ※1	○	○	○	○	
長期 英語研修講座	英 語	カンタベリー	L	○	○	○	×	○	○	○	×	×	△ ※2	○
		グリフィス	G	○	○	○	×	○	○	○	×	×	△ ※2	○
学生海外語学 研修助成制度	本学で開講 している言語	春季・夏季	J	○	○	○	(夏)× (春)○	○	○	○	△ ※2	△ ※2	×	○
派遣留学制度	英 語	ハワイ		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	ド イ ツ 語	フライブルク		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	中 国 語	復旦		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		上海師範		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		上海財経		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		青島		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		國立高雄		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	韓 国 語	建国		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		平澤		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※1 短期語学研修講座において、同プログラムを重複して受講することは可能ですが、単位認定については1度限りです。  
 ※2 先に、長期講座(L)・(G)を受講した者は、助成制度(J)を利用することができません。先に、助成制度(J)を受講した者は、長期講座(L)・(G)を利用することができます。  
 ※3 F/SLI(1年)の縦列は、1年次生における重複受講の可否を表しています。

## 語学能力

出願条件となっている語学力は、留学先で必要な最低限度のものとなっています。留学先により求められる語学力は異なりますが、留学先では現地の言葉を使って生活し、授業を受講しますので、日常会話に留まらずアカデミックな語学力も不可欠です。又語学力は、周りとのコミュニケーションの円滑化に繋がり、留学をより充実させ、実り多いものにしてほしい。さらに、時には身を守るために必要な手段となりますので、留学前から語学力を向上させる必要があります。

## TOEFLについて

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア等の大学が、留学生の入学要件として課している(スコアカードの提出を求める)、英語を母国語としない人の英語能力を測るテストです。国際センターが開講する長期英語研修講座(イギリス・オーストラリア)に出願するには、TOEFL - iBT (インターネット版)では57点以上、TOEFL PBT (ペーパー版)で490点以上が必要です。(TOEFL PBTは2007年11月以降日本国内では実施されていません。)

本学の各種留学出願の際に提出するスコアは出願時に有効なものに限ります。詳細や最新情報はCIEE 日本代表部ホームページで確認してください。

### 国際教育交換協議会 (CIEE)

<http://www.cieej.or.jp/>

## 英語圏以外の言語について

英語圏以外の諸外国に留学を希望する場合、一部の協定校では、語学能力認定書の他に当該国の語学能力試験で一定の成績を修めることが必要となります。英語圏同様、留学決定後も、継続的に語学能力向上に努めてください。



# 留学準備と計画



あなたは留学の目的を聞かれたらなんと答えますか？外国語を習得し極めたい、専門分野の知識を深めたい、国際的な視野を広げたい等、留学の動機と目的を明確にすることが大切です。留学に際しては、留学先（国・地域）や留学期間、学習内容や習得したいこと等、自分に合ったプログラムを選択することが重要です。将来を見据え留学に向けての計画を立ててください。

入学

## 留学の目的は？

留学の動機や目的を考えてみましょう。

- 語学の習得
- 視野を広げたい！
- 専門分野の知識を深めたい
- 世界各国の文化を知りたい
- 留学後は？等

## 留学プログラムの検討

留学オリエンテーションへ参加しましょう。

- 希望する国・地域は？
- 留学時期や期間は？
- 留学先の受講科目は？
- 予算は？

## 準備を始めよう

出願資格取得に向けて GO!

- 日々の学習（学業成績）
- 語学力の向上  
(TOEFL、TOEIC、各種語学能力試験等)
- 留学資金計画（保護者と相談）
- 情報の収集

## 留学プログラムの選択

各種留学募集ガイダンスに参加して情報収集をしましょう。

- 必要な申込書類を配布するので、必ず出席してください。
- 国際センター課では、いつでも相談を受け付けています。

## 出願・選考

参加プログラムが決まったら、募集要項に基づいて、必要な提出書類を準備し、締め切りに注意して提出してください。

- 面接選考は、プログラムにより個人又は集団による面接となります。
- ※出願までに語学能力試験等の出願資格を満たしてください。

出発の約6ヶ月～1年前

留学決定後～出発直前

## 留学準備

選考に合格、プログラムへの参加が決定したら、事前ガイダンスに出席。パスポート取得やビザ申請等留学に向けた手続きの開始です。

- プログラムによっては、事前研修等の受講が義務となります。

## 留学に向けて

このガイドブックや事前ガイダンスで配付する資料を熟読してください。

- 留学中は楽しい事ばかりではありません。想定外の様々な出来事が起こることもあるため、自分で乗り切るための情報収集や語学力等、十分な準備と心構えが重要です。

留学中

## 留学

健康、安全に気を付けて充実した留学生活を送れるよう日々の学習に取り組みましょう。定期報告を忘れずに！

- 大学では、留学期間中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援や危機管理体制の強化に取り組んでいます。

帰国

## 帰国準備・帰国報告

- 単位の認定を希望する場合は、必ず成績証明書を申請し、持ち帰ってください。
- 帰国後1週間以内に、国際センター課へ帰国報告後、必要な諸手続きを行ってください。
- 学習成果をまとめた「研修報告書」（本学所定）を作成・提出してください。  
留学経験を今後の学生生活において活かしてください。

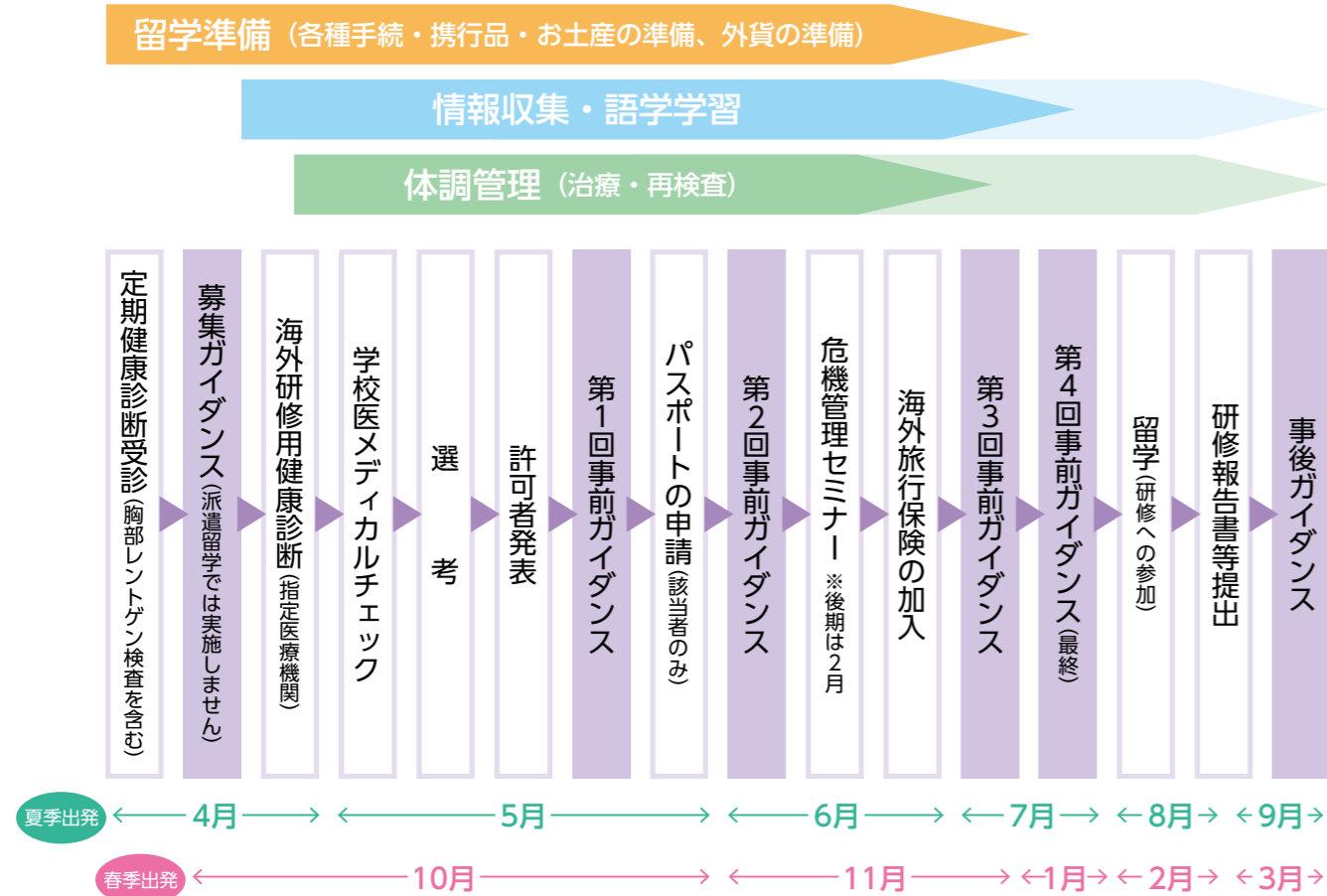
## 単位認定の申請

- 留学先の大学で取得した単位の認定を希望する場合は、成績証明書とともに申請書（本学所定）を準備し、提出してください。単位認定され本学の卒業単位として認められることがあります。
- 詳しくは、P.32を参照してください。

## 事前ガイダンスの実施

各プログラム参加許可者に対して、3～4回程度の事前ガイダンスを行います。留学までの準備や提出書類等について、順次ガイダンスにおいて説明をします。各プログラムにより内容が異なりますが、ガイダンスの共通項目として主な内容は下記の通りです。なお、個人で留学する際にも参考にしてください。

### 1. 許可後のスケジュールについて



### 2. パスポートの取得申請について

パスポートは、海外において国籍・身元を証明する唯一の公文書です。研修中は絶対に他人に預けず、自己の責任で厳重に管理してください。

愛媛県内の旅券申請窓口は、**住所(住民登録)のある市役所・町役場での手続き**となります。ただし松山市の場合、住民票が松山市にない場合でも申請可能な場合があります。詳細は松山市パスポートセンターに確認してください。市町によって旅券窓口の受付時間が異なりますので、詳細は市町のホームページで確認してください。

申請は、「一般旅券発給申請書」を記入して、準備した書類と一緒に旅券窓口に提出して行います。申請書は旅券窓口に置いてあります。

パスポートの残存有効期限を必ず確認し、留学期間に有効期限切れとなる場合は、速やかに更新手続きをしてください。

#### 外務省旅券申請案内

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/index.html>

#### 松山市パスポートセンター

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/siminbu/passport.html>

### パスポートの申請準備から取得まで

申請に必要なもの A～Dすべて原本 ※コピー不可

#### A. 戸籍抄本又は謄本…1通

- 申請日前6ヶ月以内に発行されたもの
- 戸籍謄(抄)本は、本籍地のある市町村で手に入ります。  
※本籍が遠く離れている場合は郵送で請求することもできますので、市町村に問い合わせてください。

#### B. パスポート用の写真…1枚

- 申請日前6ヶ月以内に撮影したもの
- 正面、無帽、無背景
- 縦 45mm × 横 35mm (縁なし)
- カラーでも白黒でも可

#### C. 本人確認書類 ※(1)か(2)のいずれか

- 1点で良い書類…運転免許証
  - 2点必要な書類…(ア)健康保険被保険者証 (イ)写真が貼ってある学生証
- ※本人確認書類は、必ず有効な原本を提示してください。(コピー不可)

#### D. 一般旅券発給申請書…1通

申請書には、10年用と5年用があります。申請する日に20歳以上の人は、10年か5年のパスポートを選択できますが、20歳未満の方は、5年用のみになります。  
※申請者が未成年者の場合は、申請書裏面の法定代理人署名欄に、親権者又は後見人の署名が必要です。

パスポートは  
早めに申請しようね!



#### パスポートの受領について

パスポートは、通常申請後から受領まで標準で7日程度を要しますので、指定された受領日以降に次の点に注意し受け取ってください。

- ・パスポートの受領は申請者本人のみ可(代理人による受け取りは不可)
  - ・パスポートの受け取りは申請窓口へ
  - ・受け取りの際に必要なもの
- 申請時に渡される旅券申請受理票(一般旅券受領証)
  - 手数料 5年旅券: 11,000円 / 10年旅券: 16,000円

#### パスポートを受取ったら

- ・速やかに所持人記入欄(最後の頁)を記入してください。



### 3.健康診断について

全ての語学研修プログラムの参加者に対し、年度初めの「定期健康診断（胸部レントゲン検査を含む）」と「追加項目（心電図、血圧、血液検査等）の健康診断」の受診を義務付けています。それらの結果をもとに、学校医が留学の可否について総合的に判断（メディカル・チェック）します。メディカル・チェックの結果によっては、受講許可を取り消す場合もあります。大学プログラムによる海外研修・派遣留学を予定している方は、年度初めの定期健康診断において、希望者のみ実施する胸部レントゲン検査（定期健康診断では大学が費用負担・無料）を必ず受診してください。

#### 重要 定期健康診断における「胸部レントゲン検査」について

##### ●必ず胸部レントゲン検査を受けなければいけない学生

- ・ 新入生（編入生、留学生を含む）
- ・ 過去3年以内に、海外に行った（又は海外から来た）学生
- ・ 当該年度中に医療・教育・介護（福祉）系の実習等を予定している学生
- ・ 昨年度の胸部レントゲン精密検査を受けた学生（主治医による別途指示がある場合は除く）
- ・ 過去1年以内に、医療機関・介護施設・福祉施設での実習・ボランティアをしたことがある学生
- ・ 問診により検査が必要と判断された学生
- ・ 当該年度中に大学プログラムによる海外研修、派遣留学を予定している学生

#### ① 定期健康診断（基本健診項目）

年度初めに学内で実施する定期健康診断を受診しなかった者が対象。対象者には自己負担で、大学指定の検診機関での受診を義務付けます。留学予定者は、基本健診項目と併せて下記②の「海外研修参加のための健康診断（追加項目）」を受診します。

基本健診項目の受診費用：約5,000円（自己負担）

#### ② 海外研修参加のための健康診断（追加項目）

・ 大学より交付された健康診断書（海外研修のための追加項目用）様式を持参し、募集ガイダンスや事前ガイダンスで指示された期間内に受診してください。

受診費用：4,000円～7,000円程度（自己負担）

・ 定期健康診断で、胸部レントゲン検査を受検していない場合には、追加で受検していただきます。

胸部レントゲンの受診費用：約1,000円（自己負担）

・ 既往症がある場合には、必ず診断時に医師に申し出てください。

（申し出がない場合、海外旅行傷害保険が適用されない場合があります。）

・ 健康診断結果は保健室宛に直送されるため持ち帰る必要はありません、写しをガイダンスにおいて返却します。



### 4.ビザ(査証)について

プログラムによっては、留学先の政府機関に留学ビザ（査証）を申請し、入国（滞在）許可を取得することが必要となる場合があります。ビザの要・不要や申請手続きは留学先の国によって異なりますので、必要に応じて、各国の在日大使館又は領事館等に問い合わせ、最新情報を得た上で手続きを行ってください。

### 5.海外旅行傷害保険について

#### ① 個人契約によるもの（掛金自己負担）

本学主催の留学プログラムに参加する場合は、必ず本学指定の海外旅行傷害保険に加入することを必須条件として義務付けています。この保険は、留学中の不測の事態において、治療・救済費用、賠償責任、携行品損害、傷害死亡、疾病死亡、傷害後遺障害、偶然事故対応費用が補償される保険です。ただし、留学前からの既往症については、原則として保険の対象とはなりません。既往症がある場合は、自己の責任において研修に参加し、研修中の発症については、自身で一切の責任を負うことを承諾の上で、参加して下さい。なお、留学中（私的な活動時間を除く）も学生教育研究災害傷害保険の適用は受けられません。

#### ② 大学契約によるもの（掛金大学負担）

本学では、学生の研修期間中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援と危機管理を目的として学校法人松山大学が契約者となり、保険料を負担して加入し、緊急の際は対応を行います。

### 6.外貨の準備について

現地で利用する外貨への換金方法については、留学先を考慮し現金と併せて、下記の②～⑤を参考にしてください。

#### ① 現金

- ・ 銀行（ゆうちょ銀行含む）、空港や市中の両替所等で両替可能です。
- ・ 場所によって両替レートや手数料が異なります。
- ・ 金融機関や支店によっては取り寄せる必要があるため、すぐに外貨が手に入らない場合があります。
- ・ 一定の金額でのパック販売を行う場合があります。

#### ② クレジットカード ※アメリカへ留学予定者は必携。

・ クレジットカードの申し込み方法・使用方法等は下記サイトを参照してください。

【一般社団法人日本クレジット協会（クレジットの基礎知識）】

URL：<http://www.j-credit.or.jp/customer/basis/index.html>

- ・ 申し込みから発行まで1ヶ月近くかかることがあります。
- ・ 海外で通用度の高いクレジットカード会社を選んでください。
- ・ ICチップ内蔵カードの場合、支払いにはサインの代わりに申し込み時に設定した暗証番号が必要（番号を忘れた場合、基本的に電話によるクレジットカード会社への問い合わせは不可です）。
- ・ クレジットカードの「番号」、「有効期限」、「名義人名」、「暗証番号」等を安易に第三者へ教えないでください。
- ・ 希望者は保護者に相談の上、申し込みを行ってください。

#### ③ トラベラーズ・チェック（T/C）

- ・ 銀行（ゆうちょ銀行含む）、空港や市中の両替所等で購入可能です。
- ・ 換金レートが現金よりも若干良いです。
- ・ 対象となる通貨は限られています。
- ・ 利用時に本人確認のため身分証明書（パスポート）を提示する必要があります。
- ・ 盗難・紛失の際は再発行可能です。

#### ④ キャッシュパスポート URL: <http://www.jpccashpassport.jp/>

- ・ あらかじめ日本円でチャージしておけば、現地のATMから現地の通貨で引き出すことが可能です。
- ・ 対象となる通貨は限られています。
- ・ 現地で使用できるATMは決められています（上記サイト内で検索可能）。

#### ⑤ その他（注意事項）

- ・ 予定外の出費等を含めて余裕を持って予算を組んでください。
- ・ 多額の現金を持ち歩かないでください。



出願前

当該年度の学生便覧等を参照し、単位の修得状況と履修状況、留学によって修得が可能な科目を念頭に置き、4年間で卒業所要単位を満たすことができるかについて検討してください。専門科目、ゼミや卒論等、学部のカリキュラムによっては、留学予定年次に影響が出る可能性もあるため、必ず事前に教務課において相談をしてください。

留学前

履修登録

- 前期出発** 留学当該年度の前期・後期共に履修登録をすることはできません。ただし、前期のみ留学する場合は、後期の履修登録をすることが可能です。
- 後期出発** 4月に在学年次の履修ガイダンスを受けてから、前期科目と集中講義の履修登録ができます。通年科目と後期科目の履修登録はできません。

留学中

単位認定に必要な書類(シラバス、時間割、教科書、その他配付資料等)を保管し、帰国時に確実に持ち帰ってください。

帰国後

単位認定申請

単位認定を希望する場合は、所定の期日までに下記書類を国際センター課へ提出し、所属する学部教授会により単位が認定されることがあります。

※プログラムによっては、派遣先の大学に成績証明書(本学所定)を申請する必要がありますので注意してください。その際は、事前に申請し、記載事項を確認した上で受け取り、帰国時に持ち帰ってください。

必要書類例

- ① 単位認定申請書(所定様式)
- ② 留学先大学の公式英文成績証明書
- ③ 留学先の科目のシラバス
- ④ 時間割
- ⑤ 留学先の学事暦
- ⑥ 各科目の授業内容説明書(任意様式)

単位認定は、留学先での修得科目の講義内容及び授業時間数を勘案して判断します。なお、認定対象として申請できる科目は所属学部で開講されている科目に限ります。



到着/帰国の報告・定期連絡

現地に到着したら、速やかに日本の家族と国際センター課に到着の報告と滞在先を連絡すると共に定期連絡をするように心掛けてください。又、メールのチェックも怠らないようにしてください。

なお、住所を変更した場合や寮・ホームステイ等の宿舎を一時的に出なければならぬ場合、留学中の旅行等の場合も必ず滞在先の連絡をしてください。

全員、定期的にメールにて近況報告を行っていただいています。(詳細はガイダンスで説明)これにより、現地での状況を把握しておりますので、必ず連絡を滞らせないようにしてください。

大学でも海外旅行傷害保険に加入していますので、原則としては、その加入期間内に帰国をしてください。又、帰国日については、事前に国際センター課まで連絡してください。

松山大学国際センター課  
TEL: +81-89-926-7148 / FAX: +81-89-926-7151  
E-mail: mu-international@matsuyama-u.jp



在留届の提出など注意事項



① 在留届

留学先に着いたら、直ちにインターネットを通じて領事館に「在留届」を提出してください。領事館は邦人の保護を第一の任務としています。何かあればすぐに領事館に連絡するようにしてください。法律により外国に3ヶ月以上滞在する場合は「在留届」の提出が義務付けられていますので、「長期英語研修講座」及び「派遣留学制度」は必ず手続きを行ってください。

インターネットから在留届を提出する場合は「在留届電子届出システム(ORRnet)」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

また、3ヶ月未満の渡航「短期語学研修講座」「学生海外語学研修助成制度」については、外務省海外旅行登録「たびレジ」にて登録を行ってください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

② 留学期間の変更/延長について

各年度の新規応募者が優先されるため、留学期間を延長することは原則として認められません。

留学するときにはちゃんと所定の手続きをしましょう!





# 海外での安全対策〈危機管理と健康管理〉

近年、海外では暴動や内乱、テロを始め、大規模な地震・台風、伝染病や交通事故といった様々な事件・事故が多発し、日本人留学生がそのトラブルに巻き込まれる事件・事故が増えています。

留学先での自分の安全確保は、自分自身による「危機管理能力（情報収集力・判断力）」で左右されます。

そのことを踏まえた上で、出発前に十分な調査と心構えをしておいてください。留学先でトラブルに直面した場合は自分の判断・責任で対応しなければならないため、個人としてできる予防策を講じておく必要があります。留学前に情報を収集したり、出発前のガイダンスや危機管理セミナーに参加したりして、「危機管理能力」を高めておいてください。又、身の回りに起こりうるトラブル（事件・事故）に対してだけでなく、「健康管理能力」も高めるよう心がけましょう。

有意義な留学生活を送るためには、日本にいる時とは異なる「知識」と「意識」が必要です。

## 情報収集の重要性

出発前に安全管理マニュアル等の書籍を読んで理解していれば、海外での80%の危険が防げるといわれています。例えば留学先の緊急時連絡先（救急車や警察等）を知っているか、知らないかでは安全度が大きく違ってきます。  
**事前に留学先の状況について情報を収集し、分析しておくことが重要です。**  
 海外での安全管理に関する書籍を購読し、説明会があれば必ず参加しましょう。  
 又、下記のホームページや新聞・政府観光局・領事館が提供している現地情報を確認してください。

### 外務省海外安全ホームページ（外務省）

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### 世界の医療事情（外務省）

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

### 国別生活情報（JICA）

<http://www.jica.go.jp/regions/seikatsu/>

**【安全面】** 留学先の治安、犯罪の傾向、政治情勢、衛生状況、自然災害の頻度等

**【文化面】** 習慣・国民性・歴史やその国の過去の報道内容等

**【生活面】** 大学と住居の距離、通学手段や要する時間、生活用品の購入環境、病院・薬局、IT環境等

## 世界各国（研修地・派遣留学先）の緊急電話番号一覧

連絡先 国名	警察	救急車	消防署	交通事故	備考
イギリス	999 又は 112	-	-	-	2006年より緊急を要しない場合の警察への通報先として、イングランドとウェールズの一部地域で101が供用開始されました。ガス漏れ：0800-111-999、NHSダイレクト（医療相談）：08-45-46-47
カナダ	911（国内共通）	-	-	-	緊急を要しない場合（一部地域）：311 地方の一部では911サービスが不十分な地域も存在します。
アメリカ	911（国内共通）	-	-	-	緊急を要しない場合（一部地域）：311、携帯電話から：112 地方の一部では911サービスが不十分な地域が存在します。
オーストラリア	000（国内共通）	-	-	-	携帯電話から：112、000 又は 08、テキストフォン・TTY（テレタイプライター）から：106（National Relay Service）
ドイツ	110 又は 112	112	-	-	-
中国	110	120 ※1	119	122	-
台湾	110	119	-	-	緊急事件・事故の場合 02-2556-6007（台北市）
韓国	112 ※2	119 ※3	-	-	事件・事故に遭った場合には、大使館領事部や総領事館にも連絡してください。（助言や可能な範囲での支援を受けることができます）

※1 北京は999も使用可 携帯から112  
 ※2 電話通訳サービスあり 7時～22時まで  
 ※3 救急医療センター1399日本語可

## 海外旅行傷害保険 （留学保険・医療保険） への加入

十分注意しているつもりでも事故にあたり病気に罹ったりする可能性があります。現地の病院で受診・治療すると非常に高額になり、思わぬ出費となります。

留学に際しては、必ず海外旅行傷害保険に加入してください。

クレジットカードに付帯してある海外旅行傷害保険は、保険範囲や担保内容が限られていたり、保険金額や補償額が小さかったりする場合がありますので、このような保険のみに頼らないようにしてください。

## 信頼できる 相談相手を見つける

安全管理は、情報を共有、交換できる友人や世話人を見つけることが第一の方法です。一人で悩まず、留学（語学研修）先大学の国際センターのスタッフやアドバイザーに何でも相談してください。又、人との付き合いの中で情報収集に努めると共に、異常や問題が起こった時にはすぐに相談してください。又、緊急の場合は松山大学国際センター課へ連絡をしてください。

日本人や日本語を話せる人が住んでいたり、地域によっては日本語の新聞が発行されていたりするところもあります。留学先では所在を常に明確にし、在外公館（大使館、領事館）の連絡先や助けを求めやすい日本人会や日本企業の現地支店等も確認しておく、緊急の際には、援助を依頼することができます。

## 「もしもの時」の 対応について

万が一、強盗等に遭った時は絶対に抵抗してはいけません。相手は興奮している場合もあり不用意な行動は大変危険です。

海外犯罪者から見た日本人の印象は、金持ち（現金を携帯している）、警戒心が欠けている、現地の言語が下手、性格がおとなしい、被害に遭っても反撃をしない等、狙われやすい対象であるといわれています。危険地帯には立ち入らない、夜道を一人では歩かない、現金はあまり多く持ち歩かない、又それを人前で見せたりしない等、危険を回避するよう常に心掛けましょう。

事件が起こってからでは遅すぎます。

## 事前の健康診断 について

本学では、全てのプログラムの参加者に留学前の健康診断を義務付けています。本学で4月に行われる「定期健康診断」は勿論のこと、追加項目（心電図、血圧、血液検査等）を受診することも義務付けています。それらの結果をもとに、学医に留学の可否について総合的に判断してもらうメディカル・チェックを行います。普段から健康には留意して、栄養バランスの取れた食事、適度なスポーツ等、規則正しい生活を心掛けてください。

留学前からの既往症がある場合は、研修参加申請時に提出する問診表にて必ず申告してください。

## 現地の医療事情 について

留学先によっては医療情報や病状の意思疎通が不明確な患者については、誤診の際の損害賠償が厳しい等の理由で、医師が適切な医療を行ってこない場合があります。既往症があり治療や経過観察をしている場合は、主治医に相談のうえ、その病状や治療法に関する「英文診断書」を依頼して持参しましょう。（留学先の言語、又は英語で書くことが望ましいですが、日本語のものでも役に立ちます。）

又、医療機関が見つからない場合に備えて、常備薬を多めに持参するようにしましょう。ただし、海外へ大量の医薬品を持ち出すときは、出入国時（検疫）等で問題が起こらないように必ず医師の「英文薬剤証明書」が必要です。世界各国で薬の取締りに関する厳格な法律があります。

海外で歯が痛むと、予約が直ぐに取れなかったり、高額な治療費を請求されたりすることもありますので、留学2ヶ月前までには歯科検診を受診し、必要な治療を終わらせるようにしましょう。

日本旅行医学会 <http://www.jstm.gr.jp/>



## 病気にかかって しまったら…

海外では気候の違い、生活リズムや食生活の乱れ、ストレス等から体調を崩しやすくなりがちです。又、抵抗力が下がり、病気にかかりやすくなります。病気になった時にはすぐに医者に診てもらおうとともに、重大な疾病の場合には帰国する勇気も必要です。又、風邪薬・鎮痛剤等は慣れているものを持参しましょう。

病気や怪我をした時のために、予め信頼できる医療機関を確認しておきましょう。留学先の大学に医療機関があったり、又大学指定の病院を持っていたりすることが多いのですが、日本語のわかる医療機関（海外旅行傷害保険に加入すると日本語で受診でき、キャッシュレスが可能な医療機関が記載された小冊子が配付されます。）を確認しておいてください。

## 感染症 (SARS・新型インフルエンザ等)について

海外で発生・流行している感染症に、自分自身及び周囲の人達への感染を予防するため、事前に留学先の感染症情報を収集しましょう。必要であれば予防接種を受け、健康な留学生活が送れるよう留意してください。

新型インフルエンザに対して、ヒトは免疫をもっていないため、世界中で大流行（パンデミック）するといわれており、人命や社会経済活動に多くの被害をもたらすことが懸念されています。

### 新型インフルエンザ (厚生労働省ホームページ)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

### 感染症関連情報 (外務省海外安全ホームページ)

[http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian\\_search/index.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html)

### 海外渡航者のための感染症情報 (厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ)

<http://www.forth.go.jp>

## 現地の法律について

日本の喫煙・飲酒可能年齢は共に 20 歳ですが、例えばアメリカでの喫煙可能年齢は 18 歳、飲酒可能年齢は 21 歳と異なります。又、1ヶ国の中でも州ごとに法律が異なることも多々見受けられます。

海外に留学の際は、生活に関わる現地の法律を必ず事前に調べ留意してください。

## 自動車・オートバイの 運転について

留学中は現地での自動車・オートバイの運転は認めていません。慣れない海外での車の運転は大変危険です。道路標識や法律が異なるため、本人がいくら注意しても避けられない交通事故やトラブルに巻き込まれる可能性が高くなり、交通違反・事故を起こして警察に身柄を拘束されたり逮捕されたりする場合があります。賠償責任、保釈金や弁護士等は膨大な費用となる上、法的な手続き等も留学生活に大きな負担を与えてしまいます。

## 麻薬・覚醒剤 について

若者を中心に麻薬・覚醒剤がかなり広まっています。タバコより害が少なく常習性が低いと考えられている国もあり、日本人旅行者の中にも気軽に手を出す人がいます。

しかし、あらゆる麻薬・覚醒剤は違法な薬物です。又、麻薬の売買には凶悪な犯罪組織が背後で糸を引いていることもあり、犯罪に巻き込まれる可能性が大きくなります。気軽な好奇心から手を染めないよう、海外生活の安全を第一に考え、十分に気をつけなければなりません。

## 通信手段の 確保について

皆さんが海外に留学中、日本にいるご両親をはじめとして大学関係者や友達等を安心させるためにも次の点に配慮してください。

まず現地に着いたら「無事到着しました」と家族及び大学に連絡し、その後も定期的に現況連絡を忘れないようにしてください。又、大きな災害や事件・事故等が発生した場合は、いち早く「無事です」という連絡を必ず入れてください。緊急時の安否連絡は重要なため電話・ファックス・電子メール等の通信手段を確認・確保することが大切になります。

## 留学中の旅行 について

留学中の国内旅行や移動の際は下記の点に注意してください。航空機利用の際は、航空会社の選定等にも十分考慮して、安全を最優先させてください。「対策・予防」こそが最良の危機管理・健康管理 → 留学前・後の留学先の「情報収集」を心がける。

### ① 最悪の事態に備え、あらゆるトラブルを解消するための手段や連絡先を常時携帯する。

1. パスポート (日本大使館もしくは総領事館)
2. 航空券 (購入先の航空会社・旅行会社)
3. 各種クレジットカード (カード発行会社)
4. 海外旅行傷害保険証書 (保険加入会社)
5. 救急や警察署の電話番号 (松山大学生協: CO-OP デスク)
6. 各大学の担当者と連絡先 (松山大学・研修校)

### ② 現地では、行動三原則を徹底する。

1. 『目立たない』・・・派手な行動や身なりを慎み、軽率な行動は取らない。
2. 『持ち歩かない』・・・多額の現金を持ち歩かない。高価な物品を身につけない。
3. 『用心を怠らない』・・・普段と違う環境の中、警戒心を忘れない。安易に他人を信用しない。

安全を脅かしそうな地域に立ち寄らない。

\* その国での法令遵守は勿論、常に自己責任の意識を持つことが安全対策に繋がる。

### ③ 普段から、規則正しい生活と健康管理に気をつける。

1. 食習慣、時差や気象の変化に伴い、体調をくずす場合も想定しておく。  
(留学数日前には、現地での生活に準じ、体を慣らす事も大切なことである。)
2. 言葉・文化や慣習等の環境の変化に伴い、ストレスを感じたり、問題が起こったりした場合は、一人で悩まず、自分の身の回りにいる友達や留学先大学の国際センター課スタッフ、アドバイザー、担当の先生に相談する等して、ストレスをためないことにも留意する。

基本的な心構えとして一番重んじるべきことは、『自分の安全は自分自身で守る！』



## 帰国及び帰国後の手続き

### 帰国の報告

帰国後、到着時に国際センター課に報告をしてください。

### 成績証明書

#### ① 派遣留学制度

派遣期間が終了したら、それぞれ派遣先の大学より成績表が送付されますので、派遣留学生本人が成績表を持ち帰る必要はありません。留学先で修得した科目の単位認定を希望する場合は、帰国後に所定届出用紙にて申請してください。

#### ② 長期英語研修講座及び

##### 学生海外語学研修助成制度参加者

研修期間が終了したら、大学から持参した所定の用紙に成績及び受講時間等を記入してもらい持ち帰り、国際センター課に提出してください。

#### ③ 短期語学研修講座参加者

研修期間が終了したら、それぞれ派遣先の機関より大学が送付した所定の用紙に成績表が記載され、国際センター課に送付されますので参加者が成績表を持ち帰る必要はありません。

### 語学試験の受験 (長期英語研修講座の場合のみ) 【帰国後】

長期英語研修講座の場合は、帰国した当該年度末までに語学試験を受験し、スコアを提出してください。

留学終了月以降に受験したスコアの提出に限ります。(英語：TOEFL もしくは TOEIC)

### 最新の研修機関案内 (学生海外語学研修助成 制度参加者の場合のみ)

授業の内容や講義時間、単位数等を記した資料があれば持ち帰るようにしてください。

### 研修報告書(帰国後)

研修参加者には「研修報告書」の提出を課しており、それらを参加希望者用参考資料として「留学ガイドブック」や「松山大学オフィシャルサイト」等に掲載しています。

### 各種募集ガイダンス (OB/OG 懇談会)等への参加 【帰国後】

現地で体験した「生の声」は、研修に参加する学生にとって一番の情報になりますので、次年度の事前研修ガイダンスにおいて、体験談等の発表をお願いすることがあります。

## 研修終了後の提出物について

研修参加者は以下の要領に基づいて、研修報告書を提出してください。

### 提出内容

#### 1 印刷物提出

(②の写真台紙及び④は配付されます。)

① 研修報告書 … A4・3枚 (雛形あり)

② 写真6枚 … 写真台紙・1枚

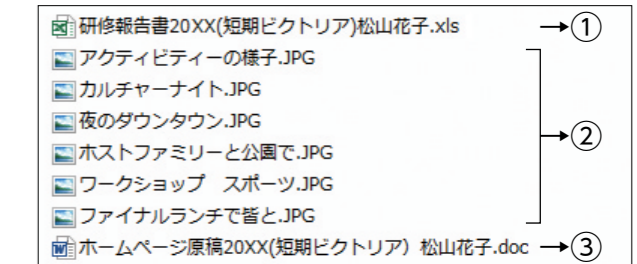
③ ホームページ原稿 … A4・1枚 (自由形式)

④ 提出物取扱同意書 … A4・1枚 (用紙あり)

#### 2 データ提出

(①～③をUSB等に保存して提出)

※データ移行後その場で返却



### 提出方法

#### ① 研修報告書 (Excel ファイル)

- オフィシャルサイトから該当する雛形 (エクセルファイル) をダウンロードした上で入力してください。  
オフィシャルサイト⇒国際交流(国際センター)⇒各種提出物(所定様式)
- 記入する内容は、次のページの「作成のポイント」を参考にしてください。

##### (1) 印刷物提出

必ず印刷したもので誤字や脱字を確認してください。

##### (2) データ提出

ファイル名を変更して提出してください。(上図参照)  
⇒「研修報告書 年度(研修プログラム名)※氏名」  
例：「研修報告書 2015(短期ソウル) 松山花子」

#### ② 写真6枚 (JPEG ファイル等)

- 撮影した中から様々な場面の写真6枚を選び、提出してください。

##### (1) 現像済写真提出

台紙にファイリングし、それぞれのタイトルとコメントを台紙の罫線部分に記入してください。

##### (2) データ提出

台紙に書いたタイトルをファイル名にして提出してください。(上図参照)  
(注) デジタルカメラではなく、フィルムカメラで撮影した場合は、(1)のみ提出してください。

#### ③ ホームページ原稿 (Word ファイル)

- Word 文書で 200～300 文字の文章を作成してください。  
[ツール]メニューの[文字カウント]機能で文字数を確認できます。
- 本文の前に「研修プログラム名・氏名」を記載してください。

##### (1) 印刷物提出

そのままホームページに掲載されますので、必ず印刷したもので誤字を確認してください。

##### (2) データ提出

ファイル名を変更して提出してください。(上図参照)  
⇒「ホームページ原稿 年度(研修プログラム名)氏名」  
例：「ホームページ原稿 2015(短期ソウル) 松山花子」

#### ④ 提出物取扱同意書 (印刷物提出のみ)

国際センター課は、これらの提出物を同意書に挙げた目的以外で使用することはありません。熟読し、署名の上、提出してください。

#### 研修プログラム名

短期カンタベリー	長期カンタベリー	派遣上海師範
短期ビクトリア	長期グリフィス	派遣上海財経
短期ブルゴーニュ	助成夏季	派遣青島
短期フライブルグSLI(日本人クラス)	助成春季	派遣高雄
短期フライブルグSLI(インターナショナルクラス)	派遣ハワイ	派遣建國
短期ソウル	派遣フライブルク	派遣平潭
短期上海	派遣復旦	文化研修



## 提出期限

各ガイダンスで指示する提出期限を厳守してください。

## 「研修報告書」作成のポイント

「研修報告書」は、次の項目別に記載し、全てのシートを完成させてください。  
(空欄がある場合や記載内容が少ない場合は再提出となることがあります。)

### ① この研修で必要とした費用について

- ・わかる範囲内で研修前・研修中の費用を日本円で記入。

### ② 研修機関及び授業内容について

- ・研修機関（大学）の概要や、校内、施設、周辺の様子等の感想を記入。
- ・具体的な研修内容が分かるよう、実際に行われたことを記載。

【例】

クラス分けテストの内容、どのようなクラスに分けられたか。

授業では何を目標にどんなところに重点がおかれて行われていたか。

時間割について。

特徴的なプログラムや、講師の教え方の特徴について等。

### ③ 生活全般について（衣・食・住等）

- ・ホームステイ、寮（間借り）、ホテルの場合は、その様子や現地での生活等。
- ・その国の食事や季節に応じた服装についても記入。

### ④ 休日・余暇の過ごし方

- ・放課後や週末等の休みの過ごし方、研修校企画の課外活動等。

### ⑤ この研修で得たもの・学んだもの

- ・この研修ならではの特色やポイント、研修を通して得た所感等。

### ⑥ 後輩へのアドバイス・参考になった文献紹介

- ・今後、参加を希望する後輩へのアドバイス等。
- ・事前に参考にした資料や研修先に持参した文献等の紹介。

### ⑦ 受講した授業及び語学研修コース

- ・受講した授業や語学研修コースについてできるだけ詳細（科目名、時間数、期別等）に記入してください。

### ⑧ その他

- ・①～⑦までに記入できなかった感想、意見、提案等。



次に留学する後輩たちのために  
有意義な経験を  
報告書にして伝えよう！

センパイの留学体験を覗いてみよう！

# 研修報告書

短期語学研修講座 P.42

学生海外語学研修助成制度(春季・夏季) P.56

派遣留学制度 P.84

あなたはどのような留学生活を送りたいですか？

知らない土地での生活は不安もあるでしょう。

しかし、それ以上にかげがえのない体験が生まれるはずです。

先輩たちの留学体験を参考に、

自分自身の留学生活を考えてみましょう。

※掲載されている学年は、研修出発時のものです。



# イギリス

## カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University



人文学部  
英語英米文学科  
3年次生  
**松尾 直美**  
(香川県立善通寺第一高等学校出身)  
Naomi Matsuo



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：カンタベリー
  - 研修期間：2014年9/1～9/19【19日間】
  - 宿泊形態：ホームステイ
  - 費用概算  
<必要な経費>
- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| ・研修費(滞在費含む) ……    | 416,165 円        |
| ・渡航準備・査証取得費 ……    | 28,000 円         |
| ・食費 ……            | 14,500 円         |
| ・交通費 ……           | 15,000 円         |
| ・その他 ……           | 105,000 円        |
| <b>&lt;合計&gt;</b> | <b>578,665 円</b> |



思い出スナップ



▲衛兵交代式



▲カンタベリー大聖堂

#### 研修機関や授業

日替わりで様々な力がつく授業を行いました。

**初**日は、午前中にクラス分けテストやガイダンス、各施設の案内が行われました。昼食後は、クラス分けが発表され、1コマだけ授業を受けました。翌日からは、午前中の1コマ目で主に文法や Phrasal verbs (「動詞 + 副詞、前置詞」 get up, take after など) の使い分け、2コマ目で日替わりで文学の読解やプレゼンテーションなど5種類の授業を受けました。午後は、午前中の2コマ目と同様に日替わりで様々な力がつく授業を行いました。授業は基本的にゲームやインタビュー形式のことが多く、楽しみながら受けられました。アドバイスとしては、パソコンを使う授業があるのでUSBメモリを持っていくと役に立ちます。もう一つは各文法事項は英語で何と言うのか、例えば「副詞」は "adverb" などをまとめたメモがあると授業が楽になると思います。クラスは、日本の夏休み期間ということもあり9割程度が日本人でした。しかし、日本人同士でもなるべく英語で喋るようにしたり、他の国からの留学生を交えてお菓子を食べたり日本文化を紹介したりとなるべく英語を使うようしていました。



先生と▶

#### 衣・食・住

夕食では必ずじゃが芋がどこかに含まれていました。

**9**月のイギリスは冷え込むうえに晴れた日があまりなかったので、上着が手放せませんでした。洗濯に関しては、2日に一度ほどの頻度で行ってくれました。ステイ先によって洗濯の頻度は違うと思いますが、あまりたくさん着替えを持っていかなくてもいいかと思えます。と言うのも、学校から徒歩15分程度のところに city centre という様々なお店が集まった通りがあります。そこには手頃な価格の服屋さんもあるので、もし足りないと感じるようであれば買い足すようにして、行きのスーツケースを空けておけば移動や帰りの荷造りが楽になるかと思えます。食事は、朝は自分でシリアルを好きなだけ取って食べ、昼は学内の食堂、夜はステイ先の家族と一緒に食べるが多かったです。イギリスの食事で意外だったのは、じゃが芋が非常に多かったことです。向こうでのじゃが芋は日本で言うところのお米のような位置づけらしく、夕食では必ずじゃが芋がどこかに含まれていました。ステイ先では、その家独自のルールがあります。例えば私のステイ先では、シャワーは15分以内で浴びること、必ずベッドメイキングはすること、自室では飲食はしないことなどが挙げられます。

#### 休日・余暇の過ごし方

ロンドン観光地やショッピングできる場所が多い。

**イ**ギリスは歴史的な建物が多く、研修先のカンタベリーにもカンタベリー大聖堂という神秘的で美しい建物があります。CCCU (研修先の大学) の学生証を提示すると入場料が無料になるので、研修期間中に一度足を運んでみるいいと思います。また、カンタベリーはドーバーまでバスで約40分、ロンドンの中心部まで電車で2時間程度と気軽にいろいろなところへ出かけられる場所です。ホワイトクリフで有名なドーバーは、是非天気の良い日に訪れてみてください。運が良ければ、綺麗な景色と共にフランスが見られます。ロンドンは観光地やショッピングできる場所が多く、日帰りでは行きたいところを回りきれませんでした。一泊二日のロンドン旅行にしておけば、いろいろなところに行けたと思います。どこに行くにしても、交通手段の時間や費用、移動先での食事はどうするか、行く先の施設に予約は必要か、といった下調べはしておくべきです。慣れない土地での電車の乗り換えやレストラン探しは予想以上に大変だったので、楽しい旅行にするためにも是非やっておいてほしいです。



▲サンデーロースト

#### 得たもの・学んだもの

座学だけでは学べないことを知れました。

**今**回の研修を通して、文化や多様な考え方など座学だけでは学べないことを知れました。ホームステイ先では、食事のマナーやお風呂など日本との生活の違いがたくさんあり、戸惑うこともありましたが毎日新鮮でした。また、学校では同じクラスのコロンビアやサウジアラビアなどイギリス以外の国の人の文化や言葉を知ること出ました。英語を喋ることが出来れば、母語が違う世界中の人々ともコミュニケーションが取れるということをも身を持って体験し、より一層英語の勉強に励みたいと感じました。語学力に関して、渡航前に3週間足らずではほとんど成果が現れないだろうと考えていました。しかし、いつも英語に触れ、考えを自分の言葉で伝える訓練を繰り返した結果、リスニングとスピーキングの力は向上したのではないかと思います。さらに力を伸ばせるように、自宅や大学での学習にも力を入れていこうと思います。



▲アフタヌーンティー

#### 後輩へのアドバイス!

大切なのは積極的にコミュニケーションを取ること。

**渡**航前にしておけばよかったと思えることは、単語の勉強です。特に簡単な動詞の基本の意味、例えば "work" は「働く」ではなく、「人や物がすべきことをする」などを確認しておくのとぐっと会話が楽になると思います。また、相槌や気持ちを伝える表現をいくつか覚えておくと、会話が広がるのではないかと感じました。あとは、積極的にコミュニケーションを取るように心がけることが大切だと思います。どこの国にいてもそうだと思いますが、特に感謝と謝罪は言葉にすべきです。発音や単語が分からないから、と聞いて伝えないのはもったいないのでボディランゲージを交えながら伝える努力をすることが大切です。あとは最初のころに特に言えることですが、何を言っているか分からないときや聞き取れなかったときは、聞き直すか分からなかったことを伝えるべきです。そうせず曖昧に流してしまったならば、向こうはずっと同じスピードや語彙で喋り続けるので迷惑かなと考えたり恥ずかしがったりせずに伝えるべきだと思います。

#### もう一言!

ネットも各家庭のルールがある。

**イ**ンターネットに関してですが、渡航前にステイ先にはネット環境があると書いていたのでWi-Fiルータは持っていきませんでした。しかし、実際に行ってみるとネットを使うならば10ポンド程度お金を払ってほしいとのことでした。ネットも各家庭のルールがあるので、確認できるようにしておけばいいと思います。バスの中や観光施設によっては無料Wi-Fi環境が整っているところもありますが、有料のところのほうが多かったです。街中で地図アプリを使いたいと考えている人は、レンタルルーターを持っていくか、SIMフリースマートフォンでトップアップをするなど安価で済ませられる方法がいくつかあるので調べてみるいいかもしれません。また、イギリスでの生活は小銭が必須です。ロンドンで駅のお手洗いをしようとしたら、30ペンス払わなければ使用できないので、大きなお金しか持っていなかったときは困りました。



▲ハリポッター展

概要

申込み

受講許可後  
(事前準備)

留学中及び  
研修後の手続き

研修報告書  
短期語学研修講座

研修報告書  
学生海外語学研修  
助成制度(春季・夏季)

研修報告書  
派遣留学制度

巻末付録



# カナダ

## ビクトリア大学 イングリッシュランゲージセンター

University of Victoria English Language Centre



人文学部  
英語英米文学科  
1年次生  
**重松 沙也加**  
(愛媛県立北条高等学校出身)  
Sayaka Shigematsu



### 研修機関や授業

授業内容はほとんどゲームで英語を学ぶものでした。

機関は English Language Centre Japan (ELJP) です。授業は月曜日から金曜日で時間は 8:30 - 10:20、10:40 - 12:30 の 2 つに分けられ先生も別です。評定はグループ活動 25%、授業・宿題 40%、小テスト 20%、最終スピーキングテスト 10%、コミュニケーション 5% です。授業内容はほとんどゲームで英語を学ぶものでした。例えば一人一枚初めて聞く単語のカードを持ち、友達に説明して交換し、またそのカードをほかの人に説明して、交換していくというゲームです。1週間後にはその単語テストがあります。他には先生の姪が来て、カナダの 10 代の流行や流行語などを教えてもらったり、パソコンを使って英語で会話をしたり、R と L の発音練習をしたり、自分たちで調査して最後の授業でプレゼンテーションをしたりしました。屋からはクラスごとのワークショップの日もあれば、みんなでビクトリアの有名なスポットを訪れました。ワークショップは毎回 CA が変わって、お菓子を囲んで英語で会話をしたり、frisbee をしたり、ドリームキャッチャーを作ったりなどしました。



ラストパーティー

### 衣・食・住

サングラスは必需品です。

カナダに行く前から先輩に寒いと言われていたので薄手の長袖を持って行きましたが、あまりに寒くてパーカーを 2 枚買いました。朝と夜は格別寒いです。特に 8 月後半の夜は日本の 11 月くらいの寒さでした。屋は日差しが強いものの風は冷たいです。サングラスは必需品です。食事は、私の場合全く問題なかったです。家では自分で食べる分だけお皿にとって食べるというものでした。ハンバーガーやピザなど、多少はファストフードが多かったですが、サラダも毎日出てくれていたので栄養が偏るといったようなことはなかったです。外で友達と食べることもありましたが、値段は日本のレストランと同じくらいでした。日本食レストランは多かったです、あまりお勧めしません。日本食は高いし、想像とは違う味が多かったからです。ホームステイ先の家はとても快適でした。リビングが 1 階で、私たちの部屋は地下でした。部屋も十分なほど広く、勉強できるスペースもきちんと確保されていました。洗濯も自分達が見たいタイミングでできました。「自分の家のように使いなさい」といつも言ってくれていて、自分のことは自分で、という感じでした。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ビクトリア
  - 研修期間：2014 年 8/4 ~ 8/30 [27 日間]
  - 宿泊形態：ホームステイ
  - 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) .....644,816 円
  - ・食費.....10,000 円
  - ・交通費 .....8,500 円
  - ・その他 .....26,000 円
- <合計> **689,316 円**



思い出スナップ



バンクーバー旅行▼



▲大好きなホストファミリーと

### 休日・余暇の過ごし方

ホストファミリーが色々な所に連れて行ってくれました。

休日は基本、友達とお土産を買いに行ったり観光をしたりしていました。中でも特にダウントウンは、多くの土産店があったので、放課後や休日によく行っていました。また、ダウントウンの休日は少し特別で、休日になると、たくさんの出店が並んだり、絵描きが絵を描いたり、マジックショーが行われていたり、人で賑わっています。休日にダウントウンに行くと、いつもと違うダウントウンを見ることができるとお勧めです。家で暇なときは宿題をしたり、子ども達とマリオカートをしたり、パドミントンをしたりして遊んでいました。友達と遊ぶ予定がない日は、ホストファミリーが色々な所に連れて行ってくれました。ホストファミリーの子どもがダンスをしていて、ダンスの大会があったので一緒に応援をしに行きました。行く途中にカナダの有名なコーヒーショップに寄ってくれて、カナダで最も人気のコーヒーをたのんでくれました。会場に着くと多くの観客がいて、みんなフレンドリーで英語を話す場としても良い場でした。休日でもずっと英語を話せたり、ホストファミリー以外のカナダの人と触れ合え、カナダの人の暮らしを知ることができ、貴重な体験ができました。



▲カルチャーアシスタント姉妹

### 得たもの・学んだもの

伝わるまでめげずに話しました。

カナダは海外からの移住を認めているので、私が滞在したビクトリアでも南米・中東・アジアなど色々な人種の人が出てとてもグローバルなのに驚きました。そして、人々は自分の言いたいことを相手の目を見てはっきりと言ひ、話すとき絶対に目をそらしません。自分の意見をはっきりと言ひます。私は行って 1 週間目で言葉の壁に当たりました。言ひたいことがあるのにうまく言えず、相手に何を言っているのか理解できないと言ひ、悔しくてたまりませんでした。自分の英語力に自信がなくなりました。でも、留学前の事前授業でグレイ先生に「もし分からなくても自信をもって」と言ひられたことを思い出し、伝わるまでめげずに話しました。すると、相手も分かってくれようと、親身になって聞いてくれました。分からないからと言ってオドオド話したり、恥ずかしくて小さい声になったりしていると何も伝わりません。当たり前のことだけれどとても大切なことだと感じました。



▲カルチャーナイト

### 後輩へのアドバイス!

家ではホストファミリーとたくさん会話してください。

一番大切なことは行く前から単語・文法の復習をしっかりとやっておくということです。単語と文法は留学前にやり始めるのでは遅すぎます。何ヶ月も前からやっておく必要があります。カナダでは複数名詞、現在完了など他にも日本で習ったことがある基本的な文法を英語で勉強しました。日本で日本語で復習をしておくから行ってから、かなり楽です。小テストもありますが復習しておくと解ける問題です。また、授業は日本人だけのクラスになるので日本語ばかり話しては意味がありません。私たちと同世代の CA (Culture Adviser) がクラスに 1 人ついてくれるので、休み時間やアクティビティー、ワークショップなど話す機会はたくさんあるので、どんどん話しかけてみてください。家ではホストファミリーとたくさん会話してください。ずっと英語を聞いていると最初はしんどいかもしれませんがそれが Good! です。それを超えると耳馴れしてきます。不安も多かもしれませんが、それを上回る楽しさがカナダにはあります。楽しんでください。

### もう一言!

ヴィクトリアはおとぎ話にでてくるような場所。

私たちが滞在したヴィクトリアは街がとてもきれいで、いつも美しい花が咲き、馬車が道を走り、まるでおとぎ話にでてくるような場所でした。国土が広いせい家も平屋で庭を広く構え、道路も広く、ゆったりとしていました。私たちは休日バンクーバー旅行に行きました。旅行最終日ガイドブックに載っている有名なレストランに行こうと街を歩いていました。すると、ガイドの人に危ないからこの路地は入らないようにと言ひれた所を道に迷っていつの間にか歩いていました。辺りは暗く、こっちはジロジロと見ている視線を感じました。明らかに怪しいおじさんとすれ違ったとき、そのおじさんがクルッと向きを変え私のすぐ後ろをついてきました。あのときほど危険を感じたことはありません。みんなに「走ってー!」と叫び必死になって走りました。旅行を終え、ヴィクトリアに帰ったときの安堵感は今でも覚えています。危険はどこにでもあるとおいて下さい。



ルームメイトと▶ (Legislative Assembly)



# フランス

## ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター

University of Burgundy Centre International d'Etudes Françaises



人文学部  
英語英米文学科  
3年次生  
**松本 陵平**  
(私立新田高等学校出身)



Ryohei Matsumoto

### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ディジョン
  - 研修期間：2014年8/24～9/13【21日間】
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算  
<必要な経費>
- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| ・研修費(滞在費含む) | ……434,030円      |
| ・食費         | ……20,000円       |
| ・交通費        | ……5,000円        |
| ・その他        | ……55,000円       |
| <合計>        | <b>514,030円</b> |



思い出スナップ

凱旋門の上から  
シャンゼリゼ通り▶



▲ディジョンの風景



▲クラスのみんなか

#### 研修機関や授業

テスト結果でクラス分け  
されます。

**研**修初日は、クラス分けテストのようなものを2時間ほど受けました。内容はリスニングを始めライティング、リーディング、作文など全体的なフランス語能力が問われ、難易度的にはかなり難しかったです。そのテスト結果でクラスが6つほどに分けられました。自分は最初、一番上のクラスに入れられ全くといていけませんでしたが、先生が初回の授業の様子を見てくれていて、上から3番目のクラスに変えてくれました。授業内容はそれぞれのクラスで多少違い、自分のクラスはリスニング、リーディング、スピーキング、作文、文法全てに関してやり、先生が丁寧に教えてくれました。作文も一日の出来事を文章で表現したり、宿題で友達宛に研修でできた新しい友達について手紙を書くものがたりしました。また、電子辞書を持参していたのですが、授業中に使おうとしたところ、先生に使わないでと止められました。最初はわからない単語だらけで全く授業についていけず大変でしたが、予習復習をして授業中にメモを取るなどといった習慣が身に付いていったので、辞書に頼り切らないことも大切だということを先生から学びました。



▲先生のシリルと一緒に

#### 衣・食・住

レストランは多少高いですが、とても美味しい!

**夏**に行ったのですが、フランスの気候は日本とは全く違い、空気は乾燥していて涼しいので、日本のじめじめな気候が嫌いな僕にとってはとても過ごしやすい気候でした。ただ、朝と夜は日本の11月くらいの寒さで寝るときは毛布がないと寝れない状態でした。予備として長袖のパーカーとウインドブレーカーを持って行ったのですが、とても重宝しました。ただ日中になると日差しがとても強くなり、温度も上がるので、半袖のシャツも持って行った方がいいです。食事に関しては、朝はパン屋さんで買ったパンを食べたり、スーパーで売っているシリアルを食べたりしました。昼は友達と一緒に学食を食べたのですが、色々な種類があって学生割引も利くので満足できました。夜は研修メンバーと一緒に寮で料理を作ったりレストランに食べに行ったりしました。レストランは多少高いですが、とても美味しく日本では食べられない物もあるので一度行ってみたい方がいいです。寮生活は利用者も多いため規則が厳しいです。電波の関係でwi-fiが使えなかったのもとても不便でした。しかし寮生活を通して新しい友達をたくさん作ることができたので、寮生活で良かったなと感じました。

#### 休日・余暇の過ごし方

日曜日になるとほとんどのお店は閉まります。

**フ**ランスでは金曜日は休日になるので授業も午前中に終わります。なので授業終わりにみんなでケバブを食べに行ったり、大型のショッピングモールに買い物に行ったりしました。ショッピングモールの中にはパン屋さんを始め、服屋さん、薬局、ゲームショップ、本屋さん、靴屋さん、家具屋さん、トイザラスなど色々なお店がたくさんあって、何回も行ったのですが全く飽きないです。ディジョンの中心街にもよく遊びに行ったのですが、歴史を感じる建物やお店が立ち並び、現地の人も親切で気さくな人が多いのでとてもオススメです。ただ日曜日になるとほとんどのお店は閉まってしまうので、買わなければいけない物がある人は土曜日までに買っておいた方がいいです。1週間目の週末には研修メンバーのみんなと一緒にパリに日帰り旅行しました。引率の先生のガイドの下、凱旋門を始め、シャンゼリゼ通り、エッフェル塔、チュイルリー公園、ノートルダム大聖堂を訪れましたが、どれもテレビや写真でしか見たことがなかったので、とても刺激的で楽しい旅行となりました。ただスリなどが多発しており治安も悪いので、行く人は注意が必要です。

#### 得たもの・学んだもの

平等に接してくれるフランスの人たち。

**約**3週間という短い期間でしたが、国際センターのスタッフさんたちを始め、引率の先生、一緒に研修をしたメンバー、日仏文化協会のスタッフさん、新しい友達、様々な人たちと関わりました。特に新しい友達は、他大学さんに加え、韓国、トルコ、メキシコなど様々な国籍の人たちと交流し、かけがえないたくさんの思い出を作ることができました。このような充実した研修をすることができたのも、周りの人たちの支えがあったからなんだと強く感じました。またフランスの文化において、フランス人は日本人とは違い、差別をしないことにとっても感心を抱きました。日本では女性差別が多く目立ちますが、フランスでは、至る所に女性の働く場所があり、男女平等に生活を送っているという印象を強く持ちました。また、僕たち日本人と関わる時もフランスの人たちは特別扱いをせず、みんな平等に接してくれて、見習わなければいけないなと感じました。非常にたくさんのことを経験出来て、本当に良かったです。



▲高級レストランでエスカルゴ

#### 後輩へのアドバイス!

持っていくならポケットサイズの本を。

**日**本と気候が違うので、風邪をひきやすいです。自分も現地で風邪気味になったので、風邪薬やのど飴などは持参することをオススメします。文法書やフレーズブックを持っていくならポケットサイズのもの方がいいです。いざ困った時にサッと取り出せるので便利だと思います。自分は大きめのものを持って行ったのですが、帰りに際に結構荷物になりました。あと、カードについてですが、キャッシュパスポートが結構便利です。現金の引き出しもスムーズにできるしカードとしても使えるので、とても重宝しました。クレジットカードも持って行ったのですが、キャッシュパスポートのおかげでほとんど使いませんでした。現地には両替機がなく、紙幣を崩すのは買い物時のみなので、普段から小銭は貯めておいた方がいいです。自動販売機や洗濯機は紙幣が使えません。また、wi-fiルーターは借りておいた方がいいです。データローミングを使ってしまうと通信料が高くなるので非常に便利だと思います。

#### もう一言!

ディジョンはとても良い町です!

**フ**ランスの水は硬水なので、飲むとお腹を壊します。飲み水はスーパーにミネラルウォーターが売ってあるのでまとめて買っておいの方がいいです。料理の時に水を結構使うのですぐになくなります。また、驚きだったのですが、フランス語が通じない場合、いざとなったら現地の人は英語で対応してくれます。噂でフランス人に英語を使うと嫌な顔をされると聞いていたのですが、フランス語が話せなくてどうしようとなった時に現地の人が自ら「英語話せる?」と英語で聞いてくれました。あと注意してほしいのがお金のことで、お店ではできるだけ大きなお札を出さないようにした方がいいです。50ユーロ紙幣とかを出してしまうとお店によっては嫌な顔をされたり、受け取ってもらえないところもあります。日本の文化と違うところが多々ありますが、僕が今回行ったディジョンはとても良い町です!是非行ってみてください!



▲パリ旅行▲



# ドイツ

## フライブルク大学 SLI インターナショナルクラス

University of Freiburg



人文学部  
英語英米文学科  
2年次生  
**池田 和優**  
(愛媛県立松山南高等学校出身)  
Kazumasa Ikeda



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：フライブルク
  - 研修期間：2014年8/6～8/29【24日間】
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算
- |                |           |
|----------------|-----------|
| ＜必要な経費＞        |           |
| ・研修費(滞在費含む) …… | 322,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 …… | 11,000 円  |
| ・食費 ……         | 50,000 円  |
| ・交通費 ……        | 20,000 円  |
| ・その他 ……        | 103,500 円 |
| ＜合計＞           | 506,500 円 |



思い出スナップ



▲フライブルク市街地



▲Schloss Neuschwanstein

#### 研修機関や授業

楽しい雰囲気ユーモアのある授業。

今回私が受講した講座が行われたフライブルクは街の中心部に存在し、街の様々な場所から通いやすく、立地条件が良かったです。渡航する前にクラス分けテストがあり、その出来によって様々なクラスに配属されました。出来は悪かったですが、自分の実力にあった授業を受けることができたのではないのでしょうか。授業の内容としては、教科書を用いて文法力を身につかせながらも、声に出して発表したり、コミュニケーション活動がとても多かったりと4つの技能(reading, listening, speaking, writing)をまんべんなく扱っていました。基本的には授業中はドイツ語しか話してはならず、質問するときに英語で聞けるぐらいだったので、慣れるまでは負担になってました。ただこのような勉強だけでなく、ドイツ語を用いたゲームも数回行って、特に印象に残っているのが椅子取りゲームをしたことです。先生が名詞を言うと3つの定冠詞または不定冠詞に分けられた椅子に座りに行くという内容でした。私のクラスの先生はとてもユーモアがあって、常に楽しい雰囲気の中で授業が行われていたように感じました。



▲フライブルク中央駅

#### 衣・食・住

乾燥していたため、常に飲み物を持ち歩いていました。

ドイツの夏はとても過ごしやすいものでした。基本的に20℃ぐらいで日本のように30℃を超えることはめったになかったです。下調べが足りず、ドイツで長袖を何枚か買いました。また、急に雨が降ることがよくあるので、毎日傘を常備していました。日本よりも乾燥していたため、常に飲み物を持ち歩いていました。量が多いものを購入して、500mlの容器に移し替えて持ち運んでました。スーパーは基本的に入口にゲートがあり、何かものを買わなければ出れない仕組みになっています。そのため、買いたいものが無かったとき非常に困りました。そもそも日曜日は基本的に店が閉まっており、土曜日に買い占めに行っていました。レジ袋は有料で、駅の構内や街にある公衆トイレも50セントから1ユーロほどかかります。でするので、学校や寮でなるべく済ますようにしていました。食べ物は味が濃いものが多かったのですが、私が好んで食べていたのが、Brat wurstと呼ばれるウインナーソーセージとPommes fritesと呼ばれるフライドポテトです。自分は自炊が苦手であるため、三食すべて外食していたので自炊できたらもっと過ごしやすいのではないのでしょうか。

#### 休日・余暇の過ごし方

大学が企画していた週末旅行にも参加。

せつかくの休日・余暇であるため必ず外に出かけるようにしていました。特に訪れたのがサッカーグッズを取り扱っているお店と、サッカースタジアムです。サッカーグッズを扱っているお店には8回ほど訪れ、店員さんと仲良くなり、いろいろよくしてもらいました。スタジアムは2か所訪れ、一つはMage Solar Stadionと呼ばれるSCフライブルクの本拠地で、もう一つはSankt Jakob Parkと呼ばれるFCバーゼルの本拠地でした。両方ともで試合観戦をし、Sankt Jakob Parkにはファン感謝デーにも参加しに行きました。そのおかげで、日本を代表するFWである柿谷曜一郎選手にサインをもらうことができました。また大学が企画していた週末旅行にも参加し、ノイシュヴァンシュタイン城に行ってきました。ノイシュヴァンシュタイン城はとても豪華絢爛でしたが、私は近から眺めるよりも遠から眺める方が好きでした。大学の企画に参加すると、友人もたくさん作ることができました。たくさんの企画を用意して下さった大学には感謝です。



▲Brat wurst

#### 得たもの・学んだもの

これからやりたいことが少しずつ見えてきました。

この研修で得たもの・学んだものは二つあります。一つ目は目線を上げることです。これまで私は自分の足元ばかり見つめて、外の世界を見ようともしませんでした。そのためか、外国に興味があっても、なかなか行動に移す一歩を踏み出すことに躊躇してました。しかし、実際留学してみると、より視界が開けてきてこれからやりたいことが少しずつ見えてきたように感じています。二つ目は大切な友人です。私は友達をつくることには特に不安を感じてませんでした。この留学のみでの友達だろう、と思っていました。しかし、生活が始まってみると、そのような薄い関係ではなく、とても濃い関係を築くことができました。現に、会う予定がたくさんあります。まさか、留学後も一緒に遊んだり、時にはお互いの悩みを相談しあったりする大切な友人ができるとは思っていませんでした。得た二つものを今後も大事にしていきます。



▲柿谷選手との写真

#### 後輩へのアドバイス!

日本食を持っていくといいかも。

私はかなり楽観的な性格の持ち主であるため、特に不安視しておらず、どうにかなるものだと思っていました。実際行ってみると、その通りでした。言語能力に不安を抱えていたとしても、英語かドイツ語しか聞こえてこない状況に身を置いてみると、きっとボディランゲージを用いたりして積極的にコミュニケーションをとろうとします。そして外国人と気軽にコミュニケーションをとれるこそが留学する意義だと思っています。授業中は基本的には決められたことしか話すことができません。学校の外に出て、店員さんや車掌さんなどに積極的に話しかけることで、ネイティブスピーカーの英語やドイツ語を直に触れることができ、今後の学習意欲の向上につながると思いました。参考になった文献は、「地球の歩き方」です。どんなに小さな街でも、その土地その土地の観光名所やおいしいレストランなどが記載されていて、本当に役に立ちました。あと、留学には日本食を持っていくといいかもしれません。自分で食べるのもよし、ルームメイトに紹介するのもよし、で便利でした。

#### もう一言!

早め早めの行動を心がけることが大事。

ドイツで生活する際に気を付けなければならないことがいくつかあります。一つは電車・バスが頻りに遅れることです。つまり、時間に余裕を持って行動しなければ、予定通りに物事が進まなくなったり、最悪の場合、中止になったりする予定が出てくるかもしれません。私は幸いにもそのような状況に陥ったことはなかったですが、友人が終電に乗り遅れたりしていたので、早め早めの行動を心がけることが大事です。また、初めに1か月使える定期券を購入するのですが、その定期券では乗ることができない電車があるので、乗る際には非常に気をつけなければなりません。その電車に誤って乗ってしまうと、罰金が40ユーロ、日本円では5,500円程度取られます。誰もがそのような部分にお金を使いたくはないと思います。お金に関しては、金額が大きい紙幣はめったに使わないので、小さい金額の紙幣を多用すればいいと思います。クレジットカードとキャッシュパスポートも非常に便利であったので持っていくべきだと思います。



▲Sankt-Jakob-Park



# 中国

## 上海财经大学国際文化交流学院

Shanghai University of Finance and Economics  
International Cultural Exchange School



法学部 法学科  
3年次生  
**渡邊 志保**  
(岡山県立倉敷天城高等学校出身)  
Shiho Watanabe



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：上海
- 研修期間：2014年2/24～3/18【23日間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む)……124,000円
- ・渡航準備・査証取得費……31,000円
- ・食費……50,000円
- ・交通費……5,000円
- ・通信費……9,000円
- ・その他……25,000円
- <合計> 244,000円



思い出スナップ

▼平和の像



▲財経大学の友達と



#### 研修機関や授業

中国語での授業では予復習が重要！

上海财经大学は、非常に住みやすい環境の中にある大学です。周辺にはたくさんの店があり、朝は屋台が出るので多くの人でにぎわっています。私達はメインキャンパスではなく、留学生教育にあてられた国際文化交流学院というところに通っていました。とても広いキャンパスで、グラウンドでは太極拳やバスケットボールで遊んでる人たちがいてほのぼのとした居心地のよいキャンパスでした。

授業は1日に2コマ授業があり1コマ100分で、間に休憩が10分間あります。そして読み・書き・会話・リスニングと、非常にバランスのとれたプログラムとなっています。授業を受ける前にクラス分けのテストがあり、それは面接で行われます。そしてクラスが決定するのですが、自分のレベルに合わなければクラスを変えることができるお試期間が1週間設けられています。ですので、自分に合った授業を受けることができます。英語を混ぜて授業をしてくれる先生もいれば全て中国語で授業を行う先生もいるので、予習・復習はかなり重要となってきます。きちんとこなしていると授業の理解度が断然変わってきます。わからない時には先生に質問することも大切だと思いました。

#### 衣・食・住

大学の食堂はお腹いっぱい食べても安い！

上海の2月3月は非常に寒いと聞いていたのですが、寒かったのは3月上旬位まででそれ以降は昼間に上着を着なくても出かける程の暖かさでした。なので、どちらにも対応できるような服装を持っていくことをおすすめします。また、雨が降ることが多いのでインターネットなどで天気予報の確認をしておくのと良いと思います。私は寮に宿泊していましたが、寮は2人部屋でちょうど良い広さで、エアコンや冷蔵庫など設備も整っていますので不自由はあまり感じませんでした。もし、不具合が生じても寮の人に申し出ればすぐに対応してくれます。受付の人の中には日本語を話せる人もいました。次に食事についてですが、朝食・昼食は主に大学の食堂でとっていました。大学の食堂のご飯はお腹一杯食べても非常に安いです。おかずの種類も沢山あるので自分の好きなように組み合わせることが出来ます。大学の周りにも安くおいしいお店が沢山あったので色々な種類の中国料理を食べることが出来て楽しかったです。しかし、日本の食生活とはかなり違うので食のバランスには気をつけた方が良いと思います。私の場合、毎日ヨーグルトとバナナを食べるように心がけていました。



▲豫園で

#### 休日・余暇の過ごし方

地下鉄に乗ればたいいどこにでも行けます。

授業は午前中にしかなかったのですが、午後はほとんど観光やショッピングをしていました。交通網が非常に発達しているので、地下鉄に乗ればたいいどこにでも行くことができます。運賃は非常に安いので、私は積極的に利用していました。バスも安いのですが、運行情報があまりなかったのに加えかなり揺れるのであまり乗ることはありませんでした。上海にはショッピングモールが数えきれないほど沢山あります。私はウィンドウショッピングが大好きなのでよく巡りに出かけていました。また、土日は授業がなく時間に余裕があるので遠出をして団子坊や上海海洋水族館や外灘に行きました。外灘の景色は船に乗りながら見ることができるので、色々な角度から景色を見ることが出来ます。上海野生動物園には上海财经大学で仲良くなった日本語学科専攻の人たちと一緒に行きました。

ここでは、日本よりもっと身近で動物と触れ合えるので、大学からはかなり離れていますが是非行ってみたいと思います。また、研修旅行として南京に行きました。同じ中国ですが食べ物も文化も伝統もかなり違って何もかもが新鮮でした。非常に内容の濃い時間を過ごすことが出来たと思います。

#### 得たもの・学んだもの

一皮剥けた自分に出会うことができました。

この研修で得たものは「新しい自分」です。これは単なる綺麗事でもありません。留学に行く前の自分は消極的であまり自分から動くことができませんでした。しかし、上海は日本とは全く違うことばかりです。話す言葉は勿論違うし、生活形態も違います。時には全く知らない土地なので道に迷うことだってあります。そのような分からないことばかりの中で生活していくので、自然と自分から行動ができるようになりました。帰国する時には自分でもびっくりするくらいに活発に進んで動く「新しい自分」になっていました。留学はサバイバルと同じだと思います。自分から行動をしなければならぬ事が沢山あります。確かに大変ですが留学が終わるころには一皮剥けた自分に出会うことが出来ました。それは自分の「強み」になるということは間違いありません。もし、新しい自分に出会いたい、変わりたいと思っている人がいるのであれば、この研修講座に参加してほしいと思います。



▲料理店での注文

#### 後輩へのアドバイス！

とにかく何事にも挑戦してほしい！

私が後輩に伝えたいことは、とにかく何事にも挑戦してほしいということです。勉強にしろ遊びにしろ、自分がどれだけ積極的に活動するかでこの研修講座がハッピーエンドになるか、それともパッドエンドになるかが決まってしまう。授業では少し恥ずかしいかもしれませんが、積極的に発言をしたり分からないところはしっかり聞くことをお勧めします。せっかく上海に勉強をしに来たのに、ただ授業を座って聞くだけ…というのは非常にもったいないと思います。是非ここは勇気を出して頑張してほしいと思います。そうすれば、必ず早いスピードで力がついてきます。また、しっかり計画を練って余暇を有意義に過ごしてほしいと思います。23日間というのは、長いようで本当にあっという間に終わります。上海には非常に多くの観光場所があるので、後で、もっとこうすれば良かったという後悔がないよう、どんどん出掛けに行っていきたいなと思います。いろいろやってみよう！



▲南京の地下鉄切符

#### もう一言！

沢山の外国人と交流をした方が良い。

私が一番感じたことは外国の人々と触れ合えるこの機会を存分に生かして、沢山の外国人と交流をした方が良いということでした。松山大学で生活しているとあまり外国人と触れ合えることはないと思います。しかし、留学に行けば、周りは外国人でいっぱいなんです。私の場合は、一緒に研修に行った4人と、上海で出会った2人の計6人しか日本人はいませんでした。このような機会は日本で住んでいるとまずないのではないのでしょうか。ですので、自分から積極的に話しかけて友達を増やし、留学生生活をよりよいものにしていく事をお勧めしたいと思います。私たちのクラスはほとんど長期留学の人たちばかりでした。なので非常に知識が豊富な彼らにわからない事を質問すると、とても優しく丁寧に教えてくれましたよ！キャンパス内で出会ったときにあいさつを交わすだけでも非常に嬉しかったです。なので、ぜひこの研修講座で友達をいっぱい作って楽しい留学生活を送って欲しいと思います。



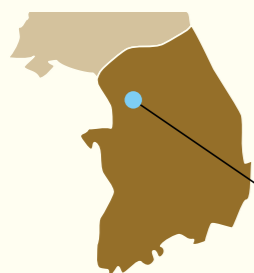
▲上海の住宅



# 韓国

## 建国大学校言語教育院

Konkuk University language education school



経済学部 経済学科  
2年次生  
**田中 希実**  
ソウル (私立高知高等学校出身)  
Nozomi Tanaka



### 研修機関や授業

「私生活での会話」を目標においた授業。

建国大学は、松山大学よりも校内が広いです。寮から授業を受ける教室までは歩いて10分程かかります。校内には、カフェ、コンビニ、レストラン、病院があります。松山大学よりも専攻学科が多く休暇中にも関わらず学生が多くいました。大学の周りには、学生の街、ショッピングセンターなどがあり、買い物や食べ物に困ることはありません。建国大学前の駅から観光地までは、20分程で行けるのでとても便利でした。韓国語の授業は、クラス分けテストの結果で各クラスに分かれ授業を行います。クラス分けテストの内容は、筆記と面接で少し難しいです。面接は、自己紹介、韓国にどうして興味をもったのかということ聞かれます。私のクラスでは、「私生活での会話」を目標において授業を行いました。書きよりも、話すほうが主体でした。体験授業も数回行います。文化村、キムチ作り、ダンス、劇などを体験します。日本との文化の違いや、似ているところも知ることができる機会だと思うのでいい勉強になります。クラスの人数は約10人ほどです。私のクラスは、日本人が7人で、台湾人と中国人の方もいました。他国の方とも交流ができるのでいい経験になりました。



◀文化体験 キムチ作り

### 衣・食・住

ほとんど辛い韓国の料理。

研修中の宿舎は、建国大学の寮です。部屋は、2人部屋です。広くはないですが生活には困らないです。インターネットも繋がるのでパソコンを持っていくと便利だと思います。松山大学からの留学生で私だけが男だったので、私は台湾人の方と同部屋でした。初めは戸惑いましたが、3日間くらいで仲良くなり、一緒に出掛けることもありました。現地の生活で一番苦労したのが食べ物です。私の場合は、朝は寮の横にある学食か、コンビニでした。お昼は、大学の近くにある飲食店でした。ほとんどの所が500円前後です。夜は、友達と一緒に人気のあるお店に行ったり、屋台に行ったりしました。贅沢をしなければ一日の食費は、1,000円程で大丈夫だと思います。韓国の料理は、日本と違って本当に辛いです。初めの1週間は、料理を食べただけで汗が出てきましたが、いつの間にか慣れていました。辛いですが本当においしいです。韓国は、日本より暑いと聞いていましたが、私は韓国の方が涼しく感じました。夕方になると薄い上着があればいいと思いました。服の値段は、日本と同じくらいだと考えておいて下さい。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ソウル
  - 研修期間：2014年8/2～8/22【21日間】
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算
- |                |          |
|----------------|----------|
| ＜必要な経費＞        |          |
| ・研修費(滞在費含む) …… | 246,460円 |
| ・渡航準備・査証取得費 …… | 10,000円  |
| ・食費 ……         | 30,000円  |
| ・交通費 ……        | 6,000円   |
| ・通信費 ……        | 12,000円  |
| ・その他 ……        | 50,000円  |
| ＜合計＞           | 354,460円 |



思い出スナップ

建国大学から見えるビル



▲東大門の建物



▲修了式 クラスの方と

### 休日・余暇の過ごし方

クラブに行くなら友達と一緒に。

研修期間が3週間で丸1日休みの日が少なかったため、休みの日は思う存分遊びました。友達と観光地に行ったり、明洞、江南、東大門、弘大などに遊びに行ったり、買い物もしました。私は、韓国に友達がいるのでいろいろなところに案内してもらいました。観光地に行くときに入ってくる言葉は韓国語よりも日本語・中国語の方が聞こえました。江南、弘大に行くとき人の多さに驚きました。「眠らない街」と聞いていましたが、本当にその通りでした。私は、ダンスミュージッククラブに興味があったのでソウルの有名なクラブに行きました。金曜日・土曜日に行くとき本当に驚きます。一人で行くのは危険ですし、楽しくないので友達と行くといいと思います。建国大学の周りを散歩しているだけでもあつという間に時間が過ぎてしまいます。有名人が経営しているカフェなどもありますし、大きな公園もあります。友達と集まって遊んだり、他国の留学生とご飯を食べに行ったりすることもおすすめします。しかし、お金の使い過ぎにはご注意ください。日本人は、商売人からすると最高のお客さんです。あまり高額を持ち歩くのは、やめたほうがいいです。

### 得たもの・学んだもの

自分の考え方がとても小さく感じました。

この研修で私は、考え方が少しですが変わったと感じます。私は今回の研修期間中に、韓国の方、台湾の方、カリフォルニアの方、イギリスの方と交流をしました。一緒に話したり、行動をしたりすると自分の考え方がとても小さく感じました。「自分より多くのこと経験しているから当たり前か」と思う自分に悔しかったです。自分より年上の方がほとんどですが、中には私より年下の方もいました。韓国語を学びに来たのに、正直、英語を使う方が多かったと思います。その方たちからは、「韓国語話せて当たり前、英語話せて当たり前だ」と言われました。私は、笑うしかできませんでした。世界にはいろいろな人がいると、その時身に染みて感じました。この研修のポイントは、「楽しく韓国語を学ぶ」だと感じました。私のクラスでは、授業の半分が人とのコミュニケーションでした。書き、話すだけでなく、体を使って授業を行ったので早く覚えられました。クラスの方ともすぐに仲良くなりました。



▲韓国文化村の風景

### 後輩へのアドバイス!

スマートフォンは必需品。

韓国に行ったことのある方は、韓国に関するイメージが想像できると思いますが、韓国に行ったことのない人は、事前に韓国について調べておくことが重要だと思います。私も韓国に行くのが初めてだったので友達、先生、韓国の友達、ネットでかなり調べました。韓国に行ったことのない私でも何の不自由なく生活できました。日本語を話せる韓国人の方がたくさんいたように思います。お金は予定より少し多めに持っていくのをおすすめします。やはり予定よりも多く使ってしまう。何かあるかわからないので…。携帯電話(スマホ)は、必需品です。連絡をするにしても、地図をみるにしても必ず必要です。Wi-Fiのルーターも必要です。必ずレンタルしてください。大学の授業でハングルの授業をとっている方は、その教科書を持っていくと意外と役に立ちます。



▲文化授業 劇(ヒーロー)

### もう一言!

これからも韓国語の勉強を頑張ろうと思っています。

私は、今回の留学で韓国をとても好きになりました。旅行ではできない体験がたくさんできました。私は、国際交流に興味があり、それが実現できたことが何よりの喜びです。以前からの友達、新しくできた友達もいて、また韓国に行く理由ができました。そのためにこれからも韓国語の勉強を頑張ろうと思っています。韓国のソウルは、東京都に感じが似ている気がしました。私だけかもしれませんが、今回の留学では、先輩、友達に迷惑をかけたと思います。男一人だけだったので気を遣うところもあったと思いますが、私は、今回のメンバーで行けたことがうれしかったです。また、機会があれば参加したいと考えています。ありがとうございました。



# 韓国

## 建国大学校言語教育院

Konkuk University language education school



ソウル

経営学部 経営学科  
2年次生  
**石本 優衣**  
(愛媛県立松山北高等学校出身)  
Yui Ishimoto



### 研修機関や授業

授業はほとんど会話中心でした。

建国大学は、松山大学の何倍もの広さで、寮から授業を受ける建物まで5分は歩きました。本当に遠いです。建国大学自体が街の中にあるので、どこか別の場所に移動するのは交通がすごくいいので便利です。しかし、建国大学から地下鉄の駅に行くまでが遠いです(笑)。自転車を借りることができるらしいのですが、台数が少ないのでほとんど借りれないらしいです。そしてクラスは読み、書き、会話のテストで分けられました。会話のテストは担当する先生によって話す内容が違い、私の担当の先生は簡単でした。私は3-Bという真ん中のレベルのクラスでした。先生が、3週間という短期間だから話した方が韓国語の力がつくということで、授業はほとんど会話中心でした。日本では習っていなかった文法を簡単な例を交えて説明してくれました。先生が出した例に沿って自分で作った文を言ったり、習った文法が入っているK-POPを聞きました。時々ゲームをしたり、今韓国で流行っている言葉についても教えてもらいました。私はこの授業の間ずっと話していました。韓国語がわからなくてもとりあえずわかる範囲で話したり伝える努力をすることが大切だと思いました。



▲언니 (ガイドしてくれたお姉さん) に感謝

### 衣・食・住

辛い物がダメな人は3週間苦しむと思います。

寮は出入りするとき、部屋に入るときに必ずカードキーが必要です。私はほかの大学の子と同じ部屋でした。同じ部屋の子は私より先に入寮していて、私が入ってくるというのを知らされていなかったらしく、私が入寮したときにはすでに部屋が散らかっていました。私が使うはずの机にも物が散乱していました(笑)。3週間という長い間同じ部屋で過ごすので、部屋割りはきちんと考えた方がいいと思いました。寮にはお湯、お水がでる浄水器が各階に一つあるので、基本的な飲み物には困りません。テレビは洗濯室にしかないで、テレビが見たい人は自分のパソコンを持っていった方がいいと思いました。食べ物に関しては、個人的に辛い食べ物は食べれるので問題はなかったのですが、辛い物がダメな人は3週間苦しむと思います。辛い食べ物もありますが、辛い食べ物のほうが多いです。今年は台風と重なったりして、朝晩寒い日がすごく多かったです。昼との寒暖の差が激しくて、何か上に羽織るものを持つていった方がいいです。すごく歩かないといけないので、サンダルよりも靴が私は重宝しました。建国大学の周りには安い店がたくさんあるのでそこで買うこともできます。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ソウル
  - 研修期間：2014年8/4～8/21【18日間】
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) ……246,460円
  - ・渡航準備・査証取得費 ……27,000円
  - ・食費 ……20,000円
  - ・交通費 ……7,500円
  - ・通信費 ……4,000円
  - ・その他 ……85,000円
- <合計> **389,960円**



思い出スナップ

建国大学生  
サムルノリ



▲우리 반 3-B (大好き 3-Bクラス)



▲JYP Nationを通して仲良くなった友達

### 得たもの・学んだもの

社交性が新しく自分に身についた

この3週間で確実に得ることができたものは1番に韓国語力です。日本にいたときはできると思っていた韓国語もいざ韓国へ行ってみると私より年下の子で私よりも韓国語ができる子がたくさんいました。だから、私は誰よりも積極的に授業に取り組みました。そして、韓国語を使える場面があれば積極的に使いました。さらに、英語の力も必要なことを改めて実感しました。建国大学にはたくさんの国から来ているので、基本的には英語で話す時もありました。困っているのに助けてあげられない自分もどかしかったので、英語も勉強しようと思えました。さらに、私は社交性が新しく自分に身についたと思います。3週間という短い期間の中でどれだけ友達をつくらることができるかがすごく大事になってきます。自分から話しかけることで日本人の友達、韓国人の友達、ほかの国の友達もできました。



▲JYP (私の好きなK-POP事務所) Nation in SEOUL

### 後輩へのアドバイス!

お店を探したのは基本コネストでした。

私がよくお店を探すのに使ったのは、コネストというサイトです。食べ物のお店を探したのは基本コネストでした。地図も載っているのすごくわかりやすいです。しかし、建国大学の周りのお店は長く続いても2年らしく、検索したお店はもう違うお店になっていたということがよくありました。しかし、おいしいお店はたくさん載っているのすごく有効的に使うべきだと思います。さらに、1年留学している飯田さんや沖中さんにも聞いてみたり、언니や오빠(知り合いの韓国人)に連れて行ってもらったりもしました。知り合った人とは確実に仲良くなることで、食や遊ぶところには十分満足できると思います。行き当たりばったりで行くのは怖いと思うので、聞いたり、調べたりするのがやっぱり一番だと思います。もし困ったことがあれば、松山大学から1年留学に行っている人に聞いてみてください。

### もう一言!

自ら行動すれば、3週間はすごく充実したものになる。

3週間は長いと思ったけれど予想以上に短い3週間でした。後悔しているのは、もっと日本にいたときから韓国について調べておいて、買い物に行くのにも無駄な時間を過ごさないようにすればよかったと思います。自由な時間はあまりないのでソウル市内から出るの難しいですが、ソウル市内にもたくさん観光スポットがあるので3週間では行ききることができませんでした。韓国は一度行けば絶対また行こうと思える、素敵で魅力の多い国だと思います。もっと韓国が好きになります。広い視野を持つためにも、近い国だけでも刺激がたくさんあります。3週間に有意義に過ごせるかどうかは自分の行動次第です。自ら行動すれば、3週間はすごく充実したものになると私は今回で経験することができました。何事もまず自分から。この気持ちが留学するにあたって、一番大事なことだと思います。



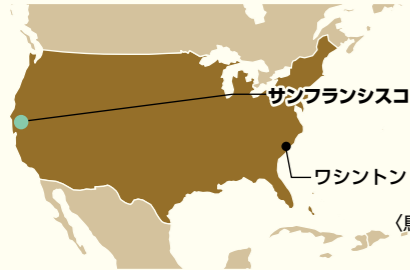
▲念願のロッテワールド



# アメリカ

## ILSC サンフランシスコ校

ILSC San Francisco



経営学部 経営学科  
2 年次生  
**郭 博達**  
(鳥取県立米子東高等学校出身)  
Hirotatsu Kaku



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：サンフランシスコ
- 研修期間：2014 年 2/11 ~ 3/22 【40 日間】
- 研修講座・コース名：TF, BZ IBE, BW+IS
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) …… 622,000 円
- ・渡航準備・査証取得費 …… 40,000 円
- ・食費 …… 55,000 円
- ・交通費 …… 14,000 円
- ・その他 …… 70,000 円
- <合計> **801,000 円**
- 助成金支給額 …… 400,000 円
- 自己負担額 …… 401,000 円



▲フィッシャマンズワーフ

#### 研修機関や授業

授業内容も TOEFL@iBT も難しかったです。

語学学校は ILSC グループの一つであるサンフランシスコ校に行きました。私は 1 限目と 2 限目に授業があり、午後からはフリーでした。レベルは basic、intermediate、advanced という 3 つのレベルに分けられて、更にその中でも 4 つのレベルに分けられます。私は Intermediate2 (I 2) に振り分けられました。I 2 のレベルから 1 限目を選ぶことができました。アカデミック (グラマー、リーディング) または、TOEFL@iBT の授業を選ぶことができ、後者を選びました。周りのレベルはとても高く、私はショックを受けました。初め私は先生の英語が速すぎて、全く理解ができなくて、これから何をするのが分からず最初の 1 週間が過ぎました。自分なりに頑張り、少しずつ理解できるようになりました。2 限目はビジネス英語か一般英語か選べて、前者を選びました。内容的にはそこまで難しい話はなかったのですが、難しい単語がいくつか出てきて、それに苦労しました。



▲ILSC 修了式

#### 衣・食・住

ホームステイ先はフィリピン系の家族でした。

朝 7 時起床し、同じホームステイ先の友達と 8 時に家を出てバス停へ行き、9 時に授業スタート、12 時半に授業を終え、昼食は友達と食べてからそのまま観光、買い物、バスケットボールやサッカーをして楽しんで、そして 18 時頃家に帰るとというのが平日の生活でした。ホームステイ先はフィリピン系の家族で、親戚を含めると 9 人家族で、さらに、私以外にもホームステイをして語学学校に通っている生徒も 8 人いて、合わせるとおよそ 20 人一緒に生活しました。ディナーは毎回大量に作ってあり、いつもアジア人と話しながら食べました。アメリカ人はお風呂に入る習慣はなく、また毎日シャワーをする習慣もありません。3 日に 1 度シャワーする程度でした。洗濯は近所のコインランドリーを使っていました。NBA をぜひ生で見たいと思って友達とサンフランシスコのホームチームはウォーリアーズでオークランドまで見に行きました。テレビで見るより迫力があって、とても楽しかったです。外食をする際はウェイトレスにチップをあげなければなりません。その際会計はレジをするのではなく、テーブルに自分が注文した物の料金とチップを置いて店を出るといった形になります。

グラデリチョコレートのお店

#### 休日・余暇の過ごし方

MUNI の monthly を買って、バス等は乗り放題。

休日はクラスメートとアメリカの大学に行ったり、レジデンスに住んでいる友達主催のパーティに行ったりしました。MUNI の monthly を買ったため、バス、地下鉄は乗り放題で、ホストファーザーは MUNI のバスの運転手なので、色々詳しく教えていただいて、スムーズに目的地に到着できました。私が実際に行った有名な所はスタンフォード大学、パークレー大学、サンフランシスコ大学、サンフランシスコ州立大学、モンレイ、ゴールデンゲートパーク、ゴールデンゲートブリッジ、フィッシャマンズワーフ、チャイナタウン、ジャパントウン、オーシャンビーチ、パーク、ダウントウンです。ほかに、他の語学学校のツアーを使ってラスヴェガスと世界遺産であるヨセミティへ行きました。ラスヴェガスはホテルが多くて、どのホテルにもカジノがありました。ヨセミティは滝や小川、そびえ立つ巨木、広大な広さと手つかずの大自然、さすがカリフォルニアという感じでした。アメリカにいた間は、雨は 2 回ほどしか降らずに、天気恵まれ、外出する際に困ることはなかったです。2 月の初めは寒かったのですが、下旬から暖かくなり半袖でも大丈夫でした。



#### 得たもの・学んだもの

溶け込む力が大切。

出 発時に東京は大雪で、フライトはキャンセルされ、やむを得ず東京で一泊してから、予定より一日遅れでアメリカに到着しました。当時の心境はワクワクした気持ちで、色々想像していました。一人で海外に行くのは不安はなかったですし、現地に着いても特に困ることもないだろうと思いました。何しろ、アメリカでは多民族国家なので、自分も同じように生活していけば、現地の人だと思われるという考えがありました。語学学校で出会った人はほとんど年上でした。中には 30 代前後の方や仕事をやめてアメリカに来る方、現地の大学に入るために、語学学校に来る方などみんなが大学生というわけではありませんでした。授業に関して、初めは分からない単語やこれから何をするのが分からないことを手を挙げて質問するのに少し抵抗感があったので、自分以外誰も辞書を使わないので、皆理解できているのかと思い、手を挙げる勇気がありませんでした。しかし、先生やクラスメートと話すようになるという間に質問をしている自分がいました。溶け込む力がこれほど大切なんだと感じました。



▲ラスヴェガス

#### 後輩へのアドバイス!

サンフランシスコの物価はとてつもなく高い。

私 は以前アメリカのドラマ (the O.C.) を見て、ずっとカリフォルニア州に憧れを持っていて、もし行くならサンフランシスコかロサンゼルスの大都会が良いと思っていました。州によって違うかもしれませんが、カリフォルニア州とネヴァダ州は 21 歳未満は飲酒禁止で、バーに入ることすらできません。あとカジノもできませんし、ナイトクラブに行くこともできません。アメリカではナイトクラブに行くことはごく普通のことなので、驚くことはありません。サンフランシスコの物価はとても高く、お金は多めに準備する必要があります。ちなみに、バスに乗車する時は中国と同じように前のドアから入り先に運賃を払います。友達が後で払うのかと思って乗っていたら後程警察が来て、一万円相当罰金を科せられました。なぜならバスの中にも数台防犯カメラが常に監視をしているからです。バスの中のナレーションはまず英語、次にスペイン語、最後は中国語の広東語でした。広東語は中国の広東省が香港の人ではないと中国人にとってみれば外国語のようなものです。

#### もう一言!

独り言を言ったら、周りの人はツッコんでくれます。

工 レペーターに乗る際、我々の常識ならば、すぐさまにドアを閉じるボタンを押しますが、アメリカでは自然に閉まるのを待つというのが普通です。バス停でいつも誰かが独り言を呟いたり、他人に話しかけたりします。言っていることを覚えて、真似して独り言を実践したところ、近くにいた人は笑顔でツッコんでくれました。でも、何と返事されたのか聞き取れなくて悔しかったです。バスの中でも、沈黙がなく、大声で電話をする人、イヤホンをつけて音楽を聴く人など、とてもにぎやかで、自由でした。毎回頑張って近くの人たちの会話を理解しようとしていましたが、速すぎて理解できなかったケースが多かったです。特に黒人の英語はこれっぽちも聞き取れませんでした。NBA や MLB を見ても分かるようにアメリカ人は髭を伸ばしてる人もかなりいます。サンフランシスコは坂がものすごく多く、歩くだけでも体力がつかます。車もかなり古い車に乗っている人も多くいます。歩けば、ホームレス、全身ユニホームで歩く人、上半身裸で歩く人などに出会います。エスカレーターは大阪と同じ右側に並びます。



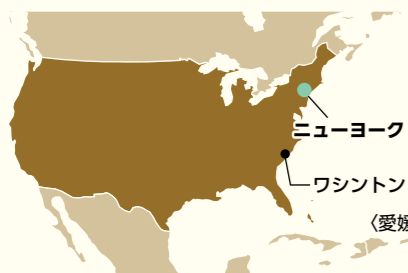
▲サンフランシスコ空港



# アメリカ

## LSI ニューヨーク校

LSI New York



人文学部  
英語英米文学科  
3年次生  
**西野 巴那**  
(愛媛県立松山中央高等学校出身)  
Hana Nishino



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ニューヨーク
- 研修期間：2014年8/11～9/12【33日間】
- 研修講座・コース名：STANDARD 20
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
  - ・研修費(滞在費含む) ……730,130円
  - ・渡航準備・査証取得費 ……1,500円
  - ・食費 ……50,000円
  - ・交通費 ……27,200円
  - ・通信費 ……6,000円
  - ・その他 ……15,000円
- <合計> **829,830円**
- 助成金支給額 ……400,000円
- 自己負担額 ……429,830円



思い出スナップ



▲「Gossip Girl」主人公セリーナのおうち



▲担任の Hannah 先生

#### 研修機関や授業

英語で英語を学ぶ初めての経験。

LSI NY校は、地下鉄の駅を出てすぐのところにあります。地下鉄が近いので、学校が終わるとすぐにNYの様々なところへ友達と行けるので便利です。また、LSI NY校はビルの12階にあるのですが、同じビルの3階には美味しいカフェがあり、時間に余裕のある朝はそのカフェでコーヒーとフルーツをテイクアウトし、授業が始まるまで学校のラウンジでコーヒーをすすりながら友達との会話を楽しむという優雅な日々を送っていました。クラスは、登校初日にTOEIC形式のテストが行われ、5つのレベルに分けられます。私は真ん中のクラスで、主に文法や単語を学びました。クラスメイトは10人程度で、韓国、タイ、コロンビア、フランス、イタリア、ベネズエラ、トルコ..と、様々な国から留学生が来ているのでたくさんの国の友達をつくることができます。1コマ100分という長さ&英語を英語で学ぶという初めての経験に最初の2日間はいろいろ大変でしたが、すぐ慣れました。というのも、担任の先生がとても気さくで明るく、クラスの雰囲気や生徒の士気を上げていたため、集中していたらあっという間に授業が終わっていました。



▲LSI NY校

#### 衣・食・住

様々な国の料理を食べることができます。

NYの夏は日本に比べて湿気が低かったので暑く感じました。しかし、夏といっても朝晩はかなり冷え込むので、室内は冷房が効きすぎて寒いので、いつも羽織るものを持って外出していました。日中の外は暑かったので基本は半そでに短パンというスタイルでした。日差しが強いのでサングラスと日焼け止めは必須です。学校の友達とよく外食をしていたのですが、NYの食べ物とはとても高く高いです。高いですが、やはりNY、どれも食べる価値ありの美味しさでした。世界の中心地ということもあり、様々な国の料理を食べることができます。特にパッタイというタイ料理の味が忘れられません。日本にはないダンキンドーナツもとても甘くてオススメです！毎日美味しいものばかり食べていたので日本に帰ってきて体重計に乗ると思わず叫びました。(笑) ホームステイ先での朝食は、シリアルとパンでした。洗濯はマザーがしてくれたのですが、週に1回だったので7日分の下着を持って行くことを強くオススメします。マンハッタンは地下鉄の駅がどこにもあり、また24時間運航しているのがかなり便利です。

#### 休日・余暇の過ごし方

学校のアクティビティーにも週2くらいで参加。

NYには訪れるべき場所がたくさんあります。自由の女神、ブルックリンブリッジ、セントラルパーク、タイムズスクエア、摩天楼。幸せなことに、語学学校でできた友達に誘ってもらえて観光名所には全て行けたと思います。マンハッタン内の移動は全て地下鉄を利用しました。1か月1万円ほどのフリーパスを初めに買って自由と自由にどこにでも行くことができ、オトクです。学校は午前中で終わるので、午後は買い物をしたり、カフェでお話しをしたり、何か食べ物をテイクアウトして公園で食べたりもしました。美術館、ゲーム、Bar、BBQなどの学校のアクティビティーにも週2くらいで参加し、クラスの違う留学生とも友達になることができました。マンハッタンからは少し離れたニュージャージー州にある有名なアウトレットモールに韓国人の友達とバスで1時間かけて行ったりもしました。NYにはとにかくたくさん美味しいレストランがあるので、1日にどれだけ食べられるのが勝負でした。多くのレストランでは食べきれなくても、ほとんどのレストランで持ち帰りができます。



▲ブルックリンブリッジと摩天楼

#### 得たもの・学んだもの

スピーキングやリスニングが大切。

得たものは、友人です。渡航前、既にNYに留学経験のある友人から「ガンガン行け」というアドバイスを受け、初日からクラスメイトにガンガン話しかけ、授業中も積極的にガンガン発言しました。その結果、他国の友人がたくさんでき、英語を使っているコミュニケーションに楽しさを感じました。しかし、もちろん楽しいことばかりではありませんでした。今まで考えたこともなかった発音の大切さ、相手の言っていることが理解できない、など会話をするうえでの苦悩がたくさんありました。日本では文法などの机上の勉強しかしてこなかったため、スピーキングやリスニングが大切だとは思っていませんでした。そんな中、どんなに私の英語が稚拙でも、語学学校でできた友人たちは遊びに誘ってくれ、私が行きたいところへ連れて行ってくれました。最後の週では、手紙を書いてくれたり、I miss youと何回も言ってくれ、彼らと過ごした日々は本当に宝だと感じました。次に彼らに会うときは自信を持って堂々と話せるよう、発音やリスニングにも力を入れたいと思います。



▲Statue of Liberty

#### 後輩へのアドバイス!

何かを言いたいことがあったら、迷う前に言う。

短期の留学だと、「あのとき言っておけばよかった、しておけばよかった」はもったいないです。外国の生徒は授業中びっくりするほどよく発言します。もし小さな疑問がうまれたら、もし誰かに何かを言いたいことがあったら、迷う前に言うべきです。授業の進むテンポはとてもはやいから躊躇すれば疑問が疑問で終わります。間違っていたらどうしよう、なんて考えずにまず発言してみたらとてもスッキリして授業へ臨む姿勢も変わってくると思います。また、意見を聞かれたときに答えを濁したら、「Yes or No」と聞かれます。自分の意思をはっきり伝えることは難しいですが、コミュニケーションをとるうえでとても大切なことだと身をもって実感しました。参考になった文献は「まっぴる」です。名前通り、地図がとても分かりやすいからどこへ行くにも常時していました。また、「まっぴる」に載っているレストランははずれなしでした。



▲タイムズ・スクエア

#### もう一言!

最高の5週間をおくれたことは皆様の支えのおかげ。

Wi-Fiルーターの契約はせず、機内モードにして渡航しました。現地での通信手段はWi-Fiだけでしたが、マンハッタンにはいたるところにスターバックスやマクドナルドがあったので通信の面で不便だったと感じたことはありませんでした。今回、この助成制度を利用して頂くにあたり、留学に向けての手続きや提出物に追われた日々はとても慌ただしかったです。しかし、自分が主体となって動くことの大変さ、締切の大切さ、スケジュール管理など、わずかな時間で経験することができました。山本さん、清水さんをはじめ、国際センターの皆さん、いつも笑顔で優しく受けとめて頂き、とても助かりました。そして、生協の清水さん、心配事があると何度も伺ってしまいましたが、そのたび笑顔で安心する言葉をくれ、お忙しいなか対応して頂き、ありがとうございました。こうして最高の5週間をおくれたことは皆様の支えあってのことでした。大変感謝しております。この留学で満足することなく、さらなる目標に向かって日々励みます。本当にありがとうございました！



# イギリス

## ミルナー スクール オブ イングリッシュ

Milner school of English



ロンドン

人文学部  
英語英米文学科  
3年次生  
**阿部 眞子**  
(愛媛県立今治北高等学校出身)  
Mako Abe



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ロンドン
  - 研修期間：2014年8/11～9/5【26日間】
  - 研修講座・コース名：Intermediate A
  - 宿泊形態：ホームステイ
  - 費用概算
- |             |            |
|-------------|------------|
| ＜必要な経費＞     |            |
| ・研修費（滞在費含む） | ……510,000円 |
| ・食費         | ……30,000円  |
| ・交通費        | ……55,000円  |
| ・その他        | ……5,000円   |
| ＜合計＞        | 600,000円   |
| 助成金支給額      | ……400,000円 |
| 自己負担額       | ……200,000円 |



思い出スナップ



▲ハリポタースタジオ



▲リヴァプールストリート

#### 研修機関や授業

一度も使わなかった電子辞書。

私の通った学校は、とても日本人が少なかったです。アジア人もあまり多くなく、ほとんどがヨーロッパからの留学生でした。クラスにアジア人は私だけで、イタリア人やチェコ人が多かったです。学校のカフェテリアはすごく居心地がよかったです。はやめに学校に行って課題をしたり、授業と授業の間のブレイクにはコーヒーとスナックを買って、友達と話したりしていました。Wi-Fiにパスワードがあるのは当然だと思いますが、学校にはトイレもパスワードを入力しないと入ることができず、驚きました。学校で教科書を購入するとき、現金をあまり持っていなかったため、カードで支払いをすると、3%の手数料がかかりました。授業は毎回ペアやグループになり、先生の提示することについて話し合ったり、時々ゲームをしたりしていました。わからない単語があっても電子辞書などを使うのではなく、先生に直接聞いて意味を理解するような形で、一応、電子辞書を持参していましたが、一度も使いませんでした。みんなどんどん質問しているので、私も恥ずかしがらずに積極的に発言や質問ができました。クラスメートも先生もみんな親切でした。



▲ホームステイメイト

#### 衣・食・住

登校時は半袖では寒く、長袖が必須。

私は朝ごはんは晩ごはんはホームステイ先でご飯を出してもらいました。朝は食パンとシリアルとオレンジジュースでした。昼ごはんは学校の近くのごはん屋さんへ行ったり、カフェに行ったりしていました。イギリスは物価が高いと言われており、カフェでサンドウィッチとコーヒーを買っても1,000円以上はかかりました。レストランなどで食べると2,000～3,000円程でした。晩ごはんはいつもボリュームでした。毎日ディナーの後にはいつもデザートが出てきました。8月でもロンドンは寒いと聞いていましたが、想像以上に寒かったです。朝の登校時は半袖では寒く、長袖が必須でした。日中は、温かくなることが多かったです。夜になると朝よりさらに寒くなり、ダウンジャケットやコートなどの上着が必要だと感じるほどでした。ホームステイ先では基本的に自由でした。帰りが遅くなることや晩ごはんがないときは、そのことを朝ホストマザーに伝えて学校に行っていました。友達にはディナータイムが決まっていたので、その時間までに帰らないとディナーを出してくれないところもあったり、私はとてもラッキーだと思いました。

#### 休日・余暇の過ごし方

土日に市場やマーケットが盛んに行われます。

休日はほとんどセントラルロンドンに行きました。ロンドンでは土日に市場やマーケットが盛んに行われるところが多く、とても人で賑わっていました。私が一番行きたかったブリックレーンに行ったとき、いろいろな国の食べ物の市場がありました。そこで日本人がお好み焼きを作っていたので買いました。久しぶりに食べた日本食のおいしさに感動しました。8月25日の月曜日はバンクホリデーという祝日でしたが、大雨で見に行くことができず、とても残念でした。バッキンガム宮殿へ徴兵交代式を見に行きました。伝統的な赤い服に黒い帽子をかぶった徴兵さんがたくさんいてすごかったよかったです。圧倒されました。ウィリアム王子とキャサリン妃が結婚式を挙げたウェストミンスター寺院がとても美しかったです。ビッグベンの隣にあり、こんなに近くにあると思っていなかったのが驚きました。ロンドンだけでなく、オックスフォードにも行きたくったのですが、やはり時間がなく、行けなくて残念でした。



▲ナショナル・ギャラリー

#### 得たもの・学んだもの

自分の世界が少し広がった気がします。

今回の研修を通して、もっと自分勝手になっていいんだと思いました。ついつい、人に合わせて自分の意見を言えなかったり、ということが今までたくさんありましたが、他の留学生は、自分の意見をきちんと言うし、相手の意見を否定するのではなく尊重していたりして、すごいなと思いました。何をしても、あなた次第、と言われることがとても多く、最初はノーと言えなくて、それがとてもストレスでした。自分から積極的にならないと何もできないし、受け身ではいけないと気づきました。私はまず、自分の意見を言い、相手はどう思うのかを聞くように心がけました。さまざまな考え方がありとわかり、自分の世界が少し広がった気がします。留学前は外国人相手に英語を話すとき、伝わらなかつたらどうしようと思うと英語を話すことがとても怖かったし、パニック状態でした。しかし留学して毎日、日常的に英語を使うことで恐怖を感じなくなりました。むしろ、英語を話すと思う自分になれた気がしてとても楽しいと感じるようになりました。

#### 後輩へのアドバイス!

日本では絶対に味わえないような素晴らしい経験。

もし留学に迷っているようでしたら、絶対に行った方がいいと思います。私が留学へ行って、もっと早くに来たかったなと強く思いました。初めてのことで私にちゃんと出来るのか、不安でいっぱいでしたが、現地では様々な国の友達ができ、楽しいことだらけでした。日本では絶対に味わえないような素晴らしい経験がたくさんできました。私は留学へ行く前に、事前に下調べをもっとしておいたらよかったと思いました。ガイドブックをみても、全然想像ができなくて、あまり何も調べずに行きました。最初、地下鉄に乗るときにとっても戸惑いました。地下鉄やバスなどのカードの買い方、バスの乗り方など、事前に調べておいた方が絶対にいいです。私は地球の歩き方を参考にしていました。硬貨など、詳しいことも載っていて初めて行くという方にとってすごくわかりやすいと思います。



▲ウェストミンスター寺院

#### もう一言!

携帯電話があれば十分。

現地にパソコンは一応持っていきましたが、一度も使いませんでした。携帯電話があれば十分だと思いました。電子辞書も持っていきましたが、一度も使いませんでした。現地のカフェやレストランなどでWi-Fiがあると書かれていてもイギリスの携帯でないと接続ができなかったりということがよくありました。ほとんど家が学校かでないと思えない感じでした。スターバックスは接続ができました。急にホストファミリーと連絡を取らないといけなくなった場合、私はイングリッシュナンバーを持っていないと通話ができなかったため、イングリッシュナンバーを持っている友達に借りたりしました。変圧器を持っていき、携帯の充電やコテなどは日本と同じように使用できましたが、ドライヤーだけがなぜか使えず、現地で買いました。服などがたくさんあったので圧縮袋を持って行ってよかったです。



▲ヴィヴィアン・ウェストウッド

概要

申込み

受講許可後  
(事前準備)

留学中及び  
研修後の手続き

研修報告書  
短期語学研修講座

研修報告書  
学生海外語学研修  
助成制度(春季・夏季)

研修報告書  
派遣留学制度

巻末付録



# オーストラリア

セルク(シドニー・イングリッシュ・ランゲージ・センター)(ボンダイ校)

SELC(Sydney English Language Centres)(Bondi)



シドニー

キャンベラ (愛媛県立松山南高等学校出身)

法学部 法学科  
2 年次生  
**松井 実咲**

Misaki Matsui



## 研修機関や授業

授業はペアワークやグループワーク。

**私**が通った学校は、シドニー中心部からは少し離れたボンダイという場所にありました。初日にオリエンテーションとクラス分けテストがあり、私は Elementary クラスになりました。月曜日から木曜日は9時から15時、金曜日は12時半までの授業でした。金曜日は、スキルアップのために Reading&Writing と Listening&Speaking の2つに分けられ、いつもと異なるクラスで授業を受けました。私は Listening&Speaking のクラスで、授業はほとんどペアワークやグループワークでした。授業で習うのは実用的な英語で、今まで私が日本で習ってきた英語と、実際使われている英語のニュアンスの違いなどが分かってとても面白かったです。英語を英語で習うというのが新鮮でものすごく頭を使いましたが、先生の説明は分かりやすく、ゲームなどもあり、楽しみながら勉強することができました。私のクラスは、日本人、韓国人、スイス人しかおらず国籍の偏りが大きかったのですが、他のクラスにはブラジル、スペイン、ハンガリーなどの方がいらっやいました。しかし思っていた以上に日本人の数が多かったです。



▲ホストマザー

## 衣・食・住

シドニーは日本食のお店が多くあった。

**3**月のオーストラリアは、日本でいう9月ぐらいの気候だということだったので、まだ暑いだろうと思っていたのですが、最初の1週間は天気が崩れがちだったこともあり想像以上に涼しく、毎日長袖を着ていました。また天気が変わりやすく、急に雨が降ることがあったり、天気予報は雨でも1日中晴れだったということもよくありました。2週目以降はかなり暑くなったのですが、日本の夏とは違いカラッとしていたので汗をほとんどかかず、日陰に入るととても涼しかったです。しかし日差しはとても強いので、日焼け止めとサングラスは必携です。ホームステイ先での食事は、朝食は自分で用意して、夕食はホストマザーが作っていただきました。量は思っていたほど多くなく、食べやすかったです。昼食は学校の近くのお店で食べたり、お弁当のようなものを買って外のベンチに座って食べたりしていました。シドニーは日本食のお店が多くあったため、お米やうどんなども美味しく食べられました。洗濯が週に一回しかできなかったため、現地で安いTシャツを買ったりもしました。シャワーの時間が短いのは大変ですが、すぐに慣れました。



◀ブルーマウンテン

## 休日・余暇の過ごし方

休日は、海や動物園、世界遺産。

**平**日の放課後は、基本的にシティに出て行っていました。買い物をしたり、オペラハウスやハーバーブリッジなどを見に行ったりしました。シドニーは高いビルが多く、人も多い大都会ですが、公園がたくさんあるため芝生に座ってゆっくり時間を過ごしたりもしました。家に帰ってからは、ホストマザーとお話をしたり、宿題をしたり、1日を振り返って日記を書いたりしていました。休日は、海や動物園、世界遺産であるブルーマウンテンなどに行きました。海はとてもきれいで気持ちよく、動物園では日本にはいない動物が見られたりしてとても楽しかったです。ブルーマウンテンは、留学会社主催のツアーで行きました。ツアーだと、ガイドの方が色々なことを説明して下さるので、時間のある土日に参加するのいいと思います。また休日は、ホストマザーに事前に伝えて、友達と外で夕食を食べたりもしました。2週目の週末、「トラックワーク」という線路の工事が行われており、電車が止まっていたところがありました。日本では普通夜中などに行われていますが、当り前のように電車が止まっていた驚きました。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：シドニー
- 研修期間：2014年3/3～3/21【19日間】
- 研修講座・コース名：General English
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) ……499,000円
- ・食費 ……16,000円
- ・交通費 ……16,000円
- ・通信費 ……6,000円
- ・その他 ……66,000円
- <合計> **603,000円**
- 助成金支給額 ……400,000円
- 自己負担額 ……203,000円



思い出スナップ

▼マンリービーチ



▲オペラハウス



## 得たもの・学んだもの

日本の良さを知り、日本が大好きになりました。

**私**は今回の留学で多くの人と出会い、多くの経験をし、多くのことを学びました。学校では、同じクラスの外国人が、間違えても気にせずどんどん発言している姿に刺激を受けました。その姿を見て私も負けていけないと思い、少しずつではありますが積極的に発言することができるようになりました。また日本を離れて過ごすことで、日本の良さを知り、日本という国が大好きになりました。いつでもどこでも欲しいものが手に入る、人の優しさや温かさ、今まで当たり前だと思っていたことのありがたさを身に染みて感じました。それと同時に、自分が今まで生きてきた世界の小ささを実感し、もっと色々な世界を見たいと思うようになりました。私は今回の留学が初めての海外で、3週間家族と離れて生活するのも初めてのことで、すごく不安でしたが、本当にたくさんの人に支えていただき頑張ることができました。これからは、家族、友達、私に関わってくださる全ての人を、もっともっと大事にしようと強く思いました。



▲クラスメイトと宿題

## 後輩へのアドバイス!

少しでもやりたいと思ったことがあれば必ずやるべき。

**私**が参考にした文献は主に『地球の歩き方』です。オーストラリアの基本情報や観光地についての情報、交通機関についてなど色々な情報が載っていて、行く前も行ってからも活用していました。平日の放課後や土日は自由な時間になるので、うまく時間を使うためにもガイド本を持っておくことをお勧めします。また私は、分からない単語があった時にすぐ調べられるように電子辞書を常に持っていました。ホストマザーと話すときにも少し使ったりしていました。それから、大事なことや分からなかった単語、気付いたことや思ったことを書き留めておけるように、メモ帳を持っていくといいと思います。そして留学中は、少しでもやりたいと思ったことがあれば必ずやるべきです。行きたい場所があれば行く、欲しいものがあれば買う、言いたいことがあれば言う。留学は簡単にできることではないので、行動せずに後悔することがないように色々なことに積極的に挑戦するべきだと思います。

## もう一言!

わからないことは勇気をもって自分から聞いてみる。

**私**は現地での連絡手段は特別用意しておらず、Wi-Fiがある場所でのメールやラインしかありませんでした。学校でも家(有料)でもWi-Fiが使えたのですが、外出している時にすぐに連絡が取れないことが不便だったので、留学会社で教えていただき現地で携帯電話をレンタルしました。通話とショートメールだけだったので安く借りることができ、良かったです。友達の中にはポケットWi-Fiを借りている人もいて、道が分からなくなってもすぐに地図を開いて調べることができとても便利でした。私は道を覚えることが苦手なので、留学中何度も周りの人にたずねました。最初はとても緊張しましたが、ほとんどの方が優しく教えてくださり嬉しかったです。なにか分からないことがあれば、勇気をもって自分から聞いてみるのが大切だと感じました。



▲クラスメイト



# カナダ

## SOL スクールズ トロント校

Sol Schools International Toronto



経営学部 経営学科  
2 年次生  
**石山 仁美**  
(愛媛県立新居浜東高等学校出身)  
トロント Hitomi Ishiyama



### 研修機関や授業

放課後に行われる  
アクティビティが充実。

SOL スクールズトロント校は、小規模な語学学校で学生の数が少ないので友達作りやすく、アットホームな雰囲気で大変通いやすいところだと思います。まず初日にクラス分けテストがあります。テストの形式は TOEIC と似ており、リスニングとスピーキングと面接を行いました。テストの結果を基に 8 つのレベルに振り分けられ、翌日からそのクラスで授業を行います。しかしクラスのレベルが自分に合っていないと感じた場合、用紙を提出することで簡単に変更することができます。クラスにもよりますが、韓国人と日本人が多いように感じました。私のクラスは韓国人が 4 人、日本人が 3 人、メキシコ人が 1 人、スイス人が 1 人、サウジアラビア人が 1 人でした。また、放課後に行われる外食やスポーツ観戦などアクティビティが充実しているのもこの学校の魅力の一つです。なかでも coffee hour という学内で行われるアクティビティがあります。学生同士で無料のコーヒーとお菓子を食べながらあるテーマについて雑談するといった内容で、会話力を向上させたい人にはお勧めします。



▲街中の公園

### 衣・食・住

手袋、マフラー、帽子、コートは必需品。

この時期のトロントはとても寒く、3 月に入っているにもかかわらず最低気温 -20℃ の日もありました。聞くとところによると今年のトロントの冬は現地の人からしても平年を上回る寒さだったようです。手袋、マフラー、帽子、コートは必需品です。雪を解かすために塩が撒かれるのですがそれが靴に良くないみたいで、私自身も研修が終わるころには靴がぼろぼろになり、捨てて新しい靴を買って帰りました。しかし、家の中やお店の中は暖房が効いているので屋内では問題なく過ごすことができます。ホームステイ先では洗濯は週 1 回と決まっていますが、その他は特に決まり事はありませんでした。しかし職業柄、ホストマザーが忙しい毎日を送っていたことだったので食事は一人でしたし、週末もホストマザーと出掛けることはありませんでした。家族形態や決まり事などホームステイ先によって自分の置かれる環境は異なってくると思います。ですが、もし自分の想像と違っていても、そこで落ち込まず相手の生活感や価値観を受け入れて、自分で工夫してみることも大切だと感じました。



▲BC ロールとみそ汁

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：トロント
  - 研修期間：2014 年 2/24 ~ 3/21 【26 日間】
  - 研修講座・コース名：インテンシブ 週 25 時間コース
  - 宿泊形態：ホームステイ
  - 費用概算
- |                |             |
|----------------|-------------|
| ＜必要な経費＞        |             |
| ・研修費（滞在費含む）    | ……393,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費    | …… 20,000 円 |
| ・食費            | …… 20,000 円 |
| ・交通費           | …… 4,200 円  |
| ・通信費           | …… 3,000 円  |
| ・その他           | ……20,000 円  |
| ＜合計＞ 460,200 円 |             |
| 助成金支給額         | ……400,000 円 |
| 自己負担額          | ……60,200 円  |

### 休日・余暇の過ごし方

近場で行ける観光スポット  
が多くある。

休日は、ほとんど友人と観光をしていました。カナダ最大の都市だけあって、トロントの中心部には高層ビルが立ち並び、夜でも人で賑わっています。学校から徒歩 10 分ほどで街中に出ることができます。多民族国家なので街中には中国、韓国、日本、ギリシャ、インド、タイなど様々な国のレストランがあり面白いです。なかでも日本料理のお店が本当に多く、至る所で見かけたので日本食がかなり浸透しているみたいです。ただ、基本的に値段は高めです。イートンセンターという大型ショッピングモールのフードコートでは様々な国のお店が集まっていますので、いろんな国の料理を試してみるのも良いかもしれません。その他にも、トロント市庁舎やロイヤルオンタリオ博物館、CN タワーなど近場で行ける観光スポットが多くあるので放課後に友達と観光することもできます。なかでも約 553m ある CN タワーから見たトロントの町は本当に綺麗でした。休日にはナイアガラの滝を見に行ったりもしました。トロントは都会であるにもかかわらず、少し離れたと豊かな自然を感じる事ができる魅力的な街だと思います。



思い出スナップ



▼ナイアガラの滝



▲クラスメイトと

### 得たもの・学んだもの

もっと日本について知る  
べき。

たった 4 週間でしたが、1 日 1 日がとても濃かったです。初めての 1 週間は慣れない環境に不安に思うこともありましたが 1 週間を過ぎるとトロントでの生活に徐々に慣れていきました。帰国が近づくにつれ日本に帰りたくないと思うくらいトロントが大好きになった程です。留学では学校の授業やアクティビティなどを通して異国のの人々に関わるなかで、当然お互いの国について話す機会があります。普段日本で生活しているとガイドブックやテレビなどの媒体を通してなら他の国のことを知る事はできませんが、実際にその国の人から話を聞くことは留学でしか経験できないことであり、魅力の一つです。留学前に自分が持っていたイメージと実際に話してみた時のギャップというか、これまで各国に対してなんとなく持っていた固定観念が壊れる瞬間が面白いです。また、留学を通して日本の良い所を改めて実感することもできて、もっと日本について知るべきだとも感じました。



▲CN タワーから見た夜景

### 後輩へのアドバイス!

荷物はなるべく最小限に  
抑えたほうが良い。

私は、留学する前から使っていた単語帳や英会話の本を何冊か持っていたのですが、現地に着いてからは全く使いませんでした。困った時のため、電子辞書さえあれば意外となんとかなります。もし参考書を使って勉強したい場合は、中心部には図書館があって英語に関する本も充実しているので利用してみても良いと思います。とにかく帰りのことも考えて、荷物はなるべく最小限に抑えたほうが良いです。唯一、役に立つと思った本は「地球の歩き方」です。どのガイドブックよりも詳しい情報が書いてあると思います。また、トロントは地下鉄やストリートカーなど交通機関の時刻表を見かけることが少ないです。ですので、あらかじめインターネットやガイドブックで調べておくことが必要だと思います。日本では時間通りに電車やバスが到着するのが当たり前ですが、日本ほど正確ではないので時間に少し余裕をもって利用することをお勧めします。

### もう一言!

人の温かみを数々の場面で  
感じた。

カナダは本当に親切な人が多く、初対面の人に対しても人との距離が近いと感じました。例えば横断歩道で旗を持って誘導してくれる人に対して「thank you」とさりげなく言葉をかける人、道に迷っている人に自ら話しかけ助けている人、買い物でレジに並んでいると後ろに並んでいた人が話しかけてくれたり、レジでも会話が生まれて日本のことについて興味を持ってもらえたりと、人の温かみを数々の場面で感じ私自身、何度も癒されました。何気ない一言や行動で、人は幸せに感じたりすることができるのだなと思いました。4 週間という短い間でしたが、恵まれた環境で本当に貴重な体験をすることができました。助成金制度なしでは実現できなかった事なので、感謝の気持ちを忘れず今後の学生生活に活かしていきたいです。



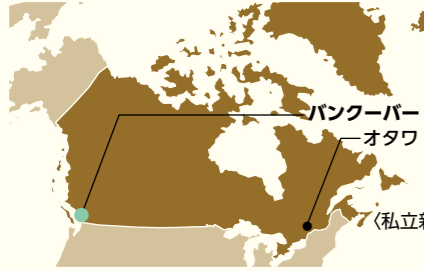
▲バスケットボール試合観戦



# カナダ

## インターナショナルハウスバンクーバー

International House Vancouver



人文学部  
英語英米文学科  
4年次生  
伊賀上 紗妃  
(私立新田青雲中等教育学校出身)  
Saki Igaue



### 研修機関や授業

選択授業では、洋楽のクラスを取りました。

私の通っていた語学学校は、ダウンタウンから少し離れたところにありました。私は、Intensive コースを受講していたので8時50分から15時20分まで週30コマの授業を受けました。1コマは50分だったので、大学の授業と比べてとても短く感じました。午前中は自分の英語レベルに合わせた授業を3コマ、午後はスピーキングとリスニングに特化した授業1コマと自分の受けた授業を2コマ選択し、合計6コマの授業を1日に受講しました。朝のクラスの先生は、文法・リスニング・ライティング・スピーキング全てに焦点をあてていましたが、机に座って勉強するよりもゲーム、ペアワーク、スピーチグループでの出し物などを多く行い楽しみながら勉強できました。午後のスピーキング&リスニングでは、ディスカッションをしました。テーマは食べ物、ファッション、仕事、政治や健康など様々なものでした。選択授業は、発音矯正のクラスで発音が難しいLとRの練習を言葉や文を変えながらひたすらしていました。他の選択授業では、洋楽のクラスを取り、歌を聞き、どのように聞こえたかを書きました。私は洋楽が好きだったので、この授業が特に好きでした。



◀ホストマザーとステイメイト

### 衣・食・住

夏のバンクーバーの気候は比較的穏やか。

フィリピン人の家族の家に滞在しました。私の部屋には専用のお風呂とトイレがあり、シャワーはいつでも好きな時に使っていていいことや使用時間も特に決まりがなく驚きました。朝ごはんはパン、シリアルとコーヒーが置いてあり、自分の好きな時間に食べていました。平日のランチはサンドイッチとお水で、ホストマザーが作ってくれていたので自分で準備する必要はなかったです。ただ、朝も昼もメニューが全く変わらなかったのが途中で飽きてしまい、食べるのが辛かったです。夜ご飯は7時から8時の間に、私は一緒にステイしている日本人と韓国人の子たちとおしゃべりしながら食べていました。料理はキッチンに4品ほど置かれていて、自分の好きな物や好きな量だけ取るというスタイルでした。学生を受け入れ慣れている家庭だったので、寿司やうどんなどの日本食やチヂミやトッポギなどの韓国料理もありました。でも、お肉がメインの日が多かったです。夏のバンクーバーの気候は比較的穏やかで、8月から9月上旬までは気温が30度前後でジメジメしてなくとても過ごしやすかったです。中旬以降は徐々に雨の日も多くなり気温も朝晩は低く、服での体温調節が難しかったです。

### 休日・余暇の過ごし方

イベントのボランティアを経験しました。

平日の放課後は友達とカフェに行ったり喋ったり、買い物を中心に行きました。また、語学学校から徒歩で15分くらいのところにグランビル・アイランドという観光スポットがあり、その中には市場やお店もたくさんあったので食べ物を買って外のベンチでのんびりしたり、ビーチ沿いを散歩して夕日を眺めたりしました。休日は活動的に行動しました。ハイキング、テーマパークやバンクーバーから少し離れた場所にあるビクトリアやウィスラーにも行きました。他にも「日系祭り」という日本の夏祭りを体験してもらってイベントのボランティアを経験しました。お客さんは日本人の方もいましたが、それ以上に外国人の方が多く来場されていました。学校以外で英語を使う良い機会でしたが、お客さんの英語が聞き取れなかったり、言いたいことが思うように伝わらず苦戦することもありました。その分もっと勉強を頑張ろうとモチベーションの向上にも繋がったと思います。後日、ボランティアのメンバーで打ち上げも兼ねて公園でBBQをしたのですが、イベントの時間に関わりがなかった人やカナダ人の方と友達になることができ、とても有意義な休日を過ごすことができました。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：バンクーバー
  - 研修期間：2014年8/18～9/19【33日間】
  - 研修講座・コース名：IHV-30 Intensive
  - 宿泊形態：ホームステイ
  - 費用概算
- |             |          |
|-------------|----------|
| ＜必要な経費＞     |          |
| ・研修費(滞在費含む) | 567,000円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 5,000円   |
| ・交通費        | 21,000円  |
| ＜合計＞        | 593,000円 |
| 助成金支給額      | 400,000円 |
| 自己負担額       | 193,000円 |



思い出スナップ

州議事堂  
in ビクトリア▶

▼ウィスラー



▶ボランティアのメンバーと



### 得たもの・学んだもの

困ったことや言いたいことは、ちゃんと言う。

この研修で、間違いを恐れないで積極的に英語を喋ることが大事だと思いました。カナダは移民や留学生がたくさんいます。現地の人も留学生に慣れているので、つたなく間違った英語でも最後までちゃんと聞いてくれます。さらに学校では、自ら進んで発言することも大事だと思います。私は、授業中、分からないことがあったら、その時その日のうちに必ず質問して疑問を解消していました。先生も質問されるのが大好きみたいで、喜んで質問に答えてくれました。また、ホームステイ先では遠慮せずに困ったことや言いたいことがあれば、ちゃんと言うことが必要だと感じました。私のホームステイ先は洗濯が週に1回だけだったので、最初の週に洗濯物を出したらその日のうちに返ってくるのがなかったので、困りました。なので、洗濯物はいつ手元に戻ってくるか次の週から洗濯物を出す時は日曜日の夜までには返して欲しいと何度もしつこく言い続けました。ホストマザーも嫌な顔することなくokayと言ってやってくれたので、なんでも言うべきだと思います。

学校の受付▶



### 後輩へのアドバイス!

日本で何が起きているか新聞などを読むと良い。

渡航前に必ず英語に触れておいた方が良いでしょう。TOEIC対策でなく、大学の外国人の先生と話したり、現地で使えるフレーズを自然に出てくるようになるまで練習したり、英語を話すことに対して少しでも慣れての方がより一層留学生生活を満喫できると実感しました。また、語学学校の授業では必ず、日本の事や自分の地域の事について聞かれたり話す機会があると思います。その時に困らないように、地域の有名な物や風景を写真に収めたり、日本で何が起きているか新聞などを読むこともお勧めします。気候に関しては、夏のバンクーバーは過ごしやすいと思いますが、朝晩と昼の気温差がかなり激しいところも多々あります。半袖の服だけでなく上に羽織れるものは必須でした。9月中旬からは一気に寒くなり、ニットの服なども持って行けば良かったです。参考文献は特にありませんが、ガイドブックは1冊、薄くて軽いものを持って行くと、いざという時に便利だと思います。渡航前にネットで現地の事について情報収集し、本にメモを残すのも良いかもしれません。

### もう一言!

レストランではチップを払うことが多い。

バンクーバーは、日本と比べWi-Fiの普及率が高く、カフェやレストラン、ホームステイ先(家庭によってことなる)では普通にインターネットが使えます。語学学校でもネットは繋がるので、ルーターを日本でレンタルなどして持って行かなくても不自由ないと思います。また、レストランではチップを払うことが多いですが、テーブルに持って来てくれる請求書をよく見て、チップ代が含まれた金額がそうでないかを確認すると良いと思います。その事を知らないとしつこく多めに支払ってしまい、損するかもしれません。カナダは移民の国なので、たくさんの国籍の人がいます。バンクーバーにも多くの日本人が住んでいるので、日本の食べ物は高いですが売っています。それよりも日本・松山と比べ、様々な国の料理を食べることができるので、珍しい国の料理に挑戦してみるのもおすすめです。



▲お世話になった AM class の先生と

概要

申込み

受講許可後(事前準備)

留学中及び研修後の手続き

研修報告書 短期語学研修講座

研修報告書 学生海外語学研修助成制度(春季・夏季)

研修報告書 派遣留学制度

巻末付録



# カナダ

## LSI バンクーバー校

Language Studies International, Vancouver



薬学部 医療薬学科  
2年次生  
**吉岡 俊彦**  
(私立土佐高等学校出身)  
Toshihiko Yoshioka



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：バンクーバー
- 研修期間：2014年8/11～9/5【26日間】
- 研修講座・コース名：インテンシブ30
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) ……634,000円
- ・渡航準備・査証取得費 …… 11,000円
- ・食費 …… 26,000円
- ・交通費 …… 20,000円
- ・その他 …… 59,000円
- <合計> **750,000円**
- 助成金支給額 …… 400,000円
- 自己負担額 …… 350,000円



思い出スナップ

▼カナダの伝統料理  
プーティン



▲少し治安の悪いチャイナタウン



▲午前中のクラスでの集合写真

#### 研修機関や授業

放課後は自由参加のアクティビティ。

LSIでは、2種類の授業がありました。午前中2時間の文法の授業と午後2時間の会話の授業です。日本では、もう文法を習い終わっているのだから、文法の授業は、簡単に感じるかもしれませんが、午後の授業は会話を中心とした授業です。最初のうちは、授業で何をしているのか、クラスメートが何を質問しているのか分からないかもしれません。なので、集中して、授業に取り組んでください。聞き取れなかったり、わからなければ些細なことであろうと聞くべきです。授業に直接関係ないことでも、ちゃんと聞いてくれます。学校の初日に簡単なテストと面接のようなことをして、文法と会話のレベルを確認されます。その結果に基づき、クラス分けされて、基本的にそのクラスで期間中勉強することになります。クラスのレベルとしていくつかあるので、自分のクラスで難しすぎたり、簡単すぎると自分にあったレベルに戻すことが出来ます。放課後には、学校企画の自由参加のアクティビティがあり、毎日参加しても楽しめることでしょう。

アクティビティに参加することで友達もとても増えるので参加したほうがいいでしょう。



▲午後のクラスでの集合写真

#### 衣・食・住

アルコールは決められたところでしか飲んではいけない。

ホームステイ先では、1週間に1度洗濯をしてくれるというものでしたが、ホストファミリーが忙しくないときにしてくれるような感じで、週に2回は洗濯してくれました。他のところでは、週2程度で自分で洗濯するところもあります。食事に関しては、朝はシリアル。昼は、授業の間に食べに行く、もしくは、学校に食べ物を持っていく。夜は、ホストファミリーとごはんを食べるか、友達と外食でした。カナダの食事は、ピザやバーガー、サンドイッチなどが主でした。日本食レストランも少し探せば見つかるので、日本食が恋しくなったときにも大丈夫です。寿司も有名ですが、一般に寿司という巻かずしで、カリフォルニアロールに近いです。バンクーバーでは、アルコールは決められたところでしか飲んではいけないという法律があるので注意してください。基本的に店だけです。19歳以上という証明のできる物を提示しないとダメです。店でオーダーすることは、結構な勉強になります。日本よりも自由に会話

をしてきたり、ネイティブスピーカーと話せる機会でもあるので、楽しんで注文してください。

#### 休日・余暇の過ごし方

北の郊外に行くと自然がいっぱい。

バンクーバーは、都市ですが、北の郊外に行くと自然がいっぱいあるので休日には、北に行くことを薦めます。スタンリーパーク、リンキヤニオン、グロウスマウンテン、キャピラノ吊り橋、ディープロコブなど有名なところがたくさんあります。野生のうさぎ、コヨーテ、クマ、スカンク、アライグマなどがいたりします。また、少し遠出をするなら、ピクトリア、ウィスラー、カナディアンロッキーなどもあり、観光するところがいっぱいあります。数日間かけて観光に行くこともでき、行って来た人はみな行くことをすすめてきます。学校でのアクティビティもあり、自由参加ですが、どのアクティビティも楽しいです。どこに行くのがいいかわからなかったら、アクティビティに参加しましょう。少し時間の空いたときには、ダウンタウンを散歩することも日本との違いを感じることができ、楽しめます。近くに海岸があるので、毎日気軽に海を見に行くことができます。きれいなサンセットも見えますし、道で音楽を奏でている人もいて、楽しめますよ。しっかりと事前に行きたいところを調べ、休日を過ごしてください。

#### 得たもの・学んだもの

特にリスニング能力は、上がりました。

この研修で、たくさんの外国人と会話し、たくさんの違いを感じることができました。ホストファミリー、注文、友達とはもちろん英語のみの生活だったので、英語の能力はすごく上がりました。特にリスニング能力は、上がりました、会話をするにも、注文をするにも一番使う能力なので、ありがたいなと思います。それに備え、一番用意しておいたほうがいいと思ったのも、リスニング能力です。英語のほかにも、他の国の文化の違いやそれによる考え方の違いに興味を持ちました。だいたい共通していたのは、積極性、感情表現豊かということです。その点も、自分に取り込むことができるでしょう。疑問に思ったことは、聞くこと。したいことは、すること。その積極性は、自分のためにもなるでしょう。カナダでの初めての1週間は、もちろん環境の違いによる感動と共に落胆も訪れるでしょう。それは、自分の英語力によるものです。聞き取れませんが、そこでめげずに聞き続けてください。自分でも不思議と聞き取れるようになります。



◀カナダプレイスでの日本アニメーションのコスプレ

#### 後輩へのアドバイス!

シャイになるな。とよくいわれましたが、その通り。

まず期間ですが、長ければ長いに越したことはないと思います。1か月の留学でしたが、徐々に楽しくなってきた、帰るのが切なくなりました。最初の1週間については、慣れて友達を作るのが優先だと思います。シャイになるな。とよくいわれましたが、その通りです。日本人は、シャイで話しかけにくいという人な人に言われました。学校に来ている外国人も英語を習いに来ているので完璧ではありません。おどおどする必要はないので、話しかけてください。せっかく行くのなら楽しみながら学んでください。英語がある程度できる人は、外国人の英語に心を折られないようにしてください。どんな人も最初ははっきり聞き取ろうとして失敗すると思います。でも、あきらめないでください。そのうち聞き取れ、ちゃんとコミュニケーションが取れるようになります。シャイにならず、楽しんで英語を学んでください。



◀有名な吊り橋のあるキャピラノ

#### もう一言!

朝・夜は、夏用の服装では寒すぎる。

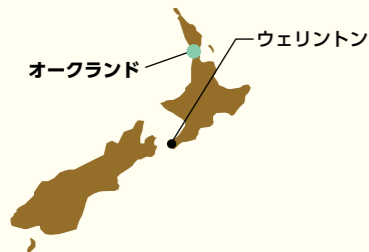
前もって説明されていた通り、LSI校では、Wi-Fiがあり、携帯が使えました。時々、調子が悪く、一日中使えないという人もちらほらいました。自由に使えるパソコンもあったので、そこからネットを利用するのもいいと思います。基本的にホームステイ先では、Wi-Fiが使えます。ホームステイ先の住所、連絡先が分かたら、メールを送るべきです。質問をするのも、前もって挨拶しておきましょう。アクティビティでは、運動をすることもあるので、運動用の服を荷物に入れておきましょう。9月から徐々に寒くなるので、朝・夜は、夏用の服装では寒すぎるでしょう。服も買うことはできますが、外国人は、日本人に比べサイズが格段に大きいので、サイズを探すのに苦労するかもしれないので、持って行って損はないでしょう。最後に、語学学校には、日本人も多くいますが、外国人もいます。日本語で絶対に話さないでください。学校でも外でも、何をしに行ったのかを考えてください。



# ニュージーランド

## クラウンイングリッシュ

Crown English



人文学部  
英語英米文学科  
4年次生  
**渡辺 奏**  
(愛媛県立野村高等学校出身)  
So Watanabe



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：オークランド
- 研修期間：2014年9/1～9/26【26日間】
- 研修講座・コース名：インテンシブコース
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) …… 471,000円
- ・食費 …… 10,000円
- ・交通費 …… 31,900円
- ・その他 …… 15,500円
- <合計> **528,400円**
- 助成金支給額 …… 400,000円
- 自己負担額 …… 128,400円



思い出スナップ



▲映画ホビット撮影地



▲公園の羊

#### 研修機関や授業

英語のみを使用することが暗黙のルール。

研修機関は Crown English というオークランドシティ内にある英語学校でした。学校の国別生徒の割合は日本人 40%程度で、あとは中国人、韓国人、ベトナム人、ドイツ人、フランス人などが学んでいました。Crown はネイティブ向けの授業も行っており、学校にはネイティブも通っていました。校内のカフェテリアでは他機関の生徒と共有していたので、ネイティブと交流する機会や新しい友人をつくられる場としては最適な環境でした。私が受講したコースはインテンシブコースというものでした。内容は午前と午後約2時間ずつ授業を受ける形でした。午前は一般英語で指定の教科書を利用しながら reading writing listening speaking をバランスよく学習していきました。午前は conversation コースを受講しましたが、テーマに沿って会話やディスカッションを行いました。日本人が多かったですが、基本的にクラスルームでは英語のみを使用することが暗黙のルールになっていたため、学習環境としては良かったと思います。



▲クラスメートと

#### 衣・食・住

食料雑貨から洋服までほとんどの商品が高い。

私はホームステイを利用していました。NZ は Wi-Fi 設備が発展途上のため、日本のように速くなく、値段も高額です。だから、公共施設のみでの利用か、契約をして有料で利用するかの二択になるかと思っています。また、学校のシステムとして、ホームステイ先を変えたい場合には 50 ドルで引越しができるとのことでした。2回目以降は無料だと聞いたので、必要に応じて気軽に利用できるかと思っています。NZ は九月から春でしたが、夏季留学を利用する場合は、服装に関しては冬服でいいと思います。思った以上に寒いので、着込んで入国の方がよろしいかと思っています。また、物価に関しては、シティ内は食料雑貨から洋服までほとんどの商品が高いので、日本で買った方がいいと思います。食事に関しては、多国籍な料理だったと思います。アジア系の料理を中心に、ヨーロッパ系の料理もありました。現地料理というようなものは特になかったですが、ラム肉やキウフルーツなど特産品にあたるものは美味しいと思います。現地研修中は、特に不味いと思うことはなく、日本人に適した食事が多いと思いました。



◀酒場

#### 休日・余暇の過ごし方

簡単な登山や羊のいる公園などに行ってアウトドア。

休日は、生徒によって過ごし方は異なりますが、学校の有料トリップを利用したり、シティ内の図書館で勉強したり、友人と出かけたりしていました。入学時にシティ周辺の地図を頂くのですが、それを見ながらシティ周辺を歩くのも良いと思います。少し町を外れると自然が豊かなところになり、登山可能な死火山や丘、美しい景観が見られる場所が多数存在しています。私の場合、一週目はスクールトリップを利用しました。スクールトリップは学校主催のもので、日帰り旅行から二泊三日まで週ごとに様々なイベントが設けられていました。金額は 100 \$ ～と少し高額ではありますが、多国籍な旅行なので会話などでも勉強になりますし、充実した休日になると感じます。2週目以降は、簡単な登山や羊のいる公園などに行ってアウトドアを楽しみました。学校で友人をつくり、休日に出かければ楽しみながら学べるので良いと思います。また、図書館等の公共施設はほとんど無料で利用可能ですし、Wi-Fi も完備されているので、上手に利用することが大切だと思います。

#### 得たもの・学んだもの

コミュニケーションを取る姿勢を貫くこと。

私は今回の留学では speaking と listening を重視して学習しました。クラスだけでなく、学校生活でも英語で話す機会を設けて他国の生徒と交流しました。英語を話しているうちに分かったことは、文法事項や言っている内容がめっちゃくちゃでも、言いたいことは何となく伝わることです。単語と伝え方一つで今何を言いたいのかということは理解してくれると気づきました。私が今まで speaking が苦手だと感じていたのは、綺麗な語順できれいな発音で話さなければいけないと思っていたことにも原因があったと思います。コミュニケーションを取る姿勢を貫くことが、まず重要な要因なのかなと分かりました。加えて、会話を円滑にするために文法や発音を学習することが必要かと感じました。listening に関しては、学校生活、ホームステイ先、外のすべてで英語が聞けるので自然と学習できました。大切なことは積極的に英語に触れることだと思いました。一人の時間をつくらず、できるだけ英語の環境にいる必要があると分かりました。



◀シティ風景

#### 後輩へのアドバイス!

学ぶ時は、日本語を考えない、話さないことが必要。

入学初日にカウンセラーの方に一つのアドバイスを頂きました。「一人で考え事をするときも、英語で考えるようにしなさい」と言われました。それは常に英語の脳にすることと、英語の環境に居続けることを意味します。実際に実践してみると、私自身あまり実感はないのですが、以前よりは自分の言いたいことが早く頭に浮かべられるようになったかと思っています。留学のある週から、頭の中で日本語から英語に翻訳するのではなく、頭に浮かべた情景をそのまま英語にして、話すトレーニングをしました。頭の中で英語を浮かべて話すことは非常に大切な事だと考えます。私が感じたことは、学ぶ時は、日本語を考えない、話さないことが必要かと思いました。留学中は、日本語を使用することは必要最小限にとどめ、英語の環境に身を置き続けるように心がけてみてください!

#### もう一言!

speaking と listening をもっとするべき。

今回 4 週間の研修を経て、英語のスキルアップだけでなく、自分の中の言語の「価値観」により磨きがかかった気がします。留学以前は、TOEIC 等の資格のための勉強として英語を学んできました。いいスコアを獲得するためにリーディングとリスニングを中心に学習してきましたが、留学をして感じたことは、英語でコミュニケーションを取りながら学ぶことは国際的な感覚があって楽しく感じましたし、大切なことだと改めて思いました。結局、言語は人と人のコミュニケーションであり、根本としてコミュニケーションを取れることは最も重要なことだと思っています。つまり、私は speaking と listening をもっと重要視するべきだなと感じました。また、英語だけでなく、第二言語も習得できたら、より交流が深まるために、今後機会があれば学びたいなと思っています。資格のための勉強だけでなく、英語をコミュニケーションとして実際に使う機会に出くわした時に使えるように、これからは勉強していきたいと思っています。



◀ホームステイハウス



# フィリピン

## ストーリーシェア

Story Share



経営学部 経営学科  
4年次生  
**小田 航平**  
(愛媛県立西条高等学校出身)  
Kohei Oda



### 研修機関や授業

サイクルラーニングと  
言われる独自のメソッド。

研修機関であるストーリーシェアは住宅街にある大きな家を丸ごと学校にしています。授業スペースはリビング、庭それから自分の部屋となります。私は好んでリビングにあるソファの上でリラックスした状態で授業を受けていました。この学校ではサイクルラーニングと言われる独自のメソッドを取り入れており、何度もフレーズを口に出させることで記憶に定着させようというメソッドです。具体的に言うと、先生に聞かれた質問に対し解答し、先生がスイッチと言うと逆に先生に質問を提示しなければなりません。この練習を続けると即座に英文を作ることができるようになります。その他にも、他校にはない発音クラスもあります。単語のブレンディングや発音記号、アメリカンアクセント等も教えてくれます。私はフィリピンの語学学校2校に行ったことがありますが、

他校と比較し先生の勤勉度、教え方が上手いと思います。というのも、この語学学校では先生は先生同士で教え方のトレーニングをする時間を設けており、あきコマに英語の学習をしている姿を見ることもありました。先生たちはちょっとしたミスにも細かく反応し辛抱強く、的確に直してくれるので非常に助かりました。



◀日本では見ない  
様々な果物

### 衣・食・住

洗濯物はあっという間に  
乾いてしまいます。

フィリピン・セブは常夏ということもあり半そで、短パンで毎日過ごしました。使用した服は1キロ80円程度で洗濯をお願いすることができます。また、近くのランドリーショップを利用することもできます。私の場合は手洗いで済ませ部屋に干してしまっていました。夏ということもあり、あっという間に乾いてしまいます。温暖なフィリピンは湿度も高いためユニクロのエアリズムがあれば重宝します。食事は学校で動いているアテという掃除、洗濯など私たちの周りの面倒をみてくれる人が作ってくれます。ストーリーシェアは日本人経営の学校であるため毎日おいしい日本食をふるまってくれます。また、僕は干し梅を持参していましたが、その他にインスタントの味噌汁やお茶漬けのもとを持っていくと良かったかなと思います。その他にも、風邪をひいたときのためにポカリスエットの粉、薬、体調を整えるためにパーカーなんかがあるといいでしょう。私の部屋は一番高い部屋でしたが、他の部屋と大差ないように感じました。違いは収納スペースが無駄に多いことぐらいです。日用品は基本的に現地で全てそろえることができます。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：セブ
  - 研修期間：2014年8/18～9/12【26日間】
  - 研修講座・コース名：8+2時間コース
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) ……322,000円
  - ・渡航準備・査証取得費 ……14,500円
  - ・食費 ……5,000円
  - ・交通費 ……4,000円
  - ・その他 ……24,000円
- <合計> **369,500円**  
助成金支給額 ……298,490円  
自己負担額 ……71,010円



食べ放題はお酒も頼んで1,000円▼



▲セブ最大のショッピングモール、アヤラモールにて

### 得たもの・学んだもの

日本には出会えない  
ような方々との出会い。

僕は10カ国以上の国々を訪れさらに、今回の留学を含めるとフィリピンに来たのは3回目となります。初めて訪れたような感動はありません。だからと言って、今回の研修で得たものはないのかというと、そんなことはありません。今回の留学の目的は「新たな出会い。そしてその出会いから何か一つでも学んでくる、気付きを得る」ということでした。到着当初、ストーリーシェアには僕を含め大学生は3人、その他は皆、社会人の方でした。フィリピン留学に来ている方は個性的な方が多く、高校・大学の講師、大手企業で活躍していた方、普通の主婦に、定年退職をされて英語を学びに来た方々まで様々なキャリアの方がいます。日本には出会えないような方々と出会い、経験を伺ったり、議論をしたり、自分の考えを発言したり、来年から始まる仕事の取り組み方等アドバイスを頂いたり、自分より年上の先輩方とお話をして学べることは多く、有意義なものです。



▲1kg200円のマンゴー。超うまいよ。



◀フィリピンの伝統料理、豚の丸焼き

### 後輩へのアドバイス!

まずは日本を出てみる  
ことが大切。

留学の目的を語学力の向上ととらえる学生は多いのですが、それだけではもったいないなあと私は思います。もちろん語学力の向上は重要なことであるとは思いますが、そこにフォーカスしすぎ様々な出会いやチャンスを逃してしまうことのもったいないことです。私は海外に出るきっかけは何でも良いと思っています。まずは日本を出てみるのが大切です。次に、多くの人との出会いを持ってください。海外には自分の想像、考えをはるかに超越した人たちがたくさんいます。そこで、私たちは自分の無力さと、可能性に気づくことができます。まずは、自分の無力さを知ること、そして素直に相手の話に耳を傾け、多くのことに興味を持ち、またあらゆることに自分の考え、意見を持つことが大切です。学生のうちにできるだけ様々な大人の方々とお話をすることで言葉使いや、所作、教養を身につけることができます。

### もう一言!

その国ではその国の常識  
で行動するように。

現地のインターネット環境は学内に限って言うと、Wi-Fiが飛んでいるため困ることはありませんでした。また、屋外でインターネットを使うためにはコーヒESHOPやレストランに入ると容易にWi-Fiをキャッチすることができます。これらの場所でインターネットを使う際はパスワードが必要なため店員さんに尋ねてください。親切に教えてくれます。どこかに出かける際に携帯を所持すること自体は大丈夫なのですが、夜道に携帯を取り出し日本と同じ感覚では痛い目を見るかもしれません。海外ですので、そもそも常識が異なります。その国ではその国の常識で行動するように心がけてください。また、日本との連絡に関してはWi-Fi環境さえあれば可能ですので、日本で海外用の料金プランに変更する必要はありません。LINEを使えば、日本との電話に関しても無料で行うことができます。このカードを持っていれば、どのATMからも現地通貨でお金を引き出すことができます。



◀ストーリーシェアになつたネコ

概要

申込み

受講許可後  
(事前準備)

留学中及び  
研修後の手続き

研修報告書  
短期語学研修講座

研修報告書  
学生海外語学研修  
助成制度(春季・夏季)

研修報告書  
派遣留学制度

巻末付録



# スペイン

## エンフォレクス・マドリッド

Enforex Madrid



人文学部 社会学科  
3年次生  
**曾我部 恭平**  
(愛媛県立新居浜東高等学校出身)  
**Kyohei Sokabe**



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：マドリッド
  - 研修期間：2014年8/18～9/12【26日間】
  - 研修講座・コース名：インテンシブ20
  - 宿泊形態：ホームステイ
  - 費用概算
- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| <b>&lt;必要な経費&gt;</b> |                 |
| ・研修費(滞在費含む) ……       | 486,000円        |
| ・渡航準備・査証取得費 ……       | 7,000円          |
| ・食費 ……               | 30,000円         |
| ・交通費 ……              | 20,000円         |
| ・その他 ……              | 47,000円         |
| <b>&lt;合計&gt;</b>    | <b>590,000円</b> |
| 助成金支給額 ……            | 400,000円        |
| 自己負担額 ……             | 190,000円        |



思い出スナップ



▼ゴールドバの白い家



▲アルカラ門を背景に

#### 研修機関や授業

授業では会話半分、テキスト半分といった感じ。

私が通ったのは enforex という学校でした。様々な国から来ているため国際色豊かな学校です。近くに地下鉄が歩いて5分程度のところにあるので遠くから来る人は地下鉄を利用していました。校内は10人程度入れる小さな部屋がいくつもあります。また、休憩できるスペースも設けられています。休憩時には人で混み合います。お菓子やジュースを買う自動販売機があり、周辺には大学があるため学生で賑わっています。クラス分けテストの内容は選択の問題と実際に先生と話すテストが合わせて1時間程度行われます。ペーパーのテストの内容はスペイン語6級、5級レベルだと思います。その二つをもとにクラスが分けられます。授業は基本スペイン語です。先生によれば英語で説明もしてくれます。教科書の後半から始まりました。授業では会話半分、テキスト半分といった感じです。会話の方がやや多いと思います。クラスでは主に簡単な会話ができるレベルを目標にしています。講師の先生はボードに適当に単語を書いていた。私は午前9時半から11時20分と11時40分から13時半までと途中から2時半から4時20分と4時40分から6時半まででした。



◀マドリッドで食べたパエリア

#### 衣・食・住

朝食はとても質素。夕食はスペインの家庭料理。

スペインは毎日晴れて暑く、雨が降るとはめったにありません。服装は半袖に短パンでした。あとは日差しが強いのでサングラス、日焼け止めは必須です。朝夕、冷えるときもあるので羽織るものがあればいいでしょう。食事はホームステイだったので朝夕はマザーが出してくれました。朝食はとても質素でした。私の場合コーヒーと箱のなかにビスケットやマーマレードなどが適当に入れられていてとって食べる感じです。昼は自分で好きなところへ食べに行きました。バルなど比較的安い所が多いです。いいところを探してみてください。夕食はスペインの家庭料理が出てきます。毎日違った料理が出てきたのでうれしかったです。たまにお米も出てきて懐かしい感じがしました。とても美味しかったです。夕食は基本的に残さず食べましたが残しても問題はありませんでした。家の中はとても広々としていました。2人部屋が2つと1人部屋が1つ。私は1部屋でした。マザーはとてもいい人でした。トイレとシャワーが同じでひとつしかないため困りました。洗濯は1週間に1度でした。あと、タオルは貸してくれました。シャワーの時間や門限に縛りはなく、夕食後に友達とバルに出かけていました。



◀スペイン広場

#### 休日・余暇の過ごし方

休日は遠くへ出かけることが多かった。

午前中で授業が終わる時は昼からはマドリッドの街を散歩していました。ひとりでぶらぶらしてふらっとバルに立ち寄っていました。バルは本当に社交場でした。昼間から多くの大人たちがバルで立ち飲みをしたり外でご飯を食べたり自由だなと思いました。日本ではあまり見られない光景だと思います。最初はひとりでバルに入るのには勇気がいると思います。あとは、こちらの理容院へも行きました。値段は日本より安いところが多いです。これもなかなか勇気のいることだと思います。ぜひ、チャレンジしたい方は行ってください。自分のしたいスタイルを伝えるのは難しいと思うので写真を持参するといいです。平日はマドリッドを散歩。同じホームステイ先の友達が授業終わりにいろんな場所に誘ってくれたので助かりました。夜には enforex の友達と飲みに行ったりと一日中飽きないです。休日は遠くへ出かけることが多かったです。バルセロナ、セゴビア、ゴールドバへ私は行きました。どこへも電車を利用して行きました。ほかにもトレドやラ・マンチャなど比較的近くに行ける場所がありました。休日は毎週外に出かけていました。家にいると退屈すると思います。

#### 得たもの・学んだもの

とにかく迷ったら聞く、行動することが大事。

最初の1週間はステイ先でマザーが何を言っているのかわからず困りました。また、研修先でも授業で先生が何を言っているか理解できず大変でした。簡単な文でも聞き取ることが難しく感じました。夕食の時も何を話しているのかわからず発言できずどうしたらいいか悩みました。このままではいけないと思い前もって文を考えてマザーや友達に話しかけてみるように心がけました。登校する時や朝食の時に話をもちかけてみると耳を傾けてくれ本当に嬉しかったです。英語で聴き直してくれたり少しづつ会話する機会が増えていったと思います。とにかく迷ったら聞く、行動することが大事だと感じました。日本人は海外の人に比べて控えめだとすごく痛感しました。思ったことがあれば先生は話していいよと言ってくれます。黙ったままではどう思っているのかも理解できないです。語学の上達にも繋がらないです。研修を通して痛感したのは語彙の少なさです。いくら動詞を知っていてもそのあとに続く名詞で差があったと思います。



▲サグラダファミリア

#### 後輩へのアドバイス!

行く前にできるだけ語彙数を増やしておくこと。

英語も勉強できればしておく必要があります。もちろんスペイン語を勉強しに行くわけですが、スペイン語で理解することができなかつたり思いを伝えることができないことは出てくると思います。その時に英語で話すことがとても助かると思います。また、英語とスペイン語は似ている部分もあるので理解しやすくなると思います。私は簡単な英語しかできなかったため現地で困ったのを覚えています。他には行く前にできるだけ語彙数を増やしておくことが必要だと思います。自分の身近にあるものからでいいと思うのでこれっでスペイン語で何て言うのかなと疑問を持つことで楽しく覚えていくことができると思います。この留学で語学、文化すべてを学ぶことは難しいです。まずは語学を第一に考えることです。授業で文化・歴史を学べるコースもあるので興味のある方は是非受けてみてください。参考になった文献は「地球の歩き方」地下鉄に乗る際やマドリッド以外に行く時などとても役に立ちます。有名な料理、お土産も載っているので行く前に見ておくといいと思います。

#### もう一言!

マドリッドの人たちはとても優しい。

私は今回、海外留学が初めてでした。スペインは日本と違うことがたくさんあります。お店にトイレがなかったり慣れないことも出てくると思いますがそれも経験だと思います。でも、マドリッドは治安はそんなに悪くはないと感じました。渡航前、すりなどにとっても心配していましたがそういったことを聞いたりもちろん自分も被害はありませんでした。むしろ、マドリッドの人たちはとても優しいと思いました。行けばわかると思います。しかし、油断は禁物です。いつ何が起るかわからないので自分の身は自分で守るようにしてください。現地のスーパーで水分や化粧品など身の回りのものは調達可能です。こちらで買うより安く売ってるものもあります。例えばシャンプーやボディソープは量が多くて安いです。スペイン語表記なので間違えないようにしてください。携帯は学校とホームステイ先ではネットが無料で使用できました。それ以外で利用したい方はWi-Fiルーターなどを持参すればいいでしょう。無料で使えるお店もあります。他に聞きたいことがあればぜひ僕のところまで。



▲グエル公園のモザイク絵



# ドイツ

## BWS ジャーマンリングア

BWS Germanlingua



人文学部  
英語英米文学科  
2年次生

山下 和

(愛媛県立松山北高等学校出身)  
Nodoka Yamashita



### 研修機関や授業

復習も行うので習ったことをしっかり定着。

私が通っていた BWS Germanlingua はベルリンの中心地にありとても便利でした。学校は思っていたよりも小さかったです。しかし、休み時間になるとフロアのソファにみんな集まって話をしているととても溶け込みやすい雰囲気でした。私が行ったときは日本人はほとんどおらず不安でいっぱいでした。しかし、その環境だからこそ自分から積極的に行動できたのだと思います。クラス分けのテストは事前にオンラインで受け、私は A1 のクラスに振り分けられました。授業の内容はあまり難しくありませんでした。しかし、もちろん授業中全てドイツ語で進められるので日本語でいう助動詞や不定形などの文法用語がわからず、慣れるのに少し時間がかかりました。先生は、月曜から水曜担当の先生と木曜、金曜担当の2人の先生がいました。1人の先生は授業中単語で発言するのではなく、正しい文で発言するようにと speaking に重点をおいていました。また、前の日にやった内容の復習も行うので習ったことをしっかり定着させることができたと思います。時間割は1コマ目が9時半から11時までの90分間、30分の休み時間がありその後2コマ目が11時半から13時までの90分間でした。私はインテンシブコースだったのでそのあと15分間の休みの後に3コマ目の13時15分から14時までの45分間授業を受けました。わからないことはなんでも担当の人に聞くことができるので全体的にとっても過ごしやすい学校でした。

### 衣・食・住

ドイツは室内がとても暖かい。

ドイツの冬はとても寒いと聞いていたのですがかなり暖かい衣服やロングブーツを持参しました。しかし、今年の冬は異常に暖かかったようで日本とほとんど変わらず、むしろ日本よりも暖かかったかもしれません。私が出た6週間は雪を見ることもなくほとんど雨も降りませんでした。しかし、去年は4月ごろまで雪が積もっていたそうです。そのため、年によって気候が大きく異なるので渡航前に調べておくとよいと思います。また、ドイツは室内がとても暖かく半袖で授業を受けている人もいるくらいなので、温度に合わせて脱いだり着たりできるものを持っていくことをお勧めします。食事は、14時に授業が終わるのでその後みんなでご飯を食べに行っていました。ベルリンには様々な多国籍料理屋さんがあり、日本食や中華を食べることもできます。また、ベルリンで有名なカリーブルストや、ハンバーガーなどのファストフードで食べることもありました。1食の量が日本とは違いとても多いので、夜は軽めのものを食べていました。寮は1人部屋があり、キッチン、トイレ、バスルームが共用でした。ベルリンのSバーン、Uバーンと呼ばれる電車は1日中動いているのでとても便利です。1か月間乗り放題のMonate カルテを買って移動していました。



◀シャルロッテンブルグ城

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ベルリン
- 研修期間：2014年2/3～3/14【40日間】
- 研修講座・コース名：German Intensive Course
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) …… 565,000円
- ・食費 …… 50,000円
- ・交通費 …… 26,000円
- ・その他 …… 56,000円
- <合計> 697,000円
- 助成金支給額 …… 400,000円
- 自己負担額 …… 297,000円



思い出スナップ

ドレスデン▶



▲ドイツ料理

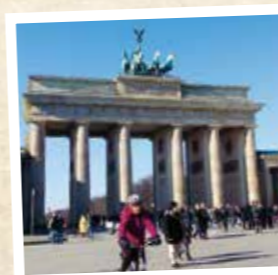


▲お別れパーティ

### 得たもの・学んだもの

私の人生について考える良いきっかけ。

私はこの研修で、一歩踏み出すことで日本では出会えなかったたくさんの人達に出会うことができました。研修先でできた友達と一緒にドイツ語を勉強したり、ご飯を食べたり、観光をしたりとても楽しい日々を過ごすことができました。また、ドイツ人だけでなく様々な国籍の人との出会いの中で文化の違いや考え方の違いを知り、自分の中で変化があり考え方の幅が広がりました。それはこれからの私の人生について考える良いきっかけにもなりました。そして、もっとドイツ語、英語でコミュニケーションができるようになりたい!と語学に対する勉強の意欲も強くなりました。また、研修校選びや渡航経路などの計画から現地での研修、帰国までを全て自分で行わなければならないこの助成金制度に最初は不安がありました。しかし、実際に国際センターの方々やドイツ語の先生など多くの方々に支えられながらではありますが、自分の力で充実した研修にすることができ、今の自分に大きな自信を持つことができました。今回学んだことをこれからの生活に生かし、様々なことに挑戦したいです。



▲ブランデンブルグ門

### 後輩へのアドバイス!

日本人率の少ない学校を選ぶことをお勧め。

私の研修期間は6週間でしたが、現地ではとても短く感じました。なので、現地に到着して最初の1週間目から積極的に自分から行動することが大切だと思います。また、私が行ったときは学校に日本人がほとんどいませんでした。しかし、自分から行動を起こさざるを得ないこの環境が私にはとてもよい経験になりました。もし、日本人がいたらつい日本語で話をしてしまっていたかもしれませんが、なので、せっかく海外に行くのだからなるべく日本人率の少ない学校を選ぶことをお勧めします。また、私は2月の最初から3月の半ばまで語学学校に通っていたのですが、私の通った学校では月初めに多くの学生がやってきていたので、月初めからスタートすると溶け込みやすいかもしれません。また、文法ももちろんですがドイツ語でのコミュニケーションの復習をしておく、様々な場面に困らず意思疎通ができると思います。



▲カーニバル

### もう一言!

FacebookやWhatsAppを入れておくと便利。

研修地に行く前にFacebookやWhatsAppという日本でいうLINEのようなアプリを入れておくととても便利だと思います。語学学校の人達とは基本的にこの2つのアプリで連絡をとっていました。また、もし近場の都市に旅行に行くのであれば電車を使うよりもバスを使った方が安く行くことができます。私はMeinFernBusというBus会社を使っていました。また、もしベルリンに行くのであればドイツ語の先生に紹介してもらった本で中村真人さんの「ベルリンガイドブック」という本がベルリンについて細かく書いてあってとてもオススメです。最初はためらいもありましたが、思い切って1人でドイツに行って本当によかったなと思います。今回、2回目のドイツへの留学でしたが、さらにドイツが好きになりました。また、ワーキングホリデーか旅行かはわかりませんが、必ずドイツに行きたいです。そのために語学の勉強を継続して頑張りたいと思います。また、このような機会を与えて下さり本当にありがとうございました。また、関わって下さった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

概要

申込み

(受講許可後  
事前準備)

留學中及び  
研修後の手続き

研修報告書  
短期語学研修講座

研修報告書  
学生海外語学研修  
助成制度(春季・夏季)

研修報告書  
派遣留學制度

巻末付録



# ドイツ

## ベルリナー ID

Berliner ID



経営学部 経営学科  
2年次生  
**南 萌子**  
(愛媛県立新居浜東高等学校出身)  
**Moeko Minami**



### 研修機関や授業

体感的にドイツ語を身に付けることが出来ました。

研修校の最寄り駅は、S Nordbahnhof、U Schwarzkopfstraße、Bus Gartenplatzでした。私の家の最寄り駅は、U Leopoldplatzでバスを使うと少し大回りにはなりましたが、学校の目の前で下車することができたので、バスを利用していました。学校は、赤い建物で、同じ敷地内に幼稚園や大学がありました。大学の学食を、学生料金で使用することが可能で、学校内では無線のW-lanが利用可でした。初日に鍵のデジポット100€を預けなくてはなりません。授業については、私は、初日のプレースメンテストの後、A2のクラスに振り分けられました。コース内で中国人、韓国人は何名かいましたが、日本人は私一人だけでした。先生は、2人で月火水、木金で分かれていました。授業は9時から13時15分で、途中30分の休憩がありました。授業では、主に格変化を中心に学びました。ペアワークやクラス全体での学習が多く、実践的に学んでいくような形でした。授業中は、だれもが発言することが出来、間違ったりわからなかったりしたときは、みんなで助け合うような形で行われていました。水曜日の授業終了30分前からは、発音のみの練習時間がありました。私の苦手なところを中心に研修だったので、時々少し難しいときもありましたが、体感的にドイツ語を身に付けることが出来ました。授業は、もちろんドイツ語のみで行われ、余程わからないこと以外は英語での説明はありませんでした。クラスのほとんどが、ドイツ語学習歴2年以上で、日常会話程度なら支障のないような人がほとんどで、休憩中もドイツ語で話すことが多かったです。

### 衣・食・住

1人前を1人で食べるのはかなり大変。

服装については、9月上旬はTシャツ1枚で行動できていましたが、下旬はダウンジャケットにマフラーが要するくらい寒かったです。おそらく、ドイツ国内ではたくさん歩くことになると思うので、ジャケットは軽めの方が良いと思います。また、スカートなどではなく、ジーンズなどの動きやすい服装の方が良いと思います。洗濯に関しては、私の家は月に1回しか洗濯をしない家だったので、毎日手洗いをしていました。ドイツの家庭でも、月に1回は減量にないと思いますが、1週間、2週間に1回はよくあることなので、ホストファミリーで洗濯に関して気になる場合、事前にメール等で質問した方が良いかと思っています。食に関しては、家の近所でケバブを食べることが多かったです。お昼にケバブを食べると、1日持つので、夜はカレーヴルストなどの軽食で済ませることもありました。レストランにも何度か行きましたが、1人前を1人で食べるのはかなり大変なので、友達と一緒に行って分け合うのが良いと思います。ビールは、居酒屋のようなところでは比較的安く飲むことが出来るので、家の近くの店で良く飲んでいました。家の近くのレストランや居酒屋を把握しておく、軽く済ませたいときに便利かもしれません。住居に関しては、私はホストファミリーでしたが、WGの1室を貸りていた形だったので、もう一人住人がいました。週末はそれぞれの予定があったりしましたが、平日の夜でお互いが家にいるときには、夜遅くまで趣味や学校の話に花を咲かせていました。しばしば、発音や文法を間違ったりもしましたが、直してくれていました。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ベルリン
- 研修期間：2014年9/1～9/27【27日間】
- 研修講座・コース名：Intensivkurs Deutsch in Berlin
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) ……430,000円
- ・渡航準備・査証取得費 ……4,000円
- ・食費 ……30,000円
- ・交通費 ……223,000円
- <合計> **687,000円**
- 助成金支給額 ……400,000円
- 自己負担額 ……287,000円



思い出スナップ

ベルリンの森▶



▲ Marianne と



▲ Meine Lehrerin

### 得たもの・学んだもの

現地の母国語を話すことの大切さを感じました。

今回は2度目の渡独だったので、行く前に現地でドイツ語しか話さない、と目標を立てていきました。実際、英語はほとんど話さなかったです。また、去年は全くドイツ語が分からないままの渡独で、英語のみで会話をしていましたが、現地の母国語を話すことの大切さを感じました。文法は間違っていたり、単語しかわからなかったとしても、きちんとした発音で伝えようとする努力さえすれば、相手も理解しようとしてくれます。ただ、発音は本当に大切です。日本では、ドイツ語だけにかかわらず、多言語の発音をカタカナ読みしてしまいがちですが、これは現地ではかなりマイナスです。しっかりと、ネイティブの発音を聞いて真似することが一番だと思います。私も時々発音を直されました。-ch, pf, -rなどの発音は日本にはないので、現地ではかなり気を付けて発音していました。ドイツ人は討論好きなので、滞在先で夜遅くまでいろいろなことについて話すことが多かったです。去年は寮に滞在しましたが、今年ドイツ人と1か月間生活してみ感じたのは、政治や宗教に関して日本人よりかなり関心を持っているなと思いました。政治や宗教に関しての討論をしたときに、改めて日本人は意外と無関心なのではないかと思感しました。ホームステイでは、毎日ドイツ語を話す機会があったので、話す力も伸ばすことが出来ました。

### 後輩へのアドバイス!

授業では、限界まで辞書を使わないのがお勧め。

私の場合、助成金制度が確定した時点ではドイツ語検定4級の資格しか持っていなかったもので、まず渡独前に3級に合格するように努力しました。渡独前は、もちろん、話す力、聞き取る力を伸ばすのは大切ですが、文法や単語を覚えることによっても、話す力や聞き取る力の範囲が広がるとアドバイスを受けた。その言葉もあって、無事渡独前には3級を取得することが出来ました。後、渡独前にはドイツ語のアニメや映画をみたり日本の歌のドイツ語バージョンを聞いたり、短詩を読んだりしていました。アニメや映画からは日常生活で使えるようなフレーズや言い回し、単語がたくさん出てくるのでお勧めです。特に、「アナと雪の女王」のドイツ語のDVDを何度も繰り返して見ていました。ディズニーは覚えやすいと思います。参考文献は独検用の単語帳を覚えるだけでもかなり違ってくると思います。また、授業で使った教科書を見直すのも大切だと思います。授業では、限界まで辞書を使わないのがお勧めです。もし、意味がわからなかったら、その時に、先生やクラスメイトに質問してドイツ語で答えてもらうのが良いと思います。私は辞書で家に帰って理解できなかったところだけを調べていました。その方が、語学力が伸びると思います。

### もう一言!

日本らしいものを持っていくと話のネタになる。

宿泊先は、寮を希望していたのですが空室がなく、ホームステイに変更になりました。ホームステイといっても、WGの1室を貸りる形だったので、食事もついていなければ、門限もありませんでした。1つだけ困ったことは、洗濯です。ドイツでは、1～2週間に1回が平均的なのですが、私の家は環境問題に非常に熱心で月に1回だったので毎日手洗いをしていました。後、私の家ではBIO製品のみを使用していました。ドイツでは、BIO製品専門のスーパーがあり、値段は少し高めですが高品質なのでオススメです。インターネットは、家では使えなかった家近くのカフェで使っていました。ドイツでは、小さな個人営業の店でも無線LANが使えることが多いので、宿泊先で使えない場合、家の近くで探してみると良いかもしれません。後、日本から和柄の折り紙を持っていき、家の中で一緒に折ったり、最終日にクラスみんなに折ってあげたり、折り方を教えたりしました。折り紙の存在は知っている人が多かったのですが、和柄の折り紙を初めて見たという人が多く、とても興味を持ってくれました。なにか、日本らしいものを持っていくと話のネタになるので良いと思います。



▲ Ulla と

### 休日・余暇の過ごし方

カヌーに乗って、シュプレ川を遊覧。

休日は、学校のプログラムもありましたが、私はベルリン郊外にある、シュプレーヴァルト、ザクセンハウゼン強制収容所のあるオラニエンブルク、サッカー観戦、ポツダム、そして少し足を延ばしてミュンヘンのオクトーバーフェストに行きました。なにも予定がなければ、学校のプログラムに参加すると良いと思います。ですが、1か月間の場合それなりに行きたい場所などあると思うので、もし、どこかに行きたい場合は渡航前にインターネットで情報収集をしたり、地図のプリントアウトを持って行った方が良いと思います。ベルリン自体は、都会ですが、電車で少し1、2時間離れただけで自然を感じることが出来ます。ベルリンから、およそ1時間半のところあるシュプレーヴァルトでは、カヌーに乗って、シュプレー川を遊覧することが出来ました。シュプレーヴァルトでは、スラブ系の人々が今でも生活しているので、その様子も少し垣間見ることが出来ます。学校のプログラムは、週末だけでなく、平日も週1ぐらいのペースで開催されていましたが、だいたい11時過ぎぐらいから盛り上がっていました。平日は、学校があるので私はいつもだいたい10時過ぎには戻っていました。

Spreewald ▶

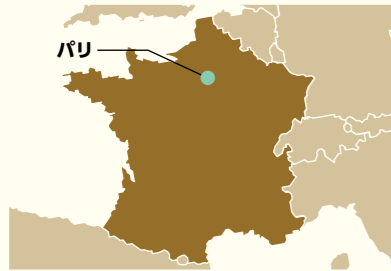




# フランス

## LSI パリ校

LSI Paris



人文学部  
英語英米文学科  
3年次生  
**赤堀 志野**  
(徳島県立城北高等学校出身)  
Shino Akahori



### 研修機関や授業

リスニングやディスカッションのような授業は難しかった。

授業の内容は、日によって様々でした。文法やリスニングを集中的に勉強する日もあれば、クラスメートと会話をする日もあり、またディスカッションのような授業もありました。文法は、知っている文法の知識だったので、難しいと感じることなく理解できましたが、リスニングやディスカッションのような授業は難しかったです。リスニングは最初の2週間くらいは難しく感じました。クラスメートのほとんどはブラジルもしくはヨーロッパ圏の人がほとんどでリスニングは彼らには簡単だったようでしたが、私は授業についていくのに必死でした。またディスカッションのテーマも日本の授業では扱わないような、人種差別についてや、若者の妊娠であったり、シェアハウスについてだったり様々でした。他国の生徒は積極的に発言していて、自分ももっと頑張らなければと思い、とても刺激を受けました。シェアハウスがテーマの時はアジア圏の生徒は私だけだったので、他国の生徒が興味をもってきて日本の文化について紹介する機会がありました。ただ、週によって授業のレベルがかなり違うように思いました。



▲オ・ラパンアジュール

### 衣・食・住

物価が高いわりに、パンだけは安く買える。

治安は思っていたより良かったです。ただ、地域によっては、観光客をねらったスリも多く、常に気を張っていました。帰宅するにあたって夜遅い時などはメトロを降りたあとは、かなり速足で歩くなどして自分なりに危険を回避するよう気を配っていました。8月下旬9月上旬の気候は日本よりもかなり涼しかったです。半袖を持っていききましたが、寒くてほとんど着る機会がなく、ジャケットが欠かせない毎日でした。朝夕は寒いと感じるときもありましたが、霧雨で日本のようなジメジメした感じはありませんでした。食事は、ほぼ毎晩ホームステイ先のごはんをごちそうになり、同じホームステイ先だったイタリア人の学生2人と食べていました。フランスの家庭料理は、パグットに何かおかず一品とサラダという感じでした。ごはんに比べるとパンはお腹がすぐ空きますが、フランスのパン屋さんでは、物価が高いわりに、パンだけは安く買えるので頻繁に行っていました。レストランで食べることは何度かありました。値段は結構高い(23ユーロくらい)ですが、料理はとてもおいしかったです。



▲エスカルゴ

### 休日・余暇の過ごし方

週末しか開いていない蚤の市に行きました。

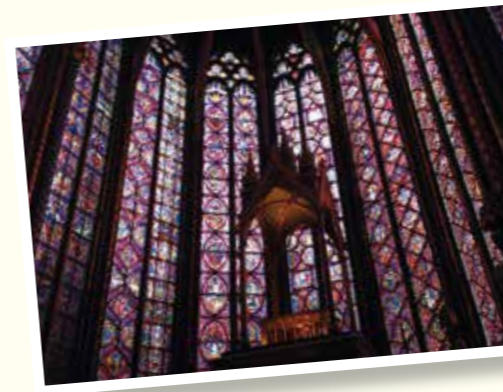
休日は、語学学校でできた友人と郊外に行ったり、週末しか開いていない蚤の市に行きました。パリで過ごす最初の週末はヴェルサイユ宮殿に行きました。ヴェルサイユ宮殿には、普段使っていたNAVIGOというメトロの定期が使えないので、チケットを買わなければなりません。休日のチケット売り場には、観光客がたくさんいますが、普段よりも多くのスタッフの方がいて説明してくれたので、スムーズにRERという郊外電車に乗ることが出来ました。帰りの空港に行くときにRERを使うので使っておいてよかったと後々思いました。私は行きませんでした。語学学校の友人は、フランスの田舎町に行っていました。RERでは行動範囲がかなり広がります。また、私のホームステイ先では、洗濯機を使えませんでした。パリはとにかく行くところがたくさんあるので、平日の授業のあとはほぼ毎日出かけていて、洗濯をする時間がなかったので、1週間に1度近くのランドリーに洗濯に行くこともありました。洗濯するのに時間もかかるのですが、辞書を持って行って洗濯機の説明書を読みながらみたり、他に使っている人と話をしたりと、結構好きな時間でした。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：パリ
- 研修期間：2014年8/18～9/12【26日間】
- 研修講座・コース名：スタンダード20
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む) …… 616,000円
- ・食費 …… 30,000円
- ・交通費 …… 20,000円
- ・その他 …… 50,000円
- <合計> 716,000円
- 助成金支給額 …… 400,000円
- 自己負担額 …… 316,000円



思い出スナップ



▼サントシャペル教会



▲パリの街並み

### 得たもの・学んだもの

行動に移すことで目標の達成に繋げること。

私がこの語学研修で学んだことは、行動に移すことの重要性です。私は、自分では何事にも挑戦する気持ちを持っていたつもりでしたが、他の国から来た人々や、自分がやりたいことに対して躊躇せず目的を果たすために行動する人々に出会って自分の行動力はまだまだだと感じました。フランス語の学習においても、もし簡単だと思われる単語の意味が分からなかったら、私はその場で解決することなく、後で調べようとして結局忘れてしまう、ということが多々ありました。しかし、フランスで出会った人たちは自分が分からないのであれば、すぐに質問して、その場で解決するために行動します。また、自分の将来の目標を達成するために何らかの具体的な行動を起こしていました。今まで同世代の海外の人とコミュニケーションを図る機会を持つことがあまりなかったので、とても刺激になりました。自分の将来を考え、それを行動に移すことで目標の達成に繋げられることを、これからも忘れないで何事にも取り組みたいと思います。



▲オペラガルニエの天井

### 後輩へのアドバイス!

最低限行ってみたいところをピックアップして行く。

私は、渡航前からフェイスブックの語学学校のページにいいね!を押して、記事を読んで、語学学校の雰囲気をチェックしていました。また、ガイドブックは地球の歩き方を参考に、自分が研修地に行ったときに、最低限行ってみたいところをピックアップして行きました。そのおかげで、行きたいところにも行くことができたし、また予定にはなかった、現地でお会いした友達と遊びに行くこともできました。ただ、地図は現地で買ったものの方が便利でした。というのも、私は日本のガイドブックの地図を持って行ったのですが、通りの名前なども日本語で書いており、現地の標識と見比べていくことが多々ありました。パリは全ての通りに名前がついているので、完全に迷うことはなかったのですが、通りの名前から現在地を検索できる現地の地図はかなり便利だったのでおすすめです。



▲週末に開かれる蚤の市

### もう一言!

友達と滞在中にSNSの連絡先を交換。

インターネットは、ホームステイ先、語学学校またルーブル美術館等有名な観光地で使えました。ただ、ホームステイ先も語学学校も部屋によっては使えない所もありましたが、特に不便だと感じることはありませんでした。日本では携帯電話やパソコンを常にチェックするような生活でしたが、パリでは自由に使えなかったからこそ、直接友達とコミュニケーションを取れたり、意見を交換することができ、良い経験ができたと思っています。また、滞在中にSNSの連絡先を交換したので、滞在中の休日の予定などを決めるときに利用したのはもちろんですが、帰国した今でもそのようなツールを使って連絡を取り続けることができている。お互いの母国での日常生活の話をしたり、文化を紹介したりしていると、その時の刺激を受けた日々を忘れがちになりますが、このように連絡を取り合うことでフランス語学習のモチベーションを保つことにもつながると思います。



# 韓国

## キョンヒ大学 国際教育院

Kyung Hee University Institute of International Education



人文学部  
英語英米文学科  
2年次生  
**山本 美菜**  
(愛媛県立三瓶高等学校出身)  
Mina Yamamoto



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ソウル
- 研修期間：2014年3/3～3/21【19日間】
- 研修講座・コース名：春短期プログラム
- 宿泊形態：下宿
- 費用概算
- <必要な経費>
  - ・研修費(滞在費含む) ……309,000円
  - ・食費 ……20,000円
  - ・交通費 ……5,000円
  - ・通信費 ……10,000円
  - ・その他 ……7,000円
- <合計> **351,000円**
- 助成金支給額 ……282,625円
- 自己負担額 ……68,375円



思い出スナップ



▲下宿先のご飯



▲トウミと観光

#### 研修機関や授業

レベルが高いと思っても予・復習すれば大丈夫。

オリエンテーションで筆記と面接の試験があり、私は8クラス中上位7クラスに入り、授業をうけました。留学当初は、教科書の内容が自分の語学力に合わず易しいクラスに替えようかと悩みましたが、実力よりも少し上のレベルの環境に身を置くことで今よりさらに能力が上がると思い、替えませんでした。授業は9時から13時まであり、授業内容は文法・会話・読解・リスニングの練習を主に行いました。授業では、初めて習う文法や単語が多かったので3週間の授業で習得したことは多かったです。レベルが高いと思っても、予習復習をしっかりすれば能力は確実に上がるので、クラスを替えないことをオススメします。また、午後には特別授業が4回設けられており、遊び・歌・ドラマ・礼儀等を学びました。課外授業では、韓国民俗村、博物館、NANTA 観覧、Nソウルタワーに行き、観光しました。トウミ(チューター)とはカフェで勉強したり、夕食を食べながら会話の練習をしたり、行きたい所を案内してくれて、楽しく過ごしました。また、研修中に風邪を引いたときも、トウミがキョンヒ大学付属病院に連れてい



授業のクラスの様子▶

#### 衣・食・住

寒くても、部屋はオンドルが設置されていて暖かい。

私はキョンヒ大学近くの下宿で3週間過ごしました。キョンヒ大学までは徒歩5分、最寄のフェギ駅までは徒歩10分と近く、交通が便利でした。下宿先のおばさんが毎日朝食と夕食を作ってくれて、一緒に留学していた日本人学生たちと決められた時間にリビングに集まって食べていました。韓国一般的な家庭料理を食べることができ、基本的には白ご飯と5種類くらいのおかずとスープでした。昼食は学内のベーカリーやカフェで食べ、夕食は外に出て食べていました。韓国の食べ物は基本的に辛く、お腹の調子を悪くする人もいたので、胃薬を持っていておいた方が良かったです。また、3月は日本の冬くらいの気温で寒かったですが、部屋にはオンドル(韓国式床暖房)も設置されていて暖かく、快適に過ごせました。部屋には、シャワー、エアコン、テレビなどが設置されていて洗濯機と冷蔵庫は共同でした。生活に必要なものは下宿に行ってみないと分からないので、日本からはあまり用意せず必要なものだけ近くのスーパーで買いました。下宿は、門限がなく、友達の出入りも自由でした。



◀キョンヒ大学

#### 休日・余暇の過ごし方

映画や演劇を観たことは貴重な体験。

平日は授業が13時におわるので、午後からは地下鉄に乗って外出しました。韓国の地下鉄はとても分かりやすいのですぐに慣れ、一人でも行き来していました。私は、日本や海外で知り合った韓国人たちと連絡を取り合って遊びに行くことが多かったです。日本語を使えない状況を作るために韓国人の友達と関わるようにしていました。そのおかげで、メディアで見るとは違う実際の生活を感じることができました。また、映画や演劇を観たことは貴重な体験でした。友達が演劇に家族が出演するというのでコエックス劇場でライオという有名な演劇に連れて行ってもらいました。韓国語がとても速くて台詞を理解することが難しかったけど、演劇の雰囲気を楽しむことができ良い経験になりました。日本には演劇がありませんが韓国にはたくさんあり、韓国人は休日によく行くそうです。また、留学中に誕生日を迎え、韓国人の友達にパーティールームでお祝いしてもらったことが一番思い出に残っています。普段は、ミョンドン、カンナム、ホンデなどでショッピングしたり、チムジルバンやカフェによく行きました。

#### 得たもの・学んだもの

自然と責任感が身についた。

今回の研修では、韓国語だけでなく、韓国の文化、歴史も学びました。また、韓国人が話すときによく使う言葉や文法、言い回しなど注意して聞き、それを真似することで感覚的に習得することができました。教科書では学べない、貴重な経験になりました。また、買い物に行ったときに店員の対応が悪くて、韓国語が通じないと嫌な顔をされたり、日本人であることを良く思われなかったり、ショックを受けることもありました。常に外国人という自覚をもって生活しなければならぬし、自然と責任感が身についたと思います。研修前の私は、韓国語の発音を習得すると言う目標を持って研修に臨みましたが、話しても韓国語が通じないことがあり、自信をなくしてしまいうこともありました。発音の習得は時間がかかるのでこれからの課題にしようと思います。



▲課外授業

#### 後輩へのアドバイス!

友達を作って韓国語を使うことが一番会話の練習になる。

留学に来ている人はほぼ日本人で、クラスも9割が日本人でした。正直、韓国人の友達はただ過ごしているだけでは作ることが難しいです。積極的に交流会などに参加したり、トウミと仲良くなったりして、自分から動くことが大切です。韓国人の友達を作って韓国語を使うことが一番会話の練習になるし、文化も同時に学ぶことができます。また、研修中に体調を崩し病院に行きました。保険が無いので日本よりは少し高いけど付属の病院であれば、2,000円くらいで診察を受けることができます。処方箋もうけとりました。学生割引もあるので大学の付属病院に行くことをオススメします。また、韓国はカード社会と聞いていたので、クレジットカードで買い物しようと思い、現金を持ち歩いていませんでした。しかし、ミョンドンやカンナムで洋服やバッグなど、ショッピングすることが多かったのですが、20,000ウォン以上でないとカードで払えなかったり、セール品は現金でしか払えないことがありました。地下鉄を利用する際も切符を買うときや交通カードにチャージする時、現金のみでした。だから、カードだけ持ち歩くのは不便なこともあったので、現金も常に持ち歩いた方が良かったです。

#### もう一言!

意思の疎通に苦労することもあった。

今回は3週間、下宿で生活しましたが、実際に韓国人の家庭に入ること、毎日おばさんとお話したり家庭料理を食べることができてよい経験になりました。家族は全く日本語が分からないので、トラブルがあった時は意思の疎通に苦労することもあったけど、韓国語を話す機会が多く、会話の練習になりました。また、下宿先のおばさんはとても親切で私が体の調子を崩した時も気にかけてくれて、お粥を作ってくれました。家庭の生活が見れて、寮やホテルではできない経験ができたと思います。しかし、Wi-Fiは無かったので、自分でルーターを借りてネット環境を確保していました。また、部屋にはシャワーしかついていないので、近くにあるチムジルバンに行っていました。下宿先の近くにはコンビニ・カフェ・食堂・化粧品店もたくさんあり、とても便利でした。



▲Nソウルタワーにて

概要

申込み

受講許可後(事前準備)

留学中及び研修後の手続き

研修報告書 短期語学研修講座

研修報告書 学生海外語学研修助成制度(春季・夏季)

研修報告書 派遣留学制度

巻末付録



# ドイツ

## フライブルク大学

University of Freiburg



人文学部 社会学科  
4年次生  
**高木 紗弥**  
(愛媛県立松山南高等学校出身)  
Saya Takagi



### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：フライブルク
- 研修期間：2013年8/6～2014年8/2【約12ヶ月間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・渡航費……………205,560円
- ・授業料・滞在費……………408,800円
- ・保険料（個人加入分）………154,380円
- ・食費……………843,150円
- ・交通費……………21,140円
- ・通信費……………53,200円
- ・その他……………407,822円
- <合計>……………**2,094,052円**
- 奨学金……………630,000円
- 自己負担額……………1,464,052円
- ※奨学金は毎月450ユーロ×10ヶ月支給される。  
1ユーロ=140円として計算。



思い出スナップ

▼街の水路で遊ぶ子どもたち



▲ワールドカップ決勝戦



#### 研修機関や授業

授業の進め方は講師によって異なる。

**冬** 学期に正課の講義を聴講しました。テーマは環境に関する歴史・経済・政策でした。講義は講師がスクリーンに図やグラフを見せながら、テーマに沿った内容を説明していました。時折講師の問いに受講生が答える場面もありました。内容が難しく、専門用語も使われていたので私はほぼ理解することが出来ませんでした。私は主に、フライブルク大学附属の語学学校 SLI (Sprachlehrinstitut) の授業を受け、ドイツ語を学びました。SLIの授業では文法(例：接続法・従属の接続詞・形容詞)、読み書きの練習(テーマの例：夢の出来事・理想の恋人像)、ドイツの歴史や文化(例：サッカー・祝日・祭り)、またフライブルクの再生可能エネルギーに関する授業も受けました。SLIの授業に関しては10～20人、多くて約30人の受講者がいました。テーマに合った内容のDVDを観ることもありました。また、個人、またはグループによる発表もしました。質疑応答をしたり、賛否を問うディスカッション(テーマの例：死刑制度・クローン技術・Facebook)をしたりしました。



▲かわいい路面電車

#### 衣・食・住

冬の気温は氷点下を超えることが多々。

**夏** は気温が30度以上に上がることがあります。しかし、夏であろうと天気が悪い日は気温が急激に下がります。夏でも長袖の上着を持参してください。冬ですが、気温は氷点下を超えることが多々あります。手袋、マフラー、ブーツをほぼ毎日着用していました。外食(夕食)に約10ユーロ前後かかります。スーパーの食材は日本と比べて種類が豊富で比較的安いです。日本の調味料はアジアショップで購入できますが、日本での値段よりも約1.5～2倍ほど高いです。パン屋さんはどこにでもあって、値段も1～3ユーロとお手頃なので重宝しました。8月はVauban ヴォーバン地区 (<http://www.vauban-im-bild.de/index.php>) の寮で他2人と共同生活をしていました。各自個室がありますが、台所・洗面所・トイレなどは共用でした。他の2人はほぼ不在で関わる機会は少なかったです。9月からはStusie ストゥージーという寮で一人暮らしでした。外出しなければ他人と話す機会は一切ありませんでした。部屋には食器や台所用品はなく、買い揃えなければなりません。寮の事務所で借りることは可能です(有料)。



フライブルク名物「黒い森ケーキ」▶

#### 休日・余暇の過ごし方

レストランやカフェめぐりも余暇の楽しみ。

**休**日は友人と近くの山へ遠足に行ったり、バーベキューをしたり、日本料理やドイツ料理をお互いの住みで作ったりもしました。またフライブルクには公園(例：Seepark ゼーパーク)や自然が多く、休日にはよく散歩をしました。ドイツ料理やドイツのお菓子を堪能するなら、レストランやカフェめぐりも余暇の楽しみの一つになります。また、私はドイツ人の庭師さんが有機栽培している庭(環境教育センター「エコステーション」(<http://www.oekostation.de/jp/>)に隣接する庭)で、週2回ボランティアもしていました。地元の人たちと種を植えたり、水やりをしたりして自然に触れ、とても有意義な時間を過ごしました。週末や長期休暇の際には、旅行によく出掛けました。ドイツ鉄道(DB)や格安バス(MEINFERNBUS)、格安航空会社(easyJet)は重宝しました。フライブルク周辺の町では、シュトゥットガルトやウルムなどを訪れました。12月はクリスマス、2・3月は謝肉祭など、季節ごとのイベントに参加するのも醍醐味です。

#### 得たもの・学んだもの

自分なりの考えを明確に述べる力。

**留** 学中の経験を通して、自分の考えを(白黒つけて)表に出す習慣がつかしました。例えば2011年3月11日に発生した東日本大震災については留学中よく話題になりましたが、その都度、原発問題・エネルギー問題について意見を求められました。賛否が問われるテーマについて、曖昧ではなく、自分なりの考えを明確に述べる力が徐々に身につきました。フライブルクの環境に対する取り組みも学びました。フライブルクは1992年に「環境首都」の称号を得るほどの環境政策に熱心な町です。旧市街地の自動車乗り入れ制限(歩行者天国のおかげで大聖堂の広場では毎日朝市を開催)、路面電車(割安の「環境定期券」で利用者も近年急増)、環境教育(例：森の幼稚園。実際に訪れ子どもたちと遊びました)など、あらゆる分野で環境に配慮した取り組みがなされています。SLIの授業の一環で省エネ住宅やカーフリー対策が徹底したヴォーバン地区 (<http://www.vauban-im-bild.de/index.php>) を実際に訪れ、見学しました。



▲黒い森の冬景色

#### 後輩へのアドバイス!

失敗すればするほど成長の機会がある。

**ま**ずは失敗を恐れず挑戦することです(ただし計画的に)。研修中、色んな壁に直面します。言葉の壁、人づきあい、慣れない環境、衣食住などの問題を抱えることになるでしょう(下手なドイツ語のせいで実際VISA申請手続きの際、受付の人に馬鹿にされました)。ですが、それを恐れて行動することが億劫になってはもったいないです。また、ドイツ語に加え、現地で「何をどのように学ぶか」決めておくことも重要だと思います。留学の経験が将来どのように関わってくるのか、常に考えておくべきだと思います。私はドイツ語の文法書に「必携ドイツ文法まとめ」(株式会社白水社)を日本から持って行きました。持ち運びに便利なA5サイズですし、例文も多く、内容も分かりやすく使いやすかったです。旅行本では「地球の歩き方」を主に使っていました。町の地図や主要な都市の路線図、観光地情報は充実しています。旅行に持って行くときは切り取りました。

#### もう一言!

ドイツ語と英語の壁を越えることに苦勞。

**私**の中で常に課題の一つだったのは、ドイツ語の壁や英語の壁を越えることでした。ドイツ人同士が政治や経済のような日常会話以上のレベルの話をしている時に、しばしばその会話の輪に上手く入ることが出来ませんでした。また、滞在する留学生の多くは、お互い英語で雑談しており、英語が得意ではなかった私は、同じく苦い経験をしました。渡航前に、ドイツ語の会話の練習(例：チャットルーム・ドイツ人の友人とのSkype)や語彙力を磨くこと、ある程度の英語の聞き取りの練習に、より力を入れるべきだったと後悔しました。【主な活動内容(大学行事・各種手続きなど)】2013年8・9月(大学附属の語学学校SLI8・9月コース受講、在留届提出、銀行口座開設)、9月(VISA申請の予約)、10月(履修登録、冬学期開始、VISA申請)、2014年1月(学期末試験)、2月(学生証更新手続き)、2・3・4月(春休み)、4月(履修登録、夏学期開始)、7月(学期末試験、住民票の破棄手続き、退学手続き)



▲朝市



# 中国

## 上海師範大学

Shanghai Normal University



経済学部 経済学科  
3 年次生  
**小谷 明嵩**  
(愛媛県立新居浜西高等学校出身)  
Akitaka Kotani



### 研修機関や授業

口語・読写・聴力・看图  
说话の4教科。

上海師範大学は中国の中でも有名な大学で、主に教員養成において伝統のある大学です。この大学にはキャンパスが2つあり、私たち留学生は桂林路にあるキャンパスで生活を送っていました。このキャンパスはとても広く、学習スペース以外にも人工芝のグラウンド・バスケットコート・体育館・食堂・ATM等があり設備が整っていました。そして、留学生の教室は寮から歩いて10分程の場所にある南大樓という建物の中にあります。この教室は中国人学生の教室と違い冷暖房が完備されており、とても勉強しやすい環境でした。約4ヵ月間授業を受けましたが不便だと感じることは特にありませんでした。次にクラスついていますが20人ほどのクラスで日本人は私を入れて2人でした。そして授業の内容としては、口語・読写・聴力・看图说话の4教科があります。この中で私が特に為になったと思う授業は口語です。この授業では、様々なシチュエーションでのコミュニケーションの練習をします。シチュエーションとしては、空港や病院、旅行等があり、様々な出来事に対して対応できるよう多くの表現のしかたを学べます。その他にも月に一度、PPTを利用してプレゼンテーションをしました。



◀世界遺産 黄山

### 衣・食・住

できればPM2.5専用の  
マスクが必要。

私が滞在していたのは9月からの4ヵ月間で秋から冬にかけての期間です。上海の気温は想像よりも寒くなく、服装は日本にいるのと同じ様な服でいいと思います。しかし中国は日本と違い、PM2.5による大気汚染が進んでおり、外に出ると空がくすんでいました。それにより喉が痛くなることがあるのでマスクは必需品です。できればPM2.5専用のマスクが必要だと思います。次に私が生活していた寮ですが、様々な国の留学生が住んでいました。私は2人部屋で、インドネシア人の学生と同じ部屋でした。部屋は比較的きれいで、テレビやクーラー、冷蔵庫、Wi-Fiなどもあり設備も整っています。そして清掃員がベッドメイキングやタオルの交換を行ってくれるので快適な生活を送ることが出来ました。ちなみに清掃員と仲良くなると他の部屋よりも入念に掃除をしてくれます。2階には洗濯機や共同のキッチンがあります。洗濯後は屋上に干すことができるのですぐに乾きます。寮の近くにはコンビニやスーパー、パン屋、カフェ、韓国料理、学食等もあり食べることには困りませんでした。警備の面では12時以降になると校内に入るのに学生証が必要になります。寮にも24時間受け付けに係りの人がいるので安心です。



◀PM2.5による汚染

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：上海
  - 研修期間：2013年9/9～2014年1/10【約4ヶ月間】
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算
- |             |          |
|-------------|----------|
| ＜必要な経費＞     |          |
| ・渡航費        | 150,000円 |
| ・保険料(個人加入分) | 80,000円  |
| ・渡航準備・査証取得費 | 15,000円  |
| ・食費         | 100,000円 |
| ・通信費        | 13,000円  |
| ・その他        | 150,000円 |
| ＜合計＞        | 508,000円 |

### 休日・余暇の過ごし方

カラオケで歌からも中国語を学習。

学校は午前中に終わることが多いので、午後からは、友達と上海の観光やご飯を食べに行きました。交通手段としては、主に地下鉄を利用していました。上海は地下鉄がとても便利で発達しています。しかし問題点として、上海師範大学は地下鉄の駅から少し離れているので駅まではバスで行かなければなりません。観光地としては、外灘や南京西路、豫園、田子坊、科学技術館、水族館などがあります。その他にもよく利用していたのはカラオケです。日本の歌だけでなく、中国の歌もよく歌いました。歌からも中国語を学習することが出来るので良い勉強になりました。また、9月の国慶節、12月のクリスマス休暇を利用し、飛行機や寝台列車で旅行を行いました。休暇の期間に、青島や南京、黄山、香港、澳門、杭州に行きました。私が利用した寝台列車の部屋は3段ベッドで閉塞感がありましたが、全く知らない現地の方と同じ部屋になるので新たな出会いを体験することができ、楽しい旅をおくることが出来ました。その他にも中国で働いている社会人の方とも交流しました。交流することで、中国での働き方や日本での働き方、就職活動について話を聞くことができ良い経験となりました。



思い出スナップ



▼クラス会の様子



▲新年を迎える外灘

### 得たもの・学んだもの

何処でもやっていける  
という度胸がつかえました。

私は上海師範大学に留学をすることで、すべてが初めてで新鮮な環境に身を置くことにより、何処でもやっていけるという度胸(自信)がつかえました。留学するまでの私はどこか自信がなく、いつも人の顔を窺っていました。しかしこの4ヵ月間の中国での生活で、少しずつですが自分に自信を持てるようになり、成長してきました。その成長のきっかけとしては、文化や歴史、環境、習慣の違う国の人々と本音でぶつかり合うことが出来たからです。最初はこの違いに戸惑うことがありましたが、1人の人として相手と向き合うことにより、そのような違いはただの個性であって気にすることではなかったのです。逆にこのような違いを知ることに面白さを見出すことが出来ました。このことから、私自身が今まで人との違いを気にしすぎていたことに気が付きました。そして「自分は自分のままでいい、何も飾らない自分でいよう。」と思えました。語学の面でもクラスメートと話すことや旅行に行くことにより、最初に比べると格段にレベルアップしていききました。中国での経験のすべてが自分の成長に繋がりました。



◀西通・宏村

### 後輩へのアドバイス!

実際に行くと自分次第で  
何とかなる。

留学するのに一番大切だと思うことは、留学後どんな自分になりたいかしっかりとしたビジョンを持つことです。そして、そのためにどうしたら良いか筋道を立て、独自の想いを持って留学をすることだと思います。なぜなら留学期間は私たちが思っているよりもとても短く、また誘惑が多いです。そのような限られた期間の中で、より有効に時間を使うには、しっかりと目的や目標を持つことが必要だと思います。そうすることでより良い留学になるでしょう。また、留学に対して不安があり悩んでいる人も多いと思います。私も実際に留学をするまで不安がありました。しかし、授業が始まるとクラスメートとすぐ仲良くなり、その不安も一蹴されました。自分から勇気を出して話しかけることにより、友人も増え自然と会話にも慣れていきました。この様に小さな成功体験を積み上げていき、自分の自信にも繋がっていききました。要するに、不安はありますが、実際に行くと自分次第で何とかなるということです。なので留学に行くか悩んでる人は勇気をもって是非行ってみてください。

### もう一言!

1人で悩まず周りの人を  
頼ろう。

上海師範大学での留学手続きは、留学するまで不安でしたが、実際行ってみると何の問題もなく出来ました。手続きの仕方も非常にわかりやすく、わからない事があっても中国人スタッフが優しく教えてくれるので安心です。携帯の契約は金銭的な面も関わってくるので、ルームメートと一緒にしました。中国で電話とメールができる携帯を買い、Wi-Fiがあるところで日本のスマートフォンを使っていました。わからないことがあったとしても周りの人に聞けば教えてくれるので、1人で悩まず周りの人を頼っていくべきです。また、お勧めの持参物としては、『地球の歩き方』の中国版がお勧めです。この『地球の歩き方』以外にも様々な旅行会社がガイドブックを出しているのですが、1冊は持っていったほうが良いです。これを見ながら気になる観光地をピックアップして、パソコンで詳しく調べて観光しに行くことが多かったです。



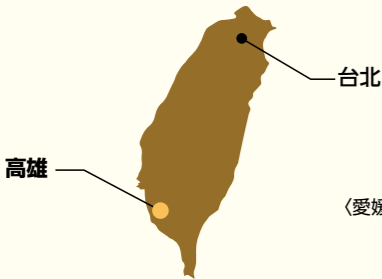
▲香港ディズニーランド



# 台湾

## 国立高雄大学

National University of Kaohsiung



経営学部 経営学科  
3年次生  
**佐川 友梨香**  
(愛媛県立松山商業高等学校出身)  
Yurika Sagawa



### 研修機関や授業

日本語の授業を履修することをオススメします。

**派遣**留学制度を利用し、台湾の高雄にある国立高雄大学に約10ヶ月の留学に行きました。高雄は台湾の南部に位置します。高雄大学はとても広く、徒歩ですべて散策するのは不可能だと思います。校内には黄色い自転車がいくつもあります。その黄色い自転車は校内であれば誰でもどこまででも乗れる自転車です。自転車はすぐに見つけることができます。好きなところで降りて乗り捨てできるようになっていますので、いつもその黄色い自転車を利用して校内を移動していました。授業については、私は亞太工商管理学部でしたので、その学部の授業も履修しました。他にも日本語学科の日本語の授業も履修しました。自分の学部の授業以外にも日本語の授業を履修することをオススメします。なぜなら、その授業には日本語に興味のある学生が多くいるからです。すぐに友達を作ることができ、プライベートでもたくさんサポートしてくれる人がたくさんいます。授業はすべて中国語で進行されるので、聞き取り練習にもなると思います。留学生は必修の中国語の授業が週2回と、夜に大学院生が中国語を教えてくれる授業も週2回ほどあります。



千と千尋 (九份)

### 衣・食・住

真夏はすごく暑く日差しが強い。

**台湾**の気候は、日本と違って3~12月まであたたかいです。特に真夏はすごく暑く日差しが強いです。12~1月は少し肌寒くなりますが、日本の冬ほど気温は下がりませんので、軽い上着1枚あれば問題ありません。ダウンなどは使うことはないと思います。私が住んでいた校外の寮は各階に冷たい水とお湯がでる給水機がついていました。キッチンはありません。部屋のエアコンはついていません。インターネットは有線です。パソコンは接続すると使うことができますが、日本の携帯をWi-Fi環境で使いたいのであれば、無線機を購入する必要があります。インターネットは無料で、時間の制限もなく、24時間使うことができます。学校内はWi-Fiが飛んでいますので、気軽にインターネットを利用することができます。学校は市内から離れたもの静かなところに位置します。しかし、バス停は寮から徒歩1分の場所にあり、近くの地下鉄の駅まで簡単に行くことができます。地下鉄に乗れば、市内でもどこでも行くことができ、大変便利でした。



寮のお部屋

### 休日・余暇の過ごし方

おいしい食べ物をたくさん食べ歩き。

**休日**や放課後は友人とご飯を食べに行ったり、カラオケに行ったり、買い物に行ったり、夜市に行ったりしました。朝食や昼食、夕食は平日は大学内の食堂で食べることがほとんどでした。校内には2つ違う食堂があります。学校の外にもご飯を食べられる場所はあります。台湾の夜市はとても大きく、食べ物や飲み物、服などなんでも買うことができます。おいしい食べ物をたくさん食べ歩きできるので、私は大好きでした。学校の近くには大きなスーパーがあり、日用品や食品などなんでもそこで揃えることができます。学校の近くに弁当や夜食が買えるお店がたくさんありますので、不便することなく過ごすことができます。休日や放課後は日本語を勉強している友人に日本語を教えることもあれば、私が中国語を教えるもらったり、宿題を手伝ってもらったりすることもありました。時々、少し贅沢をして日本料理を食べに行ったりもしました。遊園地に行くこともあれば映画を見に行ったりもしました。

### STUDY ABROAD DATE

- 都市名：高雄
  - 研修期間：2013年9/5~2014年6/22[約10ヶ月間]
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算
- |             |           |
|-------------|-----------|
| <必要な経費>     |           |
| ・渡航費        | 100,000 円 |
| ・保険料(個人加入分) | 140,000 円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 20,000 円  |
| ・食費         | 150,000 円 |
| ・交通費        | 30,000 円  |
| ・通信費        | 20,000 円  |
| ・その他        | 10,000 円  |
| <合計>        | 470,000 円 |



▼小籠包



### 得たもの・学んだもの

目に見えて伸び、得たものは中国語の能力。

**この**研修で学んだことで、最も大きかったのは、人の優しさです。この1年間で数えきれないくらいの人の優しさに助けられました。台湾人の性格は本当に温かく、人間味のある人ばかりでした。とことん親切で、気さくで、穏やかな人ばかりでした。留学中に会った、留学生との出会いも大変貴重なものとなりました。同じ目標を持って、同じ場所にきた友人と過ごす毎日はとても刺激的なものとなりました。そして、目に見えて伸び、得たものは中国語の能力でした。留学当初は挨拶程度しか分からなかった私でしたが、3ヶ月経つとなんとなく聞き取れるようになります。さらに3ヶ月後にはなんとなく相手の言っていることが理解できるようになりました。そうなれば、自分でも話せるようになります。留学終了時には台湾人と中国語で会話できるようになりました。



▲台湾最南端 (ケンディン)

### 後輩へのアドバイス!

台湾に留学を決めてよかった。

**留学**を行こうか迷っているなら、きっと行くべきです。私が留学に行った当初は挨拶程度の中国語しか話すことができませんでした。留学に行くと台湾人の優しさに触れ、実用的な中国語を学ぶことができるはずです。私は中国語を学ぶにあたって中国大陸に行くか、台湾に行くかとても迷いました。迷ったので、台湾に旅行に行ってみました。台湾のたくさんの魅力に引かれ台湾への留学を決意しました。留学が終わった今でも台湾に留学を決めてよかったと心の底から思っています。きっと台湾へ留学行ってからの10ヶ月はあっという間に過ぎてしまうと思います。最初は言葉も通じない、慣れない環境で過ごす10ヶ月は日本では経験できない貴重な体験となり、ものの考え方や見方が変わると思っています。日常生活で同じ単語を何度も聞き使うことで、楽しく学ぶことができると思います。



地下鉄コイン

### もう一言!

これから高雄大学への留学を考えている後輩へ。

**留学**に行く前はたくさんの不安があると思います。語学力や向こうの環境になじめるかどうか、友達、費用など心配していることもたくさんあるし、なかなか留学しようと決心できないこともあると思います。でも大丈夫です。実際に行ってみると時間が過ぎるのがあっという間で、すぐに環境に慣れることができるはずです。語学面も心配ないです。私が留学に行く前は挨拶程度の中国語しか話せませんでした。もちろん留学前にどれだけ勉強しているかも中国語の進歩に大きく影響しますが、最も大切なのは留学中です。費用の面も、比較的物価の安い国なので、自分次第で費用を抑えることができます。留学を終えて日本に戻ってきた頃には絶対に留学してみてもよかったと思えるはずです。



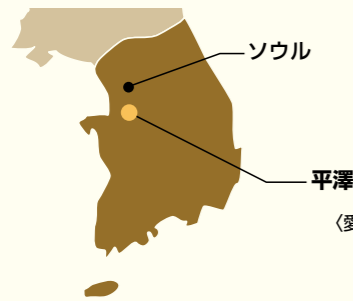
▲台中



# 韓国

## 平澤大学校

Pyeongtaek University



法学部 法学科  
3年次生  
**折本 寛**

(愛媛県立松山中央高等学校出身)  
**Hiroshi Orimoto**



### 研修機関や授業

学科と言うよりは一つのクラスのような感じ。

平澤大学は、韓国の中では規模的には小さいのですが、松山大学よりも学部学科の数は非常に多く、私が所属していた行政学科の他、日本語学科のような文系学科から、音楽学科やデザイン学科のような芸術学科まで、学科の種類はとても幅広いです。そして学科内の学生数も小規模なので、学科内での仲も良く、学科と言うよりは一つのクラスのような感じでした。履修登録に関しては、松山大学のようにネットから登録するのではなく、その学期で開講される授業の載った冊子を見ながら申請書を作り、それを対外協力室に提出して申請完了という流れになっていました。授業冊子にはシラバスのようなものは載っていないので、あらかじめ専用のサイトでシラバスを確認して、どの授業を取りたいかを考えておくのと良いと思います。人気の授業で受講できなかったということは、私に関してはありませんでした。授業内容に関しては、もちろんのことながら全部韓国語で行われました。私の取っていた授業では、日本人は私一人で、特に日本語の話せる人もいなかったで、すべて一人で授業を聞いていました。最初は難しく何を言っているのかわかりませんでした。授業の後半辺りに近づくにつれて少しずつ聞き取れるようになりました。授業は専攻科目となると3時間単位で行われ、その3時間の中で、適宜先生が休みを入れながら授業を行う形式になっています。ちなみに教養科目は2時間単位で行われます。

### 衣・食・住

寮生活となると食生活が偏りがち。

私は交換留学生だったため、寮費は無料でした。寮は学校内に全部で三つあり、私が滞在していたのは、男子寮で国際館1というところでした。部屋は2人部屋から4人部屋まであるのですが、私の部屋は4人部屋でした。私以外の3人は全員韓国人でした。男子寮には2階に売店があり、カップ麺やインスタント食品、お菓子などを売っており、お昼などはそこで買って食べていました。また、各階にはそれぞれ共同の電子レンジや冷蔵庫があり、簡単な調理はできるようになっています。国際館3などには1階にカフェテリアがあったり、スタディールームと言って自習室のようなところもありました。トイレやシャワー室は、私の住んでいた国際館1では共同のもので、各階にそれぞれ一つずつありました。最初は少し不便だと思いましたが、長く住んでいるうちに全く気にならなくなりました。食堂は寮内にはなく、少し離れた学生食堂に行けば食べることができました。私の場合は、寮内では特に調理ができなかったため、時々学生食堂を使っていましたが、基本的には売店で買ったものを食べたり、外食したりしていました。外食も学校近辺では安価な食堂が建ち並んでいるので、それほど費用がかかるということはありませんでした。ただ、寮生活となると食生活が偏りがちになると思うので、そこは気を付けておくべきだと思います。韓国の気候は特に移り変わりが激しいので、薄着や厚着など気候に対応できるように、衣類を用意しておくべきだと思います。

## STUDY ABROAD DATE

- 都市名：平澤
  - 研修期間：2014年2/25～6/22【約4ヶ月間】
  - 宿泊形態：寮
  - 費用概算
- | ＜必要な経費＞     |                 |
|-------------|-----------------|
| ・渡航費        | 70,000円         |
| ・保険料（個人加入分） | 59,000円         |
| ・渡航準備・査証取得費 | 14,000円         |
| ・食費         | 152,000円        |
| ・交通費        | 15,000円         |
| ・通信費        | 33,000円         |
| ・その他        | 1,000円          |
| <b>＜合計＞</b> | <b>344,000円</b> |

### 休日・余暇の過ごし方

韓国の最高裁判所や中央地方裁判所などを見学。

休日・余暇は、主にソウルへ遊びに行っていました。平澤からバスで約一時間程の距離です。バスの料金は安く、学校前から乗れるので、ソウルに行くときはよく利用しました。平澤市内も、市内バスで約20分くらいあれば行くことができるので、少し時間ができたらよく遊びに行きました。休日・余暇は、このようにして過ごしていました。大型の連休があるときなどは、大邱や浦項や慶州、釜山などの慶尚道に旅行に行きました。慶州にある世界遺産仏国寺に行ったり、浦項にある有名な相生の手を見に行ったりしました。ソウルにも週1くらいで行っていて、その際に景福宮や昌徳宮、宗廟にも観光に行ったりしていました。他にも、自分の専攻の学習も兼ねて、韓国の最高裁判所や中央地方裁判所などへ見学に行っていました。そこで韓国の裁判所の仕組みや歴史について学びました。裁判の傍聴もして、とても良い経験ができました。また、同じルームメイトの子とその友達、そして日本人留学生で、大川にペンションを借りて遊びに行きました。他にもロッテワールドと一緒にいたりなどして、積極的に現地の学生と交流を行いました。



▼仏国寺 ▲平澤大学キャンパス



### 得たもの・学んだもの

人脈を作ることで、たくさんの友人を得た。

まずは、「何事も自分から積極的に動く」ということです。この留学期間中、大きな問題はありませんでしたが、トラブルは多々ありました。長い滞在期間の中で、さまざまな問題は必ず発生します。そのような時に、誰かがやってくれるだろうという姿勢では駄目です。自分から動いて問題を解決しなければ、何も問題は解決しません。また、少しでも心配なことがあれば、すぐにでも相談するということが大事です。私は、自分から動いて問題を解決することがいかに重要であるかを、この留学で学びました。もう一つは、「人脈を作る」ということです。留学をする上で、非常に大事なことです。たくさんの人と交流をして人脈を作っておくことで、何か問題があった時にでも助けてくれたり、新たなチャンスを得ることもできます。そして、今まで以上の幅広い視野を持つことができるようになります。人脈を作ることで、たくさんの友人を得ることができ、その友人達と交流することで、更にスキルアップすることは間違いありません。



▲広安里ビーチ



▲日本学科 MT

### 後輩へのアドバイス!

今まで以上に自分の視野は広がる。

留学をする上で重要なものは、語学力もさることながら、多くのものを吸収しようとする積極性でもあります。せっかく貴重な留学をしているのに、自分から積極的に動かず、学びにいかうとしないのは、非常にもったいないです。目の前にチャンスはいっぱいあります。それを自らの手で掴んで自分のものにしてほしいです。そのチャンスの一つとして、実際に海外に行ってみるということをしてほしいです。海外に行くと現地の人と関わることで、今まで以上に自分の視野は広がること間違いありません。自分と違う国、違う文化の下で生活している人の考え方を学ぶことで、新たに違う視点から物事を見ることができるようになると思います。大学4年間は本当に短いです。その中でたくさんのことに挑戦をしていくことが大事です。大学生のうち海外へ行くことをぜひとも私は勧めます。参考になった文献は特にありません。平澤大学へ松山大学から行く留学生は私が初めてで、前例が無かったので、とにかく手探りの状態でした。次年度平澤大学へ留学に行く人がいれば、ぜひとも私にいろいろ尋ねてもらえたらと思います。



韓国の最高裁判所

### もう一言!

国際交流・国際理解に努めてきて良かった。

私はこの留学が自分の大学生活の中で、一番の大きな目標でもありました。2年前ほどに同大学の短期語学研修に参加して、ぜひまた行きたいと思うようになりました。それから韓国語をどんどん勉強していき、松山大学に来ている留学生とも積極的に関わり、国際交流・国際理解を行ってきました。目標の一つに定めて、それに向けて今自分に必要なことを行っていく。自分の選んだ選択が合っていたかどうかは分かりません。ただ、私は大学生活を通して、海外に目を向け国際交流・国際理解に努めてきて良かったと思っています。今度は、今まで自分が経験してきたことを他の誰かに伝えていき、何か影響を与えることができたらと思っています。ぜひとも海外に行くことに興味を持たれた方は、一度でも行ってみたいと思います。きっと今までの自分と何かが変わると思います。



▲大川にて韓国人学生と交流

概要  
申込み  
受講許可後(事前準備)  
留学中及び研修後の手続き  
短期語学研修講座  
研修報告書 学生海外語学研修 助成制度(春季・夏季)  
研修報告書 派遣留学制度  
巻末付録

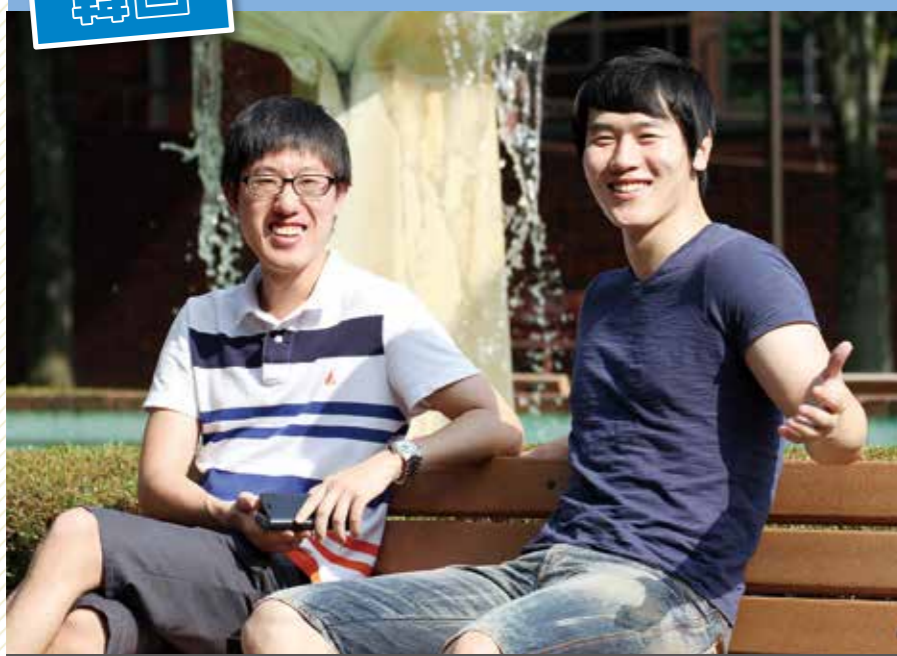


# 松大留学生インタビュー!!



松山大学で学んでいる留学生 4名に、留学のきっかけや松大を選んだ理由をなど、留学を考えている松大生へメッセージをいただきました!

## 韓国



建国大学校(ソウル)出身

2014年度前期交換留学生  
人文学部 社会学科 **張在完**さん

2014年度前期交換留学生  
経営学部 経営学科 **李洪圭**さん

### 留学しようと思ったきっかけは?

**張さん**：建国大学校では日本語と関連した「日本語教育」を専攻していますが、実際に日本へ行く必要性を感じ、留学に来ました。韓国で習うのと直接日本で学ぶのでは、同じ日本語でも勉強する雰囲気や心構えが違うと思うからです。また、教科書から学ばない日本語ではなく、日常的に使われている日本語を学びたかったからです。将来は日本と関連した仕事をしたいため、その前に日本での生活やいろいろなことを経験するために留学を決めました。

**李さん**：大学3年生のときに、日本で国際弁護士として働いているフランス人のJerome、イギリス人のJamesと友達になり、彼らから外国人として働きながら日本で生活することについて聞き、私も興味を持ち始めました。留学前にも日本の至る所を短期で旅行したことはありましたが、より長く日本で生活をし、将来のことを計画してみようと考え、松山大学へ留学に来ました。

自分に慣れた環境を脱し、新しい環境で絶えず挑戦を続けるようにと叔父が名づけてくれた、私のニックネームでもあります。留学生活こそ、自分が生きてきた環境と言語から脱し、新たな社会へ挑戦することだと思います。

### 留学生生活を一言で表すと?

初めて来た時は多くの心配をしました。私の日本語の実力で授業をちゃんと受けることができるか、生活するのに不便はないか、など。最初の授業では漢字を読むことが全くできませんでした。しかし、辞書で調べたりネットで探したりしながらどんどん覚え、今では日常生活の漢字はほぼ読めるようになりました。留学は私に刺激をくれました。



張さん

李さん

### 留学を考えている松大生に一言!

**張さん**：外国に行って、自分の国と違う文化に接すること、開かれた考えを持ち、より大きな志を持つことが大切です。また、言語は勉強を続けなければ退化するため、外国語にずっと触れられる環境で勉強することが、何より重要だと思います。しかし、外国に行ったからと言って語学力が確実に伸びることはなく、行く前にどれだけ勉強するかによって、語学能力の向上もまた変わってきます。「外国に行くに決心した以上、そこに行って勉強しなくちゃいけない」という考えよりは、今からコツコツと一生懸命、語学勉強に取り組むことが大切です。

**李さん**：日本では、若者が留学に行くことがそれほど一般的でないと聞きました。反対に韓国の大学生は、私をはじめ周りの友達皆が一度は6か月以上の留学をして帰って来ている。もちろんどちらが良い、悪いということではありませんが、私の経験を振り返ってみると「留学」を通して得ることが失うことより多いと思います。韓国人である私に思うに、日本の学生には、自分の慣れた環境から他の環境へ自ら飛び込む「冒険心」が不足しています。今“留学に行こうか?”と考えている皆さんは、既に他学生より特別な武器を持っていると思います。苦労することも多いと思いますが、人生の中で留学期間は非常に短いのです。若き日の留学は後々、皆さんの人生においていつまでも記憶に残る、大切な財産になるはず。心に留めている留学の夢を必ず実行することをおすすめします。

### 建国大学校はどんな大学ですか?

韓国の私立大学内でTop10に入る大学で、ソウルの非常に賑やかな場所にあります。学校の象徴としては「イルガムホ」と言う大きな湖があります。学校周辺には店や食堂が立ち並び、若者がたくさん集まります。弘大、江南、梨泰院と共に商業が発達した場所の一つです。



左/建国大学校の新千年館の前で(李)  
右/建国大学校の有名なあひる(張)

## 中国



青島大学(青島)出身

2013年度後期~2014年度前期交換留学生  
経営学部 経営学科 **全美丹**さん

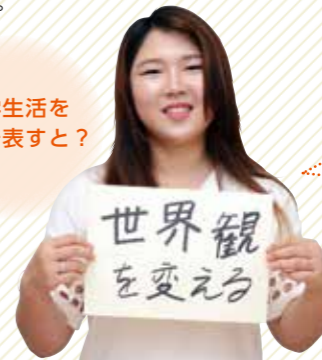
### 松山大学を選んだ理由は?

松山大学は青島大学の協定校で、とても友好的な学校だと思います。また、交換留学の方面で強い力を持っている学校だと思ったので、松山大学に来ました。来る前はあまり知らなかったのですが、実際に来て、松山という町が好きになりました。文学と温泉の町とも言われる松山はすごくきれいな町で、東京などの大都市と違い、住み心地の良い町だと思います。

### 留学を考えている松大生に一言!

留学はとても有意義なことだと思います。留学をすることで、他国の文化を体験でき、他国の友達もできるというメリットがあります。また、自分の考え方や世界観を広げられ、生活能力を高めることができるので精神面でも強くなり、これからの人生にすごく役に立つと思います。チャンスがあったら、どの国でもぜひ一度留学してみてください。そうすれば、自分で何でも解決できるようになるし、大切な思い出がいっぱい作れますよ。再見!

### 留学生生活を一言で表すと?



留学をすることで、その国で見たことのないものを見て、自分の世界観を大きく変えることができます。私自身、留学を通して大切な思い出もでき、人との接し方や自分の考え方も大きく変わりました。

### 青島大学はどんな大学ですか?

空気がきれいな港の町・青島は住みやすい所で、外国人もたくさん住んでいます。一番有名なのは青島ビールで、年に一度の「青島ビール祭り」では、毎年多くの観光客が楽しんでいます。そのような所にある青島大学は、歴史のある学校として総合的な力を持っているし、色々な学部を選ぶことができます。みなさん、チャンスがあったらぜひ一度遊びに来てください。



## ドイツ



フライブルク大学(フライブルク)出身

2013年度後期~2014年度前期交換留学生  
言語コミュニケーション研究科  
ヘレナ マーガレッタ モーガン ヴィーダーマン  
**Helena Margareta Morgan Wiedermann**さん

### 松山大学を選んだ理由は?

私は昔から日本が大好きなので、日本へ留学したいなと思っていました。また、日本の文化について興味があります。特に、食べ物が大好きです。例えば、漬物や魚、特にサバが大好きです。だから、フライブルク大学とパートナーシップがある松山大学を選びました。

### 留学を考えている松大生に一言!

ドイツの大学では日本のようなサポートはありません。自分で決めて行動できると良いですね。ドイツで頑張ってください。チュース!

### 留学生生活を一言で表すと?



私は日本に留学に来て、色々新しいことに出会えました。例えば、【本音と建前】。また、【わび・さび】と【美学】です。本音と建前について授業で学び、日本人は本当にそうなのかと思っていただけ、実際に毎日の人間関係の中でそれを感じました。

### フライブルク大学はどんな大学ですか?

フライブルク大学はとても長い歴史を持った大学で、世界各国から先生や学生が来ます。学校の中には裸の男性の像や石造の建物があり、ドイツでもちょっと有名な大学です。大学の近くには「アスペクト」というカフェがあり、学生はみんなここでぱぱっとコーヒーを買ってから授業に行っています。私も毎日そうします。また、フライブルクではサクランボケーキが有名です。「Schwarzwälder Kirschtorte (シュヴァルツェルダールキルシュトルテ)」というケーキで、サクランボとお酒が入っています。とても美味しいので、ぜひ食べてみてください。





国際センター課では、海外留学を希望する方への情報提供や相談、外国人留学生の学生生活全般にわたる相談を随時受け付けていますので気軽にお越しください。

国際センター課の主な取扱業務

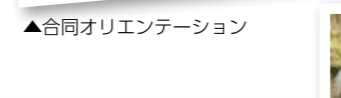
1. 海外研修事業

各種海外語学研修・留学のサポート

- ①資料閲覧
- ②留学相談
- ③合同オリエンテーション(春・秋)
- ④各種ガイダンス(募集・事前・事後)
- ⑤プチ留学体験



▲資料閲覧



▲合同オリエンテーション



▲国際交流バスツアー in 南予



▲体験者に訊くシリーズ(国際交流サロン)



▲国際交流バスツアー in 四国カルスト

2. 留学生関連事業

留学生の受入れ・派遣  
海外協定校との交流  
海外の大学及び語学研修機関との協定締結

3. 国際交流関連事業

①各種国際交流イベントの実施(予定)

- ・スポーツ大会
- ・多国籍食社会
- ・国際交流バスツアー(春・秋)
- ・外国人留学生弁論大会(スピーチコンテスト)
- ・国際交流サロン



▲スピーチコンテスト

②チューター制度による外国人留学生のサポート

チューター制度とは、本学の日本人学生が外国人留学生を学習面・学生生活面においてサポートする制度です。留学生と日本人学生が、国際交流を通して異文化理解を深めることを目的としています。

チューター制度は年2回の募集があります。興味のある学生は是非応募してください。



▲ハロウィンパーティー(国際交流サロン)



◀チューター活動

イベントをつくりたい！国際交流したい！というあなた！「チューター」してみませんか？

国際交流のきっかけとして「チューター」へ



経営学部 経営学科 2年 今城 美咲さん

私がチューターを始めようと思ったのは、国際交流への何かきっかけがほしいと思ったからです。実際にチューターを始めてからチューター間でのつながりや多くの留学生との交流の輪が広がりました。活動の内容としては、諸手続きやレポートの添削など日本人の私自身も学ぶことが多かったです。それ以外にも、お互いの文化を教え合ったり、旅行や遊びに行ったりとチューターという関係を越えてお互いに助け合い、高

め合える関係を築くことができました。留学生と考えを共有し合い、日本にいたが多くの発見をして自分の視野を広げることができたと思います。自分の未熟さを感じたこともありましたが、それ以上に得るものは大きかったです。言葉の壁にぶつかることもありますが、伝えようとする気持ちが大切だと思います。ぜひ留学生と多くのことに挑戦してみてください。きっと忘れられない思い出になると思います。

イベントPick Up!!

松大生と留学生が活発な国際交流がはかれるよう、1年間を通じて、さまざまなイベントを行っています。

スポーツ大会 ボウリング



人文学部3年 一柳 美喜さん

万国共通のボウリングは国籍関係なく盛り上がりやすい。国際センター最初のイベントであり、初対面の人もゲームを通して交流することができます。その後にみんなでご飯について友達の輪が広がりました！

国際交流バスツアーin南予



経済学部4年 孫 吉海さん

最大の感想は非常に有意義な国際交流活動だと思う。たくさんの人と交流できるので、色々な知識が得られる。時には自然が豊富な所に行くから、時には歴史や文化が深い所に行くから、とても楽しむ事ができる。日本文化についてもより深く理解できたと思う。

国際交流サロン セタパーティー



人文学部2年 吉金 愛さん

セタパーティーの企画・運営を行いました。白紙の状態から案を出し合っ、約1ヶ月かけて準備しました。チューターの仲間はもちろん、多くの方の協力のおかげで成功に終わったことに感謝しています。学生の皆さんに国際交流の場を設けることが出来て良かったです。

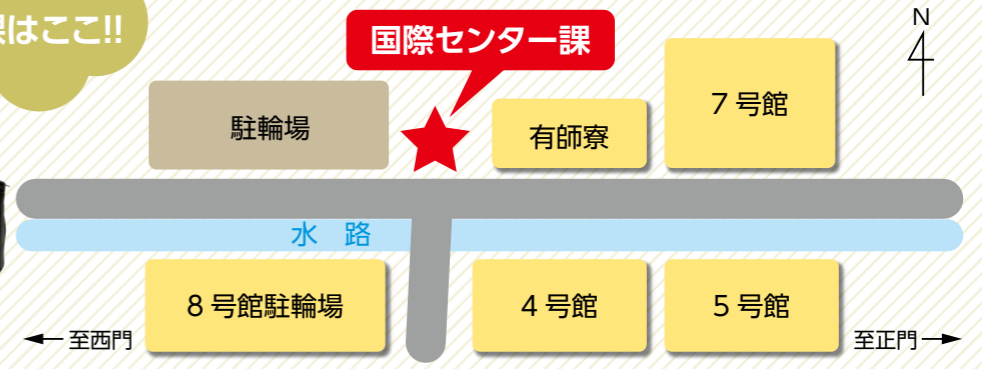
多国籍食社会



経済学部4年 李 国輝さん

私は料理のことが好きで趣味でもあります。将来、料理のプロになるのも夢でもあります。皆さん、多国籍食社会に参加して、いろんな趣味を見つけたらどうでしょうか。君たち、ちゃんと栄養を取らないといけません。

国際センター課はここ!!





## 各語学検定公式サイト

米国 ETS の TOEFL 公式サイト  
<http://www.ets.org/toefl>

TOEIC 公式サイト  
<http://www.toeic.or.jp/>

公益財団法人ドイツ語学文学振興会  
<http://www.dokken.or.jp/>

公益財団法人フランス語教育振興協会  
<http://apefdapf.org/>

一般財団法人日本中国語検定協会  
<http://www.chuken.gr.jp/>

一般財団法人中国ビジネス交流協会  
<http://www.tecc.jpn.com>

公益財団法人日本スペイン協会  
<http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

特定非営利活動法人ハングル能力検定協会  
<http://www.hangul.or.jp/>

公益財団法人韓国教育財団  
<http://www.kref.or.jp/>

---

## 2015-2016 海外留学ガイドブック

---

発行日 2015年3月  
発行者 松山大学国際センター事務部 国際センター課  
松山市文京町4-2 (〒790-8578)  
TEL (089) 925-7111 (代表)  
(089) 926-7148 (ダイヤルイン)  
FAX (089) 926-7151  
印刷 佐川印刷株式会社  
松山市問屋町6-21  
TEL (089) 925-7471 (代表)  
FAX (089) 925-7464

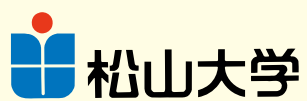
---







2015-2016  
MATSUYAMA UNIVERSITY



学部 経済・経営・人文・法・薬  
大学院 経済学・経営学・言語コミュニケーション・社会学・医療薬学

〒790-8578 愛媛県松山市文京町4番地2  
TEL: 089-925-7111 (代)  
<http://www.matsuyama-u.ac.jp/>